

激江

大阪経済大学大樟会

経大人のための情報誌
DENKO

2019年

54号



全国支部長会議



四国友の会



特集●座談会・最近の転職事情

私は「転職」しました。なぜ？そして夢と希望

私は「転職」しました。 なぜ？そして夢と希望

終身雇用制度が当たり前であった時代、日本社会では、「石の上にも三年」とか「この会社に骨を埋めるつもりで…」とか、一つの会社で勤め上げることが美德とされていました。しかし、現在では、終身雇用制度はすでに過去のものとなり、より良い労働条件、待遇を求めて“転職”することは、決して珍しいことではなくなりました。“転職”に対する意識は確実に変化しています。

さて、転職を経験した本学の20代、30代の同窓生は、なぜ転職し、どのような夢と希望を抱いているのか、聞いてみました。



出席者

井上 祐貴 (80回)

ネットショップ担当からwebディレクターへ

白波瀬雅史 (66回)

映画会社から生命保険営業職へ

外川 奈美 (75回)

信用金庫から経大サービス事務職へ

永江 広樹 (78回)

介護職から営業職へ

司会 小林 真人

(広報部長・元テレビ山口ニュースキャスター)

企画協力 株式会社経大サービス

学生時代の「就職活動」について

司会 本日は、お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。この度、「澱江54号」の特集として、「転職者」の座談会を企画しました。実は、私も、金融機関からテレビ局のアナウンサーに転職した転職組ですので、皆さんの気持ちもよくわかります。まず、就職前の状況ですが、就職活動はどういうことをされていたのか、そしてどういう会社に入られたのか、お話をきかせてください。

井上



学生の時の就職活動は、結構いろんな会社を受けた記憶があります。幅広く説明会に行きました。最終的には、福井県の小さな会社なのですが、和菓子のベンチャー企業でネットショップ担当ということで入社することになりました。新入社員といっても最初から結構コアな業務を任されていて、楽天市場という大きなモールのショップで、売り上げを増やすためのwebマーケティングから商品の見せ方までほとんど1人で担当していました。

外川 私の場合、就職活動を始めて間もなく第一志望が決まり、その志望に専念できたので就

職活動そのものも早く終わることができました。大学在籍時は、地域政策学科専攻で、地域経済をより身近な視点で理解し、個別具体的な観点から地域経済の活性化を研究するという目的で、4年間学びました。そういったことも手伝って、就職自体も地域企業にしたいと考え、地元で利益還元し、地域社会貢献性が高い大阪府下の信用金庫に決めました。当時、金融業が人気の業種だったことも理由の一つです。信用金庫での就業当初は窓口業務の担当となりましたが、ノルマが課されることもあり、たいへんでした。

白波瀬

就職活動をしていたのが20年ほど前になるのでよく覚えていないのですが、あまり就職活動はしていませんでした。映画が好きで、卒業したら映画会社で働こうと決めていたので、映画会社を直接訪問して「働かせてください」とお願いしていました。国内じゃなくて、外国映画の仕事がしたかったので、日本ヘラルド映画という会社に直接訪問して、契約社員として採用されました。梅田スカイビル4階に映画館がありまして、しばらくそちらで働いていました。

永江

私は体育会の卓球部に入っていて、卓球ばかりやっていたので、就職活動はほ

とんどやっていませんでした。みんなが決まり始めたということで、私自身は特にやりたい仕事も決まっていなかったのですが、1人子ということもあり、親の介護も考えて介護業界に興味を持っていました。就職支援センターで、ちょうど介護の求人が案内されていたので応募し、無事内定をもらいました。

「転職」を考えたきっかけは？

司会 なぜ「転職」をされたのでしょうか。類似した業種に転職された方も、異なる業界へ転職された方も。転職のきっかけは何だったのでしょうか。

井上 ネットショップの担当からweb制作会社のディレクターに転職しました。どちらもwebに関わる仕事ですが、より専門性を求められる職種になりました。転職のきっかけですが、このままでは井の中の蛙になってしまうという危機感が最初の理由でした。ちょうどネットショップを担当していた2014年から2015年にかけて、スマートフォンの普及に伴って、デジタル機器の変化が激しい時期でした。新しい技術について勉強しなければいけないことが多々あったのですが、会社のスタッフが辞めてしまったりして、なかなか思うように勉強ができなくて。もっと専門的な会社でスキルアップしたい、それから他の業界についても、もっと勉強したいと思い、転職することを決めました。

司会 なるほど、スキルアップ、キャリアアップを目標に転職される方も多いですね。人間関係や待遇を理由に転職する方も多いようですが、そちらは転職理由にはならなかったんですか。

井上 そういうこともないとは言えませんが…。それよりも将来のことを考えて、「このままではまずい」と思ったことが大きいですね。それで、経大サービスさんや大手エージェントに登録して相談したり、自分で求人サイトを探したりして転職活動をしていました。

外川 信用金庫での仕事はやり甲斐があって楽しかったのですが、もっと自分が主体的に動くことができる仕事がしたい、また信用金庫ではPCを使用する機会等が少なく、PCスキルを始めとしたスキルアップをしたいと考えたことをきっかけに転職を考えるようになりました。また、卒業証明書をいただきに母校に立ち寄った時に、新しい校舎に建て替わる姿を

見て、この大学の未来をずっと近くで見たいという気持ちも湧いてきました。そういったことを考えている折、母校に事業会社が新設されたことを知り、志望しました。

白波瀬 映画関係の仕事がしたかったので、卒業してから27歳まで映画会社で働いていましたが、契約社員としてしか採用していただけなかったので…。現実的な話ですけど給料が大変低くて、手取りで13万円ぐらい、ボーナスもなかったんで、年収は200万円にも満たなかったんですね。自分がやりたいと思ってやってきた仕事だったので、全然苦じゃなかったのですが、30歳前に結婚したいと思った時に、このままじゃ家族も養えないだろうと思ったのがきっかけですね。すぐにハローワークに行って紹介してもらったのが今のジブラルタ生命です。

司会 今までと全然違う職業ですね。保険業界はハードなことでも有名ですが、ご家族の反応とかはどうだったんですか？

白波瀬



世間知らずだったんで、保険業界が厳しいということすら知らなかったんです。親は大反対でした。でも面接に行かなかったら、次の求人を紹介しませんよ、とハローワークの担当者に脅されたので、とりあえず面接に行きました。話だけ聞いて、と思っていたのですが、なんだか面白そうな仕事だと思い、そのまま入社になりました。最初は全く志望していた業界ではなかったんですが、今では一番自分に合っていたかなと思っています。

CONTENTS

- 2 特集●座談会・最近の転職事情
私は「転職」しました。なぜ？そして夢と希望
- 7 全国支部長会議を開催
- 10 「四国友の会」が誕生
- 12 2018ホームカミングデー・大樟会総会
- 16 わがまちイチオシ
- 18 クラブ活動紹介
- 21 奨学金制度実施
- 22 新・北から南から
- 26 支部だより
- 41 OB・OGネットワーク
- 48 ゼミ短信
- 50 お世話になった先生からのお元気なお便り
- 52 ズームアップ経大人
- 57 パソコン教室
- 58 本部だより
- 59 卒業回数・卒業年早見表
- 61 大樟会支部長・各種部会会長一覧

永 江



3年間介護職で働いていました。介護自体は大変ですが、人間関係も良かったですし、入所されている方とのコミュニケーションも楽しい職場でした。でも腰を痛めてしまって、やむを得ず退職することになりました。業種を変えなければいけないこともあり、エージェントに登録したり、求人サイトを利用したりしながら、1年ほどかけて営業職に転職しました。マンション向けのコンサルティングで、電気料金削減等の提案から電気工事までフォローしています。

実際に転職して「良かった」こと

司 会 転職するときも色々な選択肢の中から、今の仕事を選ばれたと思いますが、皆さんは転職されて今はどうなのでしょう。

井 上 いろんなクライアントを担当させていただいているので、良かったと実感しています。業界や規模や、取り扱っている商品も、エンドユーザーも違うので1つ1つが勉強になりますし、専門性も高められていると思います。

外 川 良かったです。私の人生にとって、非常に意味のある選択だったと思います。恩師や職員の方々はすごく親切に接して下さいます。今の職場に来てから、友人や先輩等の人との繋がりも増えました。より自分に縁の深い場所にいた方が仕事に対するモチベーションも上がりますし、何より仕事が楽しく感じます。

白波瀬 そうですね。公立の小学校や中学校にお勤めの先生方専用の保険を、年金や将来の生活設計を交えながらお話しする仕事になるのですが、ずっと続けていくと人間関係が築ける仕事です。経大サービスさんも先輩から紹介していただきましたが、人の縁というものに感謝しています。一番問題であった給与に関しても、頑張れば成果に対して報酬として還ってくる制度なので、頑張り甲斐があってよかったなと思っています。

永 江 職場としてはとても良かったのですが、社内的に色々ありまして…。この座談会のお話をいただいた後に退職しまして、現在転職活動中です。

司 会 そうなんですか！

永 江 仕事としてはとても充実していただけに残念です。前職がコンサルティング関係の仕事

だったので、中小企業診断士の資格を目指して勉強中です。

「転職」経験者のアドバイス

司 会 何事もやってみなければわからないものですが、転職経験者としてこれから転職を考えている方にアドバイスをいただければと思います。

井 上 10年、20年後のことを考えて決断されたらいいと思います。私の場合は、転職は慎重に考えていたので、動き出すまでものすごく悩みました。参考にする本をしっかりと読みこんで、スケジュールを逆算して行動に移しました。わからないことはエージェントの方にも聞きながら。ああ、それから神社ですね、神社にお参りしてから決断しよう（笑）。気持ちを整えることは意外と大事でした。

外 川



私がして良かったと思うのは、困ったことがあった時、すぐに恩師に相談したことです。何かあった時に一人で考え込まず、相談に乗ってもらった方がすっきりします。これは、個人的な事情で一般的に当てはまらないかもしれませんが、ただ、転職は非常に大きな環境や生活ベースの変化を伴うので、一人独断で進めていくより、できる限り多くの人の意見を聞きながら決めていった方が失敗は少ないと思います。

白波瀬 私はもともと希望した職種ではないのですが、縁があって入社してみたら結構よかったと思っています。自分が思っている職種とは違った世界に飛び込んでみるのもいいのかなとも思っています。やりたいと思うことは挑戦して、縁を大事にしていければ自分に合った仕事が見つかるのではないかなと思います。

司 会 どうもありがとうございました。

豆知識 就活と転職の違いは？

新卒の就職活動は、多少業界の差はありますが3月頃に一斉にスタートし、多数の企業へエントリーします。まだ就業経験がないため、学業や部活、アルバイトなどの経験からうかがえるポテンシャルや人柄などが選考基準となります。

一方、転職活動は時期もスタート時期が決まられているわけではなく、各企業の状況に応じて募集が行われます。募集内容についても前職の経験をベースに選考が行われるので、求められるスキルも、提示される待遇もそれぞれ異なります。また色々な会社を受ける、というよりも自分のキャリアに合った企業を数社ピックアップして転職するケースが多いため、新卒時の就職活動とは取り組み方が異なるので、注意が必要です。

採用する側から

い せ が み ひ ろ し
伊勢上 洋史さんに聞く



聞き手=小林真人

伊勢上 洋史さん（63回）は、株式会社ダイブの代表取締役。株式会社ダイブは、日本エンタープライズ株式会社（東証1部上場）のグループ会社。

司 会 伊勢上さんに「転職」する側ではなく「採用」する側からみたお考えをお聞かせください。

伊勢上 会社によって違うと思いますが、当社のようなベンチャー企業ですと、一番は「やる気」なんですね。安定とか休みとかっていう方もおられるんですけど、自分はこういうことをやりたいという気持ちをしっかりと持っていることです。うちの会社はほとんどの社員が中途採用なんです。

自分で独立してうまくいかなかった人もいます。でも、もともとポテンシャルが非常に高いので、今たいへん頑張ってくれています。今、一緒にやっている常務は、私が本学のアメフト部のキャプテンをやっていたときの副キャプテンですが、口説いて連れてきました。上場企業を辞めさせて連れてきたんです。会社は東京にあるんですが、社員は関西人で構成されている状況です。社内はほとんど関西弁という状態です。

最後はやっぱり「キャリア」よりも「やる気」ということですね。

司 会 「ダイブ」という会社は、具体的にはどういう会社ですか。

伊勢上 もともと通信事業者さんの裏方の仕事をメインにやっております。ソフトバンク、KDDI、ドコモさんのお仕事をお引き受けしております。

仕事は多岐にわたっております。営業代行の仕事もさせてもらっております。ドコモさんのオフィスに弊社の社員が駐在させていただいて、業績を上げるということで評価をいただいております。

もう一つは、開発ですね。システム開発の仕事もやっております。通信業者の裏方をやっ

ている会社だと思っていただいて結構です。

司 会 伊勢上さんも転職組ですね。

伊勢上 私は、本学を卒業して、3年間生活協同組合コープこうべに勤めておりました。

そこから転職したいなという思いがあった時に、ある人を通じて東京でITで急成長をしている会社の創業者と会って、口説かれて、一度もITの勉強をしたことがないのですが転職しました。最初の3年間は地獄のような日々でした。

私が3年間働いて主任研修の時に、会社が面白くないと言ったら、オーナーから「お前新会社をやれ、これから『e-コマース』が流行る」と言われました。でも他の役員は全員反対でしたけど、オーナーからすれば、この状況にどう立ち振る舞っていくのかを試されていたのだと思います。

赤字になればクビという条件がありました。これまで16期全期黒字ということでやってきました。

司 会 お話を聞くと必ずしも順風満帆でもなかったということですかね。

伊勢上 最初はやはり精神的に追い込まれたという感じですね。今になって考えると、あれを乗り越えたというのは自分のためにもなっております。少々のことではへこたれない自分ができることを考えると、私にとっては良かったのかなと思います。

稲盛和夫さんの盛和塾に10年間入っていますが、稲盛さんの直接の話であったり、CDをたくさん聞いて非常に精神面を支えていただきました。稲盛さんの「働き方」という本を読ませていただいたのですが、そこでは自分の目の前にある仕事を「天職」だと思って

夢中になってやりなさい。みなさん誰もが自分が満足する仕事や自分が思っている仕事につけるということではありませんが、目の前の仕事を必死でやっていると段々道が開けてきますと、述べておられます。

司 会



伊勢上さんの場合は、「転職」の経験もあるし、「転職者」を採用する立場でもあるし、両方の経験があるわけですが、やっぱり結論は「やる気」ですか。

伊勢上

はい、「やる気」ですね。ただ、30歳を超えてくると「やる気」だけではちょっと厳しいですね。何かしら「武器」を持ってほしいと思いますね。私は、高校の同級生にも私の会社に入ってもらいました。音楽業界のクリエイティブな仕事をしていたのですが、英語がネイティブに話せるスマートな感じの人間です。彼が独立したばかりで苦労していた時にたまたま再会しまして、英語の仕事が当社にあったので弊社に来てもらいました。彼は一般企業の経験があまりなかったのですが、英語に関しては使い物になることは解っていたので、通信事業者のグループ会社に駐在してもらい海外企業との交渉をやってもらっています。今では逆に「どこにも行かないでね」という状況です。

司 会 我々の世代は、「石の上にも三年」とかいうこ

とで、「転職」を良くないこととらえる人が多いのですが…。最近はそのようなことではないですね。

伊勢上

ないと思いますね。先週、一週間ほどサンフランシスコに行ってたんですけど、向こうでは、今日で会社は終わります、その翌日から新しい会社を作りますという社会です。また、契約して人を雇うというのが当たり前で、私たちネット業界はそういう面では先頭を走っています。この業界にいる私たちが国内の市場だけを見て生きていけば、あと10年ぐらいしか持たないでしょうね。

私たちがさらに変わっていかねばならないのかと思っております。他の業界でも外資がどんどん入ってきていて、外国の経営者が何を求めているのかということを考えて時、日本の感覚とはちょっと違うのかなと思います。

現在、いろんなことがあります、日本の働き方自体が変わってきていると思います。大きな会社の経営者も何かしらの危機感を感じておられると思います。大きいところに行けば安心ということでもないでしょう。今ある環境の中でどうしていけばいいのかを私も社員も考えていかねばならないと思っています。

司 会 いいお話で結論がでたようです。ありがとうございました。

「転職支援サービス」のご案内

大阪経済大学100%出資事業会社
株式会社 経大サービス

『転職』をお考えの卒業生の皆さま

経 理 人 事 営 業

キャリアアップセミナー 個別相談会 2019.2/17日 3/3日

—— 転職理由は人それぞれ

ひとくちに転職といっても、転職理由も目指す先も人それぞれ。各分野専門のコンサルタントと1対1でしっかり相談ができます。

キャリアパスに悩んでいる方には、ご経験や希望を伺いながら市況をお伝えし、キャリアの悩みの解決を。転職したい方にはキャリアイメージに沿ったポジションのご紹介を。

キャリア相談から、あなたにぴったりの求人紹介を



登録・相談
すべて
無料

お申込み、詳細はwebサイトから
<http://www.keidais.jp/dousou/careerchange.html>

経大サービスを検索、またはQRコードを読み取ってアクセス!

経大サービス



『採用』をお考えの企業の皆さま

大阪経済大学卒業生・在学生の採用をお考えになりませんか?

社員募集

専門のコンサルタントが、条件にマッチする人材をご紹介。入社までサポートするので、担当の方の負担を軽減!

アルバイト募集

学内での掲示やLINEの配信など、在学生向けに貴社の求人アピール! 大量採用なら学内説明会も◎

OB・OGの方から転職・採用のご相談を多数お受けしています。市場の動向のご相談や貴社のニーズにマッチする人材をご紹介します。



お問い合わせ
資料請求はこちら 06-6990-3723
www.keidais.jp/dousou/support.html



全国支部長会議を開催

さらなる飛躍に向けて

前日の大樟会総会に続いて大阪・扇町のセミナーハウス クロス・ウェーブ梅田に一泊したあと、10月28日（日）午前9時から午後1時過ぎまで全国の支部長が一堂に会して熱心に討議をしました。全国支部長会議は毎年開催していますが、毎回時間不足で討議するまでには至りませんでした。このため多くの支部長からじっくり話し合う場を持ちたいとの声があり、宿泊を伴った支部長会議は2015年にも一度開催していますが、その後多くの支部長が交代されたこともあって今回の会議の開催となったものです。今回は討議を効率的に行うため、初めての試みとして3ブロックにわかれて地域の持つ問題点、課題などを発表し合いました。

当日の会合では、支部総会への参加者を増やすためにはどうすればいいのか。同窓会として大学とどう繋がればいいのか、その現状と限界についてなどのテーマで意見を出し合いました。以下は当日各支部長から出された意見を集約したのですが、今後同窓会としてどう対応していくのか、その方向性を打ち出したいと考えています。

●第1分科会(近畿ブロック)



京都、大阪市淀川、大阪市北、大阪市南、大阪市住吉、大阪市役所、北大阪、北摂、北河内、豊中、池田、箕面・豊能、泉南、堺、尼崎、伊丹、川西・川辺、阪神、神戸の各支部

- ・昨今どこの支部も高齢化が進み、若い会員の参加者を増やすための工夫もされているが、なかなか増加にはつながらないのが現状だ。
- ・総会には行きたくないが、ハイキング、ボウリング、カラオケ、ゴルフ、将棋、バス旅行などのイベントには参加するという会員もいて、メンバーのニーズに対応して参加者を増やす方法をとっている支部もある。
- ・近隣支部とのネットワークを密にしてゴルフ大会を開催するなど、親睦を図っている支部もある。
- ・経費削減に関して、案内の返信を料金後納制やメール、ファックスなどいろんなツールを駆使して経費削減に努めている支部もある。
- ・また、案内方法についてもインターネット、ファックスなどを利用して独自のルートをつくっている支部もある。
- ・日々の生活の中で本学の卒業生であることを積極的に公言していくことが後輩とのつながりを広げていく手段ではないか。経大にもっと誇りを持って堂々と名乗りをあげてほしい。
- ・大学とのつながりについては、様々な場面でテレビなどマスコミに取り上げられること、駅伝の応援の旗やハッピーを作るなど本部に要望したい。



- ・経済・経営系の大学として、もっと社会にアピールする必要があり、テレビ・新聞などでPRするとともに教員にもテレビに出演していただくことも必要ではないか。
- ・仕事や健康など目的別に集まったり、会場の場所の工夫など、参加者の要望に応える。
- ・クラブのOB会との連携。体育会だけでなく文化部も対象に入れるべきである。
- ・同窓会の支部長同伴で高校訪問など、大学と連携して多様な方法を展開してほしい。

●第2分科会(東ブロック)



北海道、東京、富山、石川、福井、岐阜、静岡、愛知、三重、滋賀、丹有、明石、北播磨、但馬、東播磨、姫路、淡路島、奈良、和歌山の各支部

- ・会員の参加者動員の策として新卒や若手の会員の参加料を安くするなど試みたが、結果的には成果は上がっていない。

- ・若手を役員に登用。このままでは支部の存続にかかわるといことで、若手の役員を他支部総会に出席させて後継者の育成に努めている支部もある。
- ・支部総会案内状は600枚出しているものの返ってくるのは100枚程度だ。諦めずに根気よく出し続ける必要があるのではないか。
- ・大学と同窓会とのつながりということでも、他大学から講師を招聘したり、本学同窓生でジャパネットたかたの創業者、高田明氏などの講演会を開くなど知名度を上げていくことが最も大事である。
- ・大学駅伝など、スポーツの全国大会では近隣の支部からも応援に駆けつけるなど大学と学生、同窓会が一体となって応援しているがより多くの応援団が必要では。
- ・同窓会の役割を考えてみたとき、大学・同窓会・学生の三位一体の体制が必要であると考え。卒業後の道筋として支部総会に学生が参加してもらうことも必要ではないか。そのためにも大学に対して情報提供を要望したい。
- ・当会議ではディスカッションの時間を、もっととるべきだった。
- ・今後、限界支部ならぬ自然消滅する支部も出てくるのではないか。これは地方からの卒業生が減少しているため、もっと地方からの学生を増やす方策を考えてほしい。
- ・ご夫婦で参加されている支部もあった。
- ・大学へ要望するよりは、まず同窓会としてやっていけることに力を注ぐことから始めるべきだ。
- ・総会懇親会の学内での飲酒については、特に許可を得て実施している。出席者は節度を持ってほしい。

●第3分科会(西ブロック)



鳥取、島根、岡山、津山、備後、
広島、山口、徳島、香川、愛媛、
高知、北九州、大分、熊本、宮崎、
南九州の各支部

- ・特に九州地区では受験者、入学者とも少なく、これ以上支部会員が増える要素がなく、まさに限界集落に近い。
- ・北九州支部のエリアは福岡、佐賀、長崎の3県にまたがる。以前には地方試験の時に支部総会を開催していたが、最近では地方試験が少なく、母校の



名前が聞こえてこない。

- ・将来は九州地区をひとつの支部にまとめるべきではないだろうか。若い卒業生の参加者が少なく、魅力ある大学にならないと受験生は増えてこない。
- ・今年、支部創立35周年を迎えた。支部総会の案内を700名に出して返ってきたのは120名、うち40名の参加者はほぼ固定している。
- ・地元の新聞でサークルなどの会合を取り上げるコーナーがあり、掲載してもらうとそれを見た同窓生からの反応が良く、今年は去年の30名が倍増した。
- ・女性の参加を増やすためには、女性を役員につけることで参加率を上げたい。
- ・女性会員の参加を増やすために参加費を0円にしたが、効果はなかった。
- ・将来、同窓会支部総会に現役の学生にも参加してもらうため、「四国はひとつ」を合言葉に、今年はとりあえず愛媛から始めたら4人が参加してくれた。この学生たちが、将来ふるさとへ帰るための就職のアドバイスを考えたい。
- ・地元高校からは3年間で受験者は一人である。大学はPRが下手である。
- ・今年、支部総会とは別に大学訪問ツアーを開催したら、13人が参加した。中には卒業以来初めて訪れた会員もいて感激をしていた。
- ・四国サミットを開催してお互いの交流を図っている。
- ・10年間休眠していた支部を昨年立ち上げた。金融機関や教職など職域で開催していたものを拡大してスタート。出雲駅伝は出雲、松江地区会員へ応援要請を2回ばかりした。同総会、大学からも応援にきていただいたのだが、応援体制を同窓会本部からも周知してほしかった。
- ・初参加であったが、学生時代は部活の経験がな

かったので支部総会が楽しい雰囲気に包まれていることにビックリしている。

- ・支部の範囲が東西に長く伸びていて参加するにしても距離的ハンディがあり、会場をどこにするかなどの悩みがある。
- ・大学卒業後50年目の卒業生を入学式や卒業式に招待することも母校愛を高めるために必要ではないか(慶応義塾大学ではこの方法を取り入れている)。
- ・澱江や新聞、雑誌などを見てジャパネットたかたの創業者、高田明氏が本学出身だとは知らなかった。また、テレビなどで本学客員教授の肩書を見るとうれしくなる。もっとPRしてほしい。
- ・来年には同窓生が10万人の舞台に乗り、これを機会に同窓会組織の見直し。本部人数。校友会への移行を考える時に来ているのでは。
- ・支部活動には名簿が不可欠だが大学から送られてくる名簿は不正確でもっと充実させていただきたい。

●全体会



・本学の在校生は大阪・兵庫・京都などの近隣に偏っていて、地方からの受験生が少ないということで、思いついたのが指定校推薦制度。これを制度化してほしいと思っている。

- ・先日大学のパンフレットを持って高校訪問をした。校長先生から「指定校推薦をもらったら学生を送り込む」との言葉をいただいた。地方からの学生を獲得するには良い方法ではないかと考えている。前回の支部長会議では要望が出ていたが、もう一度常務理事会で検討してみたい。
- ・学園祭で支給された金券(チケット)を各ブースで使う際、多めに渡したりして、学生たちとの交流もできて良かった。
- ・支部会員の中に本学を卒業したというプライドを持っていない人や、大学名を聞かれたとき胸を張って本学の名前が言えない方がおられるように思う。もっとプライドを持っていただきたい。私たち支部長がもっと大学のことを宣伝していくべきだ。
- ・鳥取支部は平成27年度に再興。若い人たちが支部発展のために努力している。鳥根支部は平成29年



度に13年ぶりに再興。こういう会を待っていたという会員もいた。出雲駅伝にも応援に行った。今後とも頑張りたい。

- ・通信費の問題で、支部総会の報告書や支部だよりを会員に送付したいのだが、「澱江」発送時に同封してもらえないか。

【事務局からの回答】

- ・支部運営費は単価130円×支部会員数を根拠としている。従って全会員に出していただくのが原則。郵便局に「返信の料金後納」という制度もあり、経費節減になる場合があるので事務局までお問い合わせいただきたい。
- ・「限界集落」という話も出たが、豊中市のように会員数の多い支部においても役員になってくれる人がいない。若い人の参加がない。分科会のまとめでは美辞麗句できれいにまとめられているが、これはどこの支部でも共通して言えることだ。次会は状況報告ではなくてこの打開策を検討してみたいと思った。
- ・今後はもっと魅力ある会・組織にしていかなくてはならないと思う。方法のひとつとして、職業別、職域別、年齢別の活動など、いろんな方法での充実を考えていきたいと思っている。



古き良き時代の「県人会」が復活

「四国友の会」が誕生!!

かつて本学には「県人会」という組織があったそうです。もう40～50年以上も昔の話です。「同郷の誼(よしみ)」という言葉があるように、古里から遠く離れた地にいても出身地が同じであれば、言葉や話題も共通で、何かと親しみやすいものです。

大樟会(同窓会)のなかには、出身県毎の現役学生による懇親会的な組織を復活したいという思いが以前からありました。しかし、都道府県単位で「県人会」を作るのは現実的ではないので、まとまりやすい四国4県出身の現役学生で集ってもらおうということで誕生したのが「四国友の会」です。

「第1回四国友の会」は、平成30年7月4日(水)午後6時30分から本学E館7階の大樟ラウンジで、現役学生17名(香川8名、高知4名、愛媛2名、徳島1名、その他2名)と愛媛県出身の徳永学長、宮武情報社会学部教授、さらに小林大樟会副会長(広報部長)ほかに参加して楽しい一時を過ごしました。



学生が制作した「四国友の会」への参加を呼びかけるポスター





“故里”を熱く語る徳永学長



山口県出身の小林副会長と語る



同郷であれば話も弾む



参加者全員が揃って記念撮影

創立100周年に向け、母校の発展を祈念

早朝の雨もすっきり上がった平成30年10月27日(土) 11時から、学園祭開催中の母校D館21教室で、ホームカミングデー・大樟会総会が華やかに開催された。全国各地から334人の同窓生らが参加し、総会、講演会が行われ、引き続き、学生会館でホームカミングデー懇親会が開かれた。



当日は、大樟祭も開催



会場風景



学歌斉唱(グリークラブ)



司会(小林真人副会長)



壮年会(陸上競技部、ハンドボール部)

感謝状を贈呈された方々

前北河内支部長
森川 義一様(25回)
前宮崎支部長
福田 俊彦様(32回)
前和歌山支部長
新田 和弘様(32回)
前大樟春秋会会長
矢倉 英一様(39回)



大学・学生・大樟会が心を一につに！

小林真人副会長(32回)の司会により総会がスタート。物故者への黙祷、グリークラブと参加者全員による学歌斉唱に続き、大学理事長、学長、大樟会会長のあいさつが述べられた。

藤本二郎理事長は「日本私立大学理事として活動するなか、大学破綻に関する話を度々聞く。少子化も待たなし。そこで、創立100周年に向け、この地で生き残るための将来ビジョンを策定。また、さまざまな改革の実施を通じ、これまで以上に良い大学へ発展させたい」と表明した。

徳永光俊学長は、志願者数や就職率など堅調に推移していること、また、学内の委員会・組織の統廃合、リカレン

ト教育などの大学改革を行っていることを報告し、「黒正イズムを継承し、『商都大阪から学びを創発する場となり、社会に貢献する人材を輩出する』という目標を軸に、将来ビジョンの策定を計画している」と述べた。

田村正晴大樟会会長は「最近少し、ホームカミングデーの元気がなくなっている。『つながる力ナンバーワン』を掲げる大学にふさわしく同窓生全員の協力が必要。同窓会活動が活発な大学こそ、その価値は大きく、ずっと持続できる」とあいさつした。

次に、永年にわたり大樟会支部長あるいは大樟春秋会会長を務め、このほど退任された4氏(別掲)に感謝状が贈られた。

続いて、第50回全日本大学駅伝対校選手権大会出場(2大会ぶり22回目)の陸上競技部と、第61回全日本学生ハンド



式辞(藤本二郎理事長)



式辞(徳永光俊学長)



式辞(田村正晴会長)

懇親会



鏡開き(左から、田村会長、藤本理事長、小谷副学長)



会場風景



乾杯(小谷副学長)



ビンゴ大会、1等の八尾英規氏(43回)と
プレゼンターの山下一佳(本学総務部長)(右)



学歌、逍遥歌(下石秀男元応援団長)



万歳三唱(山本隆造大樟体育会会長)



閉会挨拶
(崎田洋一本学常務理事)

ボール選手権大会出場(連続33回、通算53回)のハンドボール部に対し壮行会が行われ、会場のあちこちから「がんばれ!」の声があがった。

セレモニーはつつがなく終了し、続いて上杉道世氏による講演会(別掲)が開かれた。

旧交を温めたホームカミングデー

会場を学生会館2階に移し、13時からホームカミングデー懇親会が行われた。開会に当たり、藤本理事長が「昨年の就任以来、各地の企業や高校を訪ねている。学生の就職も好調。当分、学費値上げはせず、よい教育を続けたい」と報告を兼ねてあいさつ。

その後、広島賀茂泉酒造蔵元の菰樽で鏡開きが行われた。続いて、同窓生でもある小谷融本学副学長が乾杯の発声、華やいだ空気に包まれた。

終盤にはビンゴゲーム大会が開かれ、1等(高品質枕)が八尾英規さん(43回)ほか4人、特別賞(メロン)が山内淳子さん(47回)に当たった。以下、2等(カタログギフト5千円相当)3人、3等(日本酒)5人、4等(ハチミツと本学グッズ)4人、5等(丹波焼湯呑み)3人に賞品が贈られた。

最後に、下石秀男元応援団長(37回)がエールを切り、学歌、逍遥歌を全員で斉唱し、山本隆造大樟体育会会長(37回)の音頭により万歳三唱。そして、崎田洋一本学常務理事が閉会を宣言した。参加者は、来年の再会を約束し合っ、会場を後にした。



テーマ

「大学の持続につながる卒業生施策の在り方」

講師 上杉 道世 氏 大正大学理事長特別補佐

総会終了後、上杉道世氏（大正大学理事長特別補佐、元・東京大学事務局長）による記念講演が行われた。文部科学省で長く大学関連業務などに携わり、東京大学で国立大学法人化に関する業務の経験などから、日本の大学の現状や大学と同窓会の関わり方について解説、提言いただいた。（以下、講演要旨）

課題が山積する、私立大学の現状

今、18歳人口は減り続けており、中央教育審議会（中教審）のまとめでは2040年に現在の約8割になると予想されています。つまり、2割の大学は経営がなりたたなくなります。多くの大学が危機感を持って改革を進めています。

今後、人生100年時代の到来、外国人労働者の増大などグローバル化の徹底、AI（人工知能）導入などにより、産業構造に変化が生まれるでしょう。終身雇用の崩壊などによる雇用の流動化で、大学での学びの形も変わってきます。

大学改革のポイントを抜き出してみましょう。大学でよく見られるのが、議論優先で何事も決定しにくい状況。そのため、理事長・学長のリーダーシップを強化し、戦略的な大学運営を可能にすること。また、授業・大学運営の両面における教職員の資質向上。社会で必要な能力・心構えを習得するキャリアガイダンスの制度化など。これらが今日の大学の課題と言えるでしょう。

今後の大学改革・経営と同窓会の役割

それでは、これからの時代に求められる大学改革とは？各大学は自らの力で魅力ある教育研究を実現しなければ存続できません。そのためには大学マネジメントの向上が不可欠です。教職員が「大学経営はどこかの誰かがやってくれるもの」と思っている大学は衰退し、「自分たち一人ひとりが大学経営を担っている」と考える大学は発展します。企業と同じで、構成員が一丸となって努力する必要があります。

そして、これからの大学経営に大切な要素の一つがステークホルダーとの良好な関係です。ここで注目したいのは、学生が大学に満足し、愛着を持つこと。卒業後も、できるだけ大学と関わりを持ってもらうことが大事です。

慶應義塾大学の同窓会「三田会」のホームページ冒頭に「この大学に入学して良かったと思うのは卒業してからかもしれない」との言葉が書かれています。同大学では、卒業生（塾員）用のオンラインネットワークを築き、卒業25年目の塾員を卒業式、50年目の塾員を入学式に招き、51年以上の塾員を毎年5月の会合に招待しています。塾員は選挙によって、義塾運営の最高決議機関を組織する評議員になります。

他の事例として、京都光華女子大学は4親等までのファミ

リー推薦入試を実施し、入学金を実質的に割り引いています。また、大阪経済大学でも「つながる力ナンバーワン」を目指し、オーナーなき私学にあって「多様な職業人養成」という建学精神を堅持。

同窓会は①会員相互の親睦、②応援団・サポーター、③ステークホルダーという3つの役割を担っています。

帰属意識を持続可能とするために

では、卒業生の帰属意識を持続可能とするポイントは何か。大学への愛着の原点は、良き学生時代を送ったという満足度にあり、自身の成長や大学への感謝を感じてもらうことが大切。次に、卒業生名簿を適切に管理し、大学の情報等を発信し続けること。また、節目の行事への参加も促進しましょう。同窓会の組織化は在学中・卒業時から始め、強力な推進組織を確立することが大切です。

また、学生の就職活動時の支援など、卒業生と在校生の自主的な動きを軌道に乗せること。さらに、卒業生が大学の教育や経営に参加する機会を増やす。こうした連携の集積として、寄付は生まれるのです。

ただ、同窓会の機能には両面があり、伝統を重んじる同窓会が男女共学化への転換を阻止した事例もあり、逆に、大学合併をリードした例もあります。同窓会の在り方は多様です。大規模総合大学では組織化が難しいが、実現した場合は効果が大きく、小規模単科大学ではまとまりやすいが機能が限られるので、活動の焦点を明確に絞込むことが大切です。

これからの時代、同窓会の機能や役割は一層大きくなります。大阪経済大学に合った関係づくり、大学と同窓会の双方にとって良い活動を考えていただければと思います。



各支部・同期会の皆さん
(懇親会会場にて)

順不同



北大阪支部の皆さん



池田支部の皆さん



北河内支部の皆さん



川西・川辺支部の皆さん



和歌山支部の皆さん



京都支部の皆さん



35期生の皆さん



社労士大樟会の皆さん



教職員OBの皆さん



税理士大樟会の皆さん



CBS文化放送局OB会の皆さん

懇親会後別会場にて



32期生の皆さん



とりあえず34期会の皆さん



37期生の皆さん



愛媛支部の皆さん



簿記会計研究部10期生会の皆さん



29期生の皆さん(ひでよしにて)



30期生の皆さん(ひでよしにて)

各支部の
ふるさと自慢



わがまち イチオシ



全国各地で、地域のあり方を見つめ直そうという機運がますます高まってきたように思われます。そこで、全国各支部に依頼し、「これぞ、わがまちのイチオシ」というものや「ふるさとで自慢できるもの」などを自由にお書きいただきました。

羊蹄のふきだし湧水

北海道支部



全国の皆さんに美味しい水を紹介します。蝦夷富士とも呼ばれる羊蹄山に降った雨や雪が長い年月をかけて大地に染みこみ、ろ過されたものが一気に大地から噴出する湧水です。50年以上の歳月がミネラルを豊富に含む美味しい水に育てているのです。麓の京極町には湧水を採水できる『ふきだし公園』があり、毎日8t噴出しています。

大阪市で生まれ育った私にとって、昔の水道水が苦手で生水を飲みませんでしたが、今ではこの水が欠かせなくなり、2か月毎に札幌市から往復3時間かけて約100Lの水を汲みに行ってます。自宅ではご飯をはじめ煮炊き物に使っています。なかでも、この水で淹れた珈琲は絶品です。

事務局 鶴飼泰正(51回)

ふくいの冬の風物詩「水羊羹」

福井支部



水羊羹は一般的によく冷やして暑い夏に食べられる。しかし、福井では、水羊羹と言えば今でも冬にこたつに入ってミカンと一緒に食べるのが当たり前になっている。水羊羹を初めて作ったのは有限会社「えがわ」。昭和25年に初めて作られた。もとになったのは関西で働いていた人が福井へ帰る折、土産に持って帰ってきた「丁稚羊羹」と言われる。甘さを控えた黒砂糖の優しい味がツルンと喉に吸い込まれる。何とも言いえない水羊羹のど越し。今では耐水性の紙箱に入って売られているが、以前は漆塗りの木箱で売られていた。水羊羹の製造は「えがわ」だが、売っているのは八百屋さんなどいろいろな店で売られていた。食べ終わると水羊羹を買った店に空の木箱を返しに行くのが決まりだった。

支部長 田安敏男(38回)

ふるさとで自慢できるもの

静岡支部



富士宮市朝霧ジャンボリーカントリー クラブより



静岡市内 JR東静岡駅付近より

静岡の名物というと、昔は富士山・お茶・ミカンという時代がありました。今でもお茶の生産量、一世帯あたりの緑茶消費量も日本一を誇っていますが、何といても、『山は日本一の富士山』ではないでしょうか。静岡支部としてちょっぴりふるさと自慢をしたくなりましたので、投稿いたします。

私は静岡市内に住んでいますが、自宅からちょっと歩けば、また車で出かけても富士山を眺めることができます。これからも機会があれば、いろんな場所で、いろんな季節の富士山を紹介したいと思います。今回は2カ所からの富士山です。

支部長 大塩博喜(40回)

「弁慶の駒つなぎ」のクスノキ

北摂支部



高槻市東部、梶原2丁目に、日蓮宗の寺院で「鍋かむり上人」と呼ばれた日親上人が、室町時代の西暦1427年に地元住人に請われ建立した北摂の名刹・一乗寺があります。境内には、天に聳える巨大クスノキが参拝者の目をくぎ付けにしています。高さ30メートル、樹齢約800年ともいわれるこのクスノキは、西国街道を通りかかった弁慶が馬をつないだと言う伝説の古木で、「弁慶の駒つなぎ」と呼ばれています。枝ぶりの美しさも比類なきものと言われますが、ただ、実際に弁慶と結びつける資料はありません。いつ頃から、どのようにして伝承が生まれたのか不明ですが、クスノキの大きさや幹の太さに、弁慶の強く逞しいイメージを重ねたのかもしれない。全国には、大津市三井寺の「弁慶の引き摺り鐘」、池田市の「弁慶の泉」をはじめ、「弁慶石」「弁慶の土俵跡」など、弁慶の名がつくものや場所が多く見られます。

事務局 梶村貞真(37回)

大阪国際空港、新しいITAMIがテイクオフ

伊丹支部



仕事のときも、家族や友人・恋人と過ごすときも、いつでも誰でも楽しめる空港へ。これまでにはなかった新体験を、新しいITAMIで、昨年の春テイクオフしました。34店舗が新登場し、ここだけのおいしさ、楽しさが続々！見て、遊んで、くつろげる。ショップも充実の展望デッキ！到着口が一つになって、もっと便利にスムーズに！全面リニューアルは2020年、変わり続ける大阪国際空港をお楽しみください。ITAMIでしかない、体験、感動、毎日でも行きたくなる空港を目指して、今後も変化は続きます。皆様のお越しをお待ちしています。 代表幹事 瀧内和之(35回)

淡路ファームパークイングランドの丘

淡路島支部



瀬戸内海最大の島「淡路島」には、自然を気軽に感じられるスポットがたくさんあります。なかでも、南あわじ市八木の「淡路ファームパークイングランドの丘」は家族みんなが1日中楽しめる場所として人気です。コアアをはじめとして、たくさんの動物との触れ合いや、季節に応じて楽しめる花々、農産物の収穫体験もできます。淡路島の名物や特産物を使った料理が堪能できるレストランも充実しています。また、いろいろなイベントも開催されていますので朝方から夕方まで楽しめる、おすすめのスポットです。

支部長 赤松慶久(37回)

かき小屋

広島支部



広島冬の名物食材といえば「ひろしま牡蠣」です。さてこの牡蠣をどこで食べるか？広島には絶品の牡蠣が味わえる小屋、つまり牡蠣小屋があるので。水揚げされたばかりの旨い牡蠣というのは、沿岸部にある少数の「かき小屋」でしか食べられないのです。この「かき小屋」では、牡蠣養殖を営んでいる業者がその日の朝水揚げした牡蠣を格安で提供してくれます。だからこそ、段違いに美味しい牡蠣が食べられるのです。

さて、どうやって食べるのか？小屋の入口でバケツに入った牡蠣を購入、中に入り網焼きの準備されたテーブルへ(バーナー式と炭火式あり)、自分達で牡蠣を網に載せ焼いていきます。蓋が開き、そのまま少量の醤油をたらす。いざプリンプリンの牡蠣をお口へ。牡蠣がらには、うま味が凝縮された汁が。全部飲んだら、ごちそうさま。どうぞ、冬に広島を訪れたら是非「かき小屋」にお寄りいただき、新鮮牡蠣を食してください。 支部長 陰山秀明(44回)

坂上頼泰の彰徳碑

阪神支部



宝塚市は「宝塚歌劇団」をはじめ、桜花賞などのGワンレースが行われる「阪神競馬場」、腹帯で有名な「中山寺観音」、富岡鉄斎ゆかりの「清荒神最澄寺」など有名な場所が多数あります。今回の我が支部の「いちおし」は約450年前に豊臣秀吉に仕え、園芸に携わり「台木に別の花木の枝をついで植木の品質向上と大量生産を可能にする接木の技術」を開発し、秀吉から「木接太夫(きつぎだゆう)」の称号を与えられた「坂上頼泰(1515～1597年)の彰徳碑」です。

現在の植木の街「宝塚市山本地区」の隆盛を築いた坂上頼泰の彰徳碑は阪急電車山本駅前であり、大正元年に建立されたそうです。ちなみに坂上頼泰は450年前の人物ですが、手塚治虫などと共に宝塚市の名誉市民となっています。

なお、宝塚市山本地区は「植木の街」の知名度を上げるため、すぐ近くに「花と緑の情報発信ステーション」として17世紀頃のイギリスの地方都市を再現した【ふれあいパーク】が平成12年に開設され、朝夕の散歩や花や植物の贈答に利用される複合施設として市民に親しまれています。 副支部長 山本肇志(38回)

ネコの駅長

和歌山支部



「ネコの駅長」で有名な貴志駅長に会いに行ってきました。JR和歌山駅から和歌山電鉄でのどかな田舎の風景を見ながら約30分で終点の貴志駅に着きます。料金は400円です。駅長は2代目で、名前はニタマです。駅長室はショーケースで、向かって左が執務室、右が休憩室です。ちょうど昼休みの時間で駅長は休憩中でした。当日は平日でしたが、猫駅長に会うため30人程の中国人風の団体客や子供連れの客で賑わっていました。沿線には、官幣大社の日前宮、竈山神社、官幣中社の伊太祁曾神社などがあり、初詣には多くの参拝客で大いに賑わいます。貴志駅周辺では、季節によってイチゴ狩りやブドウ狩りも楽しめます。一度行ってみる価値はあります。

事務局長 西 芳男(36回)

世界一の大梵鐘

熊本支部



熊本県の北西部に「日本マラソンの父」金栗四三翁の故郷玉名市があります(出生地は隣町の玉名郡和水町で、今も生家が残されています)。市街地から市民から親しまれている自然豊かな「小岱山」を車で15～20分ほど上ると「蓮華院誕生寺 奥の院」があります。当院の梵鐘(飛龍の鐘)は仏教の基本理念に基づき、直径が9尺5寸(2.88m)と定め、高さ15尺(4.55m)、厚さ1尺(30cm)、重さはお参りする方の「満願成就」を願って万貫(37.5t)と定めた世界一の大きさです(「蓮華院誕生寺 奥の院」のパンフレットより引用)。

五重の塔や大仏など多くの建造物が自然と調和し、散策には最適な環境です。頂上付近からは熊本、長崎、佐賀、福岡の九州4県に囲まれた有明海と長崎の島原半島の普賢岳が一望でき、特に夕日が沈む光景は絶景です。また、玉名市は古くから温泉の町としても有名で、交通アクセスも良く新幹線「新玉名駅」と関西は片道4時間ほどでつながっており、お勤めの観光名所です。

支部長 坂本純夫(39回)

クラブ活動紹介

体育会

弓道部

我々、弓道部は、男子と女子に分かれて日々活動しています。男子は、平日の8時から10時、水曜日の16時50分から20時20分、土曜日の8時50分～13時に日々練習に取り組んでいます。今年も昨年と同様に3部リーグへの昇格は果たせませんでしたが、4部リーグ2連覇を果たし、3部まであと一歩のところまで来ています。来年度は3部昇格を必ず果たし、さらに上へ行くためにこれからも邁進していく所存です。

女子は、今年度の関西学生弓道選手権大会において団体初優勝を成し遂げました。またリーグ戦は、1部リーグ準優勝という結果になりました。このような結果になったのも、大学の方々や同窓会の方々のご支援、ご声援のお陰です。いつもありがとうございます。これからも一同精進して参りますので、ご支援ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。



ラグビー部

私たち体育会ラグビー部は、創部80年以上の歴史あるクラブです。関西大学ラグビーBリーグに所属し、部員33名、マネージャー5名の計38名で活動しています。週4回のグラウンド練習に加え、週2回のウエイトトレーニングに一生懸命取り組んでいます。毎年8月には、長野県の菅平高原へ合宿に行き、遠方から来たチームと合同練習や試合を行い、さらなる強化に力を入れています。今年は、リーグ5位を目指し、ディフェンスに力を入れて練習しています。かつてはAリーグの強豪として、その名を轟かせていましたが、現在はBリーグに所属しています。また以前のようにAリーグに戻れるように昇格を目指して頑張っていきます。

芸術会

グリークラブ

男声合唱団として活動している私たちグリークラブは、今年で65年目を迎えました。他団の方とのjointコンサートや年末の定期演奏会、全国大会出場を目指し、関西合唱コンクールにも出場しています。大学行事でも様々な活動をさせていただいており、入学式や卒業式をはじめ、大樟会総会でも学歌の斉唱などを行なっています。また、今年新たな試みとして、大学近隣の介護施設でも活動を披露させていただきました。近年部員が少なくなってきましたが、様々な改革を行いつつ、学内・学外活動を積極的に行うことで、学内関係者の方や近隣住民の方、またOB.OGの方々との関係を深めていくことができるよう精一杯活動してまいります。



バドミントン部

私たちバドミントン部は1953年に創部され、今年で65周年を迎えます。現在の部員数は、男子14名・女子3名で活動しており、関西リーグでは男子2部・女子3部に所属しています。部員の中には高校時代にインターハイを経験している人もいれば、大学からバドミントンを始めた人もおり、全員で個々の目標をもって日々練習に励んでいます。またチームとしての目標は、男子は関西リーグ1部昇格・女子は3部上位という目標を掲げており、達成に向け切磋琢磨しています。

バドミントンは、近年、日本選手の目覚ましい活躍により徐々に脚光を浴びてきました。その活躍に良い刺激を受け、練習にもさらに熱を入れ、良い結果報告ができるよう部員一同頑張っています。



バスケットボール部

私たちバスケットボール部は、選手22名・マネージャー2名・学連員1名の計25名で活動しています。部員全員がとても仲が良く、オンとオフの切り替えをしっかりとできて、練習はとても真面目に取り組んでいます。現在、私たちは関西2部リーグに所属しています。惜しくも今年のリーグ戦では、入替戦までいくことができず2部残留と、悔しい結果で終わってしまいました。この悔しさをバネに、もう一度原点に戻り、チーム一丸となり、1部昇格、インカレ出場を目指し、日々ハードワークに取り組めます。また、たくさんの方から応援していただけよう頑張ります。

軽音楽部

軽音楽部は芸術会の中で最も歴史が長く、1933年に創部し85年目の現在、総勢74名で組織されるクラブです。軽音楽部とはバンド演奏を基本とするクラブであり、ボーカル、エレキギター、エレキベース、ドラム、キーボードなどでの構成が主体です。

主な活動としては年に2回の定期演奏会を中心に、企画ライブやジョイントライブなど、合わせて年に50回以上のライブがあり、その出演に向けて部員一同日々精進しております。

それだけでなく挨拶、時間厳守、敬語を三原則とし、徹底することで楽しむときは楽しむ、場を締めるときは締めるというメリハリのある活動を心掛けています。



クラブ活動紹介

学術会

証券研究部

証券研究部は毎週水曜日18時から活動を行なっています。主な目標は12月に東京で開催される全日証券ゼミナール大会で優秀賞の獲得です。その目標を達成するために企業研究や勉強会を行なっています。企業研究ではプレゼン力の向上、資料の読み取りの練習を目的に1、2回生が好きな企業を選び、有価証券報告書やディスクロージャー誌から情報を得て他社比較やSWOT分析などを行い、どのような企業かをパワーポイントにまとめて発表します。勉強会では上級生がパワーポイントなどで下級生に対し金融の基礎知識を教えています。これは上級生の知識の再確認、下級生の基礎知識を身につけてもらうことを目的としています。この他に夏合宿を行い他大学との交流を行ったりしています。



独立総部

吹奏楽総部



吹奏楽総部は、年2回の演奏会を中心に活動しております。2018年には第50回記念定期演奏会、第40回記念ウィンターコンサートを開催いたしました。また、硬式野球部・準硬式野球部の応援や、卒入学式での演奏など学内の行事にも積極的に参加しています。そのほかにも、夏から秋にかけては学外からの演奏依頼も多く、いろいろな場で演奏する機会をいただいています。毎年10月には大隅西小学校の全校児童を招待し、70周年記念館のフレアホールで芸術鑑賞会を行います。小学生の素直な反応を見ると喜んでくれているのが伝わってきて、演奏している私たちまで楽しくなります。私たちの演奏で聴いてくださるすべてのお客様に笑顔になっていただきたいという想いで日々活動しております。

総部会(Ⅱ部)

フットサル部

私たちフットサル部は「全国大会優勝」を目標に練習に取り組んでいます。練習は、夜に体育館で行っています。部員が約60名とかなり多く、短い時間の中で全員がしっかりと練習できるように工夫して活動しています。基本的に選手主体で活動を行っているため、フットサルを通して人としても成長できるのがこの部の魅力のひとつです。まだ創部して3年目と歴史は浅いのですが、2年目には関西学生リーグ1部昇格を果たし、今年はインカレ大阪大会準優勝、関西大会準優勝と全国大会を目の前に捉えることができました。また、新人戦では関西大会優勝という結果を残すことができました。しかし、私たちの目標は「全国大会優勝」なので、この結果に満足することなく日々精進していきたいと思えます。



全クラブ一覧 (2018年11月現在)

●体育会

合気道部
アイススケート部
(スピード・フィギュア)
アメリカンフットボール部
空手道部
弓道部(男子・女子)
競技スキー部
剣道部
硬式庭球部
硬式野球部
ゴルフ部
サッカー部
自転車部
(レース・サイクルサッカー)

自動車部
柔道部
重量学部
準硬式野球部
少林寺拳法部
水泳部
ソフトテニス部
ソフトボール部
卓球部
チアリーダー部
日本拳法部
バスケットボール部
バドミントン部
バレーボール部
ハンドボール部

ボクシング部
洋弓部
ヨット部
ラグロス部(男子・女子)
ラグビー部
陸上競技部

●芸術会

映画研究部
演劇研究部
ギタークラブ
グリーンクラブ
軽音楽部
茶道部
写真部

邦楽部
マンドリンクラブ
落語研究部

●学術会

E.S.S部
将棋部
証券研究部
パソコン部
文芸部
簿記会計研究部
ボランティアクラブ
ユースホステルクラブ

●独立総部

アルバム委員会
CBS文化放送局
吹奏楽総部
ワンダーフォーゲル部

●総部会(Ⅱ部)

会計学研究部
Ⅱ部軽音楽部
Ⅱ部バスケットボール部
フットサル部

念願の大樟会の奨学金制度、実施

同窓会設立80周年記念事業の一つとして、平成28年度の大樟会理事会で承認された大学の奨学金制度の支援が、平成29年度から実施に移されました。大学の奨学金制度のうち、「緊急修学援助奨学金制度」と「遠隔地学生奨学金制度」について、大学枠と別に同窓会枠を設け、援助しています。



○同窓会緊急修学援助奨学金

学費負担者の死亡、失職等、家計が急変した学生、および経済困窮家庭の学生を対象とした給付奨学金

支給対象者	対象年次・採用人数	給付金額	募集時期	選考基準
家計急変者 経済困窮者	1年生 5名 2～4年生 10名	一学期授業料の半額 一部 177,500円 二部 87,500円	1年生 7月 2～4年生 4月	家計基準 成績基準(修得単位数)

○同窓会遠隔地学生奨学金

遠隔地(近畿圏以外、または近畿圏で通学に3時間以上を要する地域)からの入学者を対象とした給付奨学金

支給対象者	対象年次・採用人数	給付金額	募集時期	選考基準
遠隔地からの入学者	新入生 10名	一部生 20万円 二部生 10万円	6月	家計基準 成績基準(修得単位数)

平成30年度奨学金を給付した学生のうち、4名の学生からのお礼のこたばを紹介します。

●同窓会遠隔地学生奨学金

この度は、遠隔地学生奨学金に採用していただきありがとうございます。私は、現在たくさんの人に支えられ大阪経済大学に通うことができています。この恩返しをするために日々勉学に励んでいます。将来の夢は資格をしっかりと取り、自分にしかできないことを見つけて人の役に立つことです。そのために奨学金は学費や資格取得の費用に使わせていただきます。充実した大学生活を送れるよう精進します。

(情報社会学部 1年 女 徳島県出身)

■同窓会緊急修学援助奨学金

このたびは、緊急修学援助奨学金に採用していただき、ありがとうございます。私は母子家庭で兄弟がいます。そのため母親にかかる負担を今回の緊急修学援助奨学金のおかげで軽減することができました。大学で勉学に励み結果を出して恩返しをしていこうと思います。その目標のために奨学金は学費や資格取得の費用として大切にに使わせていただきます。

(経営学部 1年 男)

●同窓会遠隔地学生奨学金

この度は、遠隔地学生奨学金に採用していただきありがとうございます。私には将来の目標があり、そのために、この大阪経済大学での四年間で社会人としてのビジネススキルを身に付け、海外研修に参加し外国の文化、語学を学びたいと考えています。そして、学生生活の中で人格形成を行い、三年後、社会で活躍する人材になることが目標です。最後になりましたが、ご支援してくださった全ての方々へ心よりお礼申し上げます。

(経営学部 1年 女 高知県出身)

■同窓会緊急修学援助奨学金

この度は、奨学生に採用いただき誠にありがとうございます。いただいた奨学金は学費として大切にに使わせていただきます。大学では、より多くのことを学び様々な資格を取れるように日々努力していきたいと考えています。現在は、簿記検定の勉強に励んでいます。ご支援いただいた感謝の気持ちを忘れずに、大学生活を通して素敵な社会人になれるように日々精進していきます。

(情報社会学部 1年 女)

★大樟会の奨学金制度を末永く続けるため、同窓生からのご寄付をお願いします。(同封の振込票をご覧ください)

新北から南から

from the south, from the north.

このページは、全国各地の同窓生からのお便りを掲載します。また、次号も同窓生の方の楽しいお便りを募集いたします。

近況等を400字程度にまとめていただき、ご住所、お名前、卒業年度、電話番号を明記の上、原稿にふさわしい写真あるいは顔写真を添付してお送りください。

- ・締め切り 2019年7月末必着
- ・送付先 〒533-8533 大阪市東淀川区大隅2-2-8
大阪経済大学大樟会「北から南から」係 宛
- ・eメール okusu@osaka-ue-denken.com

生涯現役

大城戸(佐野)武子(13回)



昭和16年12月8日、真珠湾奇襲攻撃と同時に日米開戦突入。多くの一般人が召集令状(別名赤紙召集)一枚で、軍人の身分に一変。〈名誉の戦死〉を遂げられた方々は『軍神』として靖国神社に祭られた。私の叔父も、戦死して軍神となり、私達家族は国の招待?で靖国神社に参詣し、同時刻、昭和天皇が軍服姿で上馬され参道を進まれたのを記憶している。戦時中の私達高等中学校卒業生は、①挺身隊(工場勤務)②結婚③上級学校進学(現大学)が人生であった。裁縫がない学校!?私は迷わず現大阪経済大学を目指し入学した。入試時の数学問題が高度であったのは、故近藤教授の“女性の数学力を試すため、辛めの出題を行った”とか。当学校の3年間で私の人生の確かな基礎を造った。

会計事務所の実務経験10年の間に税理士国家試験合格。昭和33年7月独立開業。あれから60年。気の合う数字と共に、飽きもせず、生涯現役を貫く覚悟で今日を生きている。 兵庫県神戸市

わが人生

武安 一明(24回)



良く学び、良く遊び、良く働いてきたというのが、わが人生でした。

経大においてはすばらしい恩師に恵まれました。倉辻ゼミに入り、先生の全人格的なお人柄に心酔し、学問はいうに及ばず、その他いろいろご指導をいただきました。昭和33年に卒業し、電通に就職しました。当時、大阪支社に配属されたのは11名で、今、存命中はわずか3名となっています。誠に淋しいかぎりです。

大学、社会生活を通して恵まれた環境で過ごしてきましたが、近年糖尿病が悪化。また3年前には脳梗塞を患いました。幸い、早く対応しましたので、軽い麻痺が残っている程度で大事には至りませんでした。秋には83歳となります。涼しくなればやりかけている断捨離を徹底的に続行し、すっきりした生活環境を運まきながら築きたいと思っています。そしてこれまでのわが人生に対し、感謝の気持ちを忘れずにいたいものです。 奈良県生駒市

懐かしい思い出

星加 常(26回)

卒業して半世紀以上、学生時代のことを思い出しています。旧法研部の地下部室で話し合った先輩、後輩、同輩の顔が浮かびます。少し前ですが、かつて下宿していた辺りを歩きましたが、なかなか見つけることができませんでした。下宿時代、各部屋はベニア一枚の仕切りで、お互いに食事の差し入れをしたこともあり、また淀川の川辺で炊事道具を持ち寄り、一ぱい飲みながら大声で話し合い、歌ったこともあります。当時は工大生もあり、淀川に橋もなく、交通局の漕ぎ船が運航していました。その淀川を泳いで向う岸の旭区まで渡り、往復したこともあります。今はその時のメンバーに欠ける人もおり、本当に歴史を感じます。

今は小学生の見守り隊として子供達の登下校の交通安全の旗を振っています。どうぞ今後共各位のご壮健と母校の発展をお祈りします。 奈良県宇陀市

人生は楽しく

大和谷 明(26回)



私は東経135度日本標準時「子午線のまち明石」に住んでいます。この度、大樟会から「淀江」への寄稿依頼があり、ペンをとりました。

私は日課として、朝15分～20分散歩します。そして行きつけのカフェに寄ります。その店には常連客が6～7人、ほとんど毎日来ています。みなさん70歳以上です。常連客と世相や趣味、病気の話など話題は多岐にわたり談論風発です。さながらシニアサロンのようです。みなさんから元気を貰っています。

20代で始めたゴルフも今では月イチゴルフです。因みにホールインワン2度達成。また、旅行好きの妻とよく温泉地などに出かけます。大いに気分転換になります。ご縁があって、松嶋屋片岡仁左衛門丈の後援会に入ってから、400年の歴史を有する日本の伝統芸能歌舞伎にハマってしまいました。知れば知る程その奥深さにのめり込んでしまいます。

傘寿をすぎ、「1日は短く、1年も短い」と痛感しています。いずれにしても、限りある人生、好きなことをやって日々楽しくすごしたいものと思う今日この頃です。平成30年9月記

兵庫県明石市

地域に根ざした「まつり」

郭 順一(32回)



私は兵庫県尼崎市で阪神医療生活協同組合の組合員として、ボランティア(無償)で日々活動をしています。そして大きな行事としては、毎年2月に「ふるさと雪まつり」、8月に「健康夏まつり」を開催し、いずれにも当初から関わっております。現在は実行委員長をさせていただいています。

「ふるさと雪まつり」は平成30年で第25回目となり、2月11日に行いました。兵庫県香美町から10トン車3台の雪のプレゼントをいただきました。丸橋公園でいろいろな模擬店を出し、地元の園田中学校、双星高校の吹奏楽部の皆さんにも出演していただき、地域の人達に大いに楽しんでいただけました。

また、「健康夏まつり」は第35回目で、同じくいろいろな模擬店が出店されました。子供達には「スイカ割り」が人気でした。フラダ

ンスあり、そしてメインの盆踊りでは老若男女を問わず、多くの人が踊ってくれました。今は正に地域に根ざした「まつり」になっています。 兵庫県尼崎市

残照を生きる

高市 昌信(32回)



平成最後の昨年の夏、ついに後期高齢者の仲間入りをしました。体力の衰えは如何ともし難く、趣味の「無農薬野菜作り」は規模を縮小しました。それでも季節の野菜を娘達や友人知己に届け、会社員時代の仲間との「いもたき会」に里芋を提供して楽しんでいます。

3年前からは、住んでいる団地の管理組合に関わり、現在は理事長として活動しています。30年を経た戸数550を超える団地なので、上水道、排水処理設備の更新工事など取り扱う金額も大きく、責任は重いのです。

また桜の名所でもある団地外周に、幼稚園児や小学生に桜の苗木を植樹してもらい、下草刈りなどはシルバー人材センターの助けを借りながら、成長を見守っています。終生お世話になる団地への感恩返しになればと、理事9人が力を合わせて快適なコミュニティ作りを目指しています。

2020年には金婚式を迎えます。妻と元気で旅行を楽しみたいと思っています。 愛媛県松山市

平成最後のつばやき

山地 義夫(33回)



卒業して52年、この前、古希を迎えたと思ったら早、後期高齢者に近づきました。老年おひやすく徳成り難しの心境です。

趣味として詩吟をやっています。始めて26年程になりますが、詩吟声といった渋い声は、持っていません。吟じられている中

国、日本の漢詩に興味を持つことが長続きの一つかもしれません。我が家の猫の額程の土地で野菜作りをしています。最近、生ゴミのダンボールコンポスト化に挑戦。微生物で発酵力が増し、暖かい堆肥ができています。

淀川近くの豊里町に下宿していた当時の先輩諸氏と何十年ぶりに再会、淡路島、南紀、南九州、丹後半島を旅行、奥様のお友達を含め10人近くが参加。旧交を温めました。次回が楽しみです。

このようなことができるのも平和が続き、経済が成長したおかげです。最近の異常気象、我が物顔にふるまう世界のリーダー達、ウソを平気で押し通す政界、官界等。前途は明るくないですが平和が続けば解決する知恵は出てきます。我々の世代は次世代に対しても平和を維持する責務があると思います。 愛媛県新居浜市

“情報発信”と“人との関わり”

西川 嘉紀(33回)



近況報告ですが、まさに先月「澁江」のお陰で奇跡的な出会いがあり、改めて“情報発信”と“人との関わり”の大切さを学びました。

経緯は、卒業して半世紀後の先月(7月)に突然6年先輩の方から電話をいただき、早速お会い

しました。現住所が近く、勤務会社もグループは違うが一緒と分かり、こんな縁があるのかと仕事や人事、勤務地そして趣味などの話で時を忘れ楽しい茶会を持つことができました。

それは支部長時代に「澁江」に投稿していたのをご記憶いただき、連絡くださったとのことでした。個人情報の慎重な取扱いが求められることが多い昨今、アナログ文化も大切で、「親交」「友情」「先輩・後輩」「同僚」等の懐かしい言葉を思い出しました。

近況は、退職後に立ち上げたNPO活動、ゴルフ、旅行など今のところ「健状」に過ごしています。もう少し頑張れそうです！

兵庫県加古郡

老後の人生

徳田 文治(35回)



大樟会の情報誌「澁江第54号」に投稿する機会を与えていただき感謝申し上げます。

卒業して早くも半世紀が経過し、本日に「光陰矢の如し」です。入社以来34年間勤務した近江鉄道(株)を平成15年1月10日に退職しました。

その後、父から事業継承したアパート経営と農業に励んでいます。平成22年3月からは愛荘町議会議員を務め、現在3期目です。監査委員・副議長・教育民生常任委員会委員長の要職を務めてきました。これも偏に、大学の4年間優秀な先生方のもとで多くのことを学ばせていただいたお陰であると、感謝の念一入です。

また、平成30年9月から中央仏教学院の通信教育に入学し、心の支えをつかんで充実した人生を送っていきたくと思っています。趣味のカラオケも歌唱力をつけ、頑張り続けたいと思います。そして、大樟会滋賀支部総会に一人でも多くの仲間を誘い、参加したいと思っている昨今です。

終わりに、大阪経済大学の卒業生として地域社会に貢献することが、本学並びに大樟会の発展に寄与するものと確信しております。

滋賀県愛知郡

古希を迎えるに想うこと

大谷 章二(37回)



古希を迎える年齢になり、今も元気で働ける幸せを感じております。4社目の会社で、今は、あのCMで有名なRIZAPグループ(株)で取締役監査等委員として働いております。半世紀のビジネスマン生活を振り返ると「ご縁」に恵まれた人生でした。学生時代に熱中したESSクラブ活動、池内ゼミナールで先生が言われた「なぜそうなのか?考え続けなさい!」は、人生での無形資産となっています。

現在も、卒業以来、同期のESSメンバーとは交流しており友情を温めております。65歳の折に、そろそろメンバーも欠ける歳なので夫婦で同期会をやるかと提案し、台湾旅行をジャパネットたかた創業者の高田明氏の計らいで満喫しました。平成30年9月29日には、高田氏が社長に就任した長崎V・ファーレンを応援に夫婦で行く予定です。リタイア後は、駐在時代のパリ・ミラノ旅行、百寺巡礼とその地方の温泉巡り、五木寛之「百歳人生を生きるヒント」に従い、一日一生の百歳人生を楽しみます。

神奈川県横浜市

我が街 「鯖江市」/福井県

八田 庄一(37回)



鯖江市は、福井県のほぼ中央に位置し、人口6万8,500余人、大臣、著名人も愛用のめがねフレームの国内製造シェア9割を誇る産地であり、先端技術で先を行く繊維、1500年の伝統ある越前漆器など「ものづくり」が盛んである。女子高校生（JK）がJK課としてまちづくりに参加するなど、全国的に注目されている。人口増加率、密度は県内1位。市民が主役で活躍する元気な街です。

一方、福井県は、幸福度ランキング3年連続日本一！ 確固たる産業基盤があり、雇用が非常に安定、日本一の教育県、三世代同居と家族が助け合うライフスタイル、高齢者も活躍……と、人、水、酒、米、かに、魚にも恵まれている。

昨年は、「福井しあわせ元気国体」と障害者スポーツ大会「福井しあわせ元気大会」が全県で開催された。陸上男子100mの桐生選手の日本人初の9秒台、9.98秒を記念して、スタジアム名も変更された。鯖江市も、体操、なぎなた会場となり、賑わいました。

福井県鯖江市

人生は本当に楽しい

山内 繁樹(37回)



昭和42年入学と同時に、江口の里の学生寮に入寮してもう51年が過ぎました。もう何十年も前に寮はなくなり、グラウンドだけになっていますが、想いだけは何時までもなくなりません。今でも毎年幹事持ち回りで同窓会を開いています。北陸から四国・九州どこで開催しても、地元の者も遠方の者も均等に費用負担することが、長く続いている理由の一つかもしれません。

さて、私は卒業後、地元広島に帰り銀行に就職しました。今の超低金利時代と異なり、国も企業も高度成長の真っ盛り。融資する資金は、預金を集めなければできない限界預貸率（今では死語？）の時代。企業の成長を私達の喜びとして仕事のできた良き時代でした。今でも経営者の方との交流があります。

64歳でリタイアして、今では年40回位のゴルフや計30日位の旅行、筋トレ、家庭菜園、料理教室。あっ、もちろんカーブの応援も。時間が足りません。人生を謳歌しています。 広島県安芸郡

同好会で交流を深める

平井 裕能(38回)



還暦を過ぎた頃、池田支部から総会の案内が届き、母校への思いもあり出席をしました。以来、毎年出席をしています。私自身「団塊の世代」ということもあり、医療、介護、年金という社会保障費問題、いわゆる2025年問題に如何に健康で自立した老後を過ごすことができるかを以前から強く思っていました。そのためには、地域や人との関わりを持つことが大切と思ったことも出席の理由でした。

幸い、支部の人達も卒業年次は異なりますが、友好的な雰囲気が集まっています。支部を盛り上げていくためには、共通の趣味を通じて交流を深めていくことが大事と思い、将棋同好会を立ちあげました。私の後輩（39期生）が阪急十三駅近くで将棋道場を40年以上開設しており、将棋同好会も定期的に集まり将棋を楽しんでいます。考えることにより頭の体操にもなり、また将棋盤を挟んで対話することで絆を深めることができます。今後も交流を深め支部の発展に貢献していければと思っています。 大阪府池田市

私の近況

重田 吉庸(38回)



新年明けましておめでとうございます。

私は、昭和47年3月卒業後、尼崎市役所に奉職し、平成21年に退職しました。その後は嘱託職員として現在も勤めております。49歳の在職時、市登山部に入部し、北・南・中央アルプス、近畿、四国、中国、九州の山々を登りました。昨年も燕岳（2,763m）に登頂し、自然のすばらしさに感動しました。退職時、友人に誘われて死後への備えとして四国88カ所遍路旅3回、別格20カ所遍路旅1回、西国33カ所巡礼旅5回目です。一方、生きている限り学びが必要と思い、兵庫県高齢者放送大学に入校して3年目です。また、1年前から絵手紙を習っており、今後コーラス、書道もやってみようと思っております。次に大樟会尼崎支部の支部長が逝去され、総会がないことが寂しいです。限りある命、元気に社会に奉仕ができるよう過ごしたいと思っております。先輩・同輩の皆さんお元気ですか。大阪経済大学の益々のご発展をご祈念申し上げます。

兵庫県尼崎市

旅研～自由と融和

柴田 隆文(39回)



1969年春。入学して程なく授業がなくなり、翌年まで“全国最後の学園バリケード”となった経大。ジプシーのように日替わりでアルバイトをしていました。そんな中、大学に行き日毎に移動するボックスを探し、旅研（旅行研究会）の仲間と合流。旅研は組織行動と共に、それぞれ自由に活動する“自由と融和”のクラブでした。先輩にはヨーロッパ、同期ではインドや北アフリカを放浪する者がいました。私は単独で、また同期の仲間と徒歩・野宿を基本に、京都北山、護摩壇山、若狭越、伊豆半島縦走。屋久島・種子島など離島へは漁船に乗せてもらって行きました。

卒業後、兵庫県で公務員となり、美術館、文化財課、高校事務長等を経て、現在県内の私立短大に勤めています。経大サッカー部の観戦や日本経済史研究所の講座にも参加。

「旅研」同期の仲間とは今は車を駆って旅行。病気自慢を肴に杯を傾けています。入学後、半世紀。“経大愛”深まる2018年秋。

兵庫県明石市

「母校での恩返し？」

佐々木 大介(40回)



昭和49年3月、第2経営学部を卒業し、4月法務省本省に。以来、霞が関、関西、東京、北海道、広島の入国管理官署で外国人の出入国や在留の管理、さらに難民認定や外国人登録電算処理化、北海道洞爺湖サミット対応、等約40年間出入国管理行政全般に従事した。平成20年3月定年退職し、母校の好意もあり翌春から恩返しの気持ちで母校大経大の非常勤講師となり、今春まで8年間講座が続いている。

母校は自分の時代とは一変、学舎は真新しく、学生も現代的で素直かつ真面目だと感じた。この8年間で500人以上が私の時事国際関係論を履修しているが、学生が社会に出た後、この講座での勉強が社会活動の一助になったと感じてくれれば幸いである。

私は地域の元気なシニアとともに卓球クラブで汗を流し、近隣や大阪での定例試合に参加するなど、闘う体と脳内刺激を怠らないよう努めている今日この頃である。 奈良県生駒郡

1年2回の通学



古池 浩二郎(42回)

私が大経大に入学したのは昭和47年(1972)4月。初めて淡路島(南あわじ市福良)を出ました。この年は「恥づかしながら」と流行語になった元日本兵の横井庄一さんが帰国。浅間山荘事件、沖縄県の発足の年でした。卒業は昭和51年(1976)3月。この年は、五つ子の誕生、ロッキード事件で当時の田中角栄首相の逮捕がありました。

卒業後は新幹線の窓から経大の看板を見る程度でしたが、平成20年に社労士大樟会が発足し、その会員として年2回は総会や研修で経大に行くようになりました。教科書数冊とノートをブックバンドで締めて、それを小脇に抱えて通学し、講義を2時間受ける。すこし居眠りしながら。

大阪の会社に就職し、東京や広島、岡山等に転勤し、平成14年に淡路島に帰ってきましたが、淡路島に帰ってきてよかったと思います。御食国*(みけつくに)の淡路島にきていただいて、おいしいものを食べて観光地を巡ってください。

*御食国 皇室や朝廷に海水産物を貢いだ国

*写真は家から車で5分の場所から

兵庫県南あわじ市

旅に出よう、自然のある場所で暮らそう

佐藤 充(56回)



あけましておめでとうございます。早速、卒業後の30年を振り返りたいと思います。

パブルも終わりを迎えかけた平成2年に卒業、家電メーカーに就職。営業、商品企画部門で働きました。約20年が過ぎる頃、家電業界は不況に陥り、各社が早期退職を募る状況となりました。2012年に早期退職し、時間、健康、お金という3つの宝を同時に手にした私は、モンゴル、ノルウェー、ラオス等へ旅を続け、45歳でアメリカのウエストヴァージニア大学へ短期留学をし・・・あっという間に2年が過ぎました。その後、「会社員時代の営業力を過疎の村に活かさないか」と誘っていただいた奈良県吉野郡川上村に移住することになり、昨年から村役場の正職員として、観光やツーリズム系の仕事をさせていただいています。

最近になって、生き方も住む場所も1つだけではないこと、人は自然のそばで暮らすべきことに気づいたように思います。

奈良県吉野郡

つながりを大切に

松原 祐子(62回)



大学を卒業して20年以上が経ちました。10代の頃は都会での生活に憧れていましたが、大学4年間を大阪で過ごし、「やっぱり地元もいいかも!」と思うようになり、

卒業後は鳥取県に戻り、働いています。鳥取県は人口最少、面積も小さな県ですが、そこに山(国立公園大山)から海(日本海)までコンパクトに収まり、海の幸・山の幸にも恵まれた魅力あふれる地域です。大山から見下ろす日本海、弓ヶ浜半島はとても美しい姿で、この地を訪れる人たちを魅了してくれます。その大山は昨年、開山1300年を迎え、各地でさまざまなイベントが開かれ、大山がもたらす恩恵を再確認する年にもなりました。ぜひ皆さま、鳥取、大山に足をお運びください。

さて、働き始めてから、大学へ足を運ぶ機会もすっかりなくなってしまいましたが、出張等で新幹線に乗り、新大阪～京都間を通る

際には、母校の建物を懐かしく眺めています。お世話になった大学の先生、部活をはじめとする大学でできた先輩や仲間の皆様、両親など、大学4年間は沢山の方々に支えられながら過ごしたことを思い出し、感謝の気持ちでいっぱいになります。そして、「頑張らなければ」と気持ちを新たにすることができます。特に、教職課程の授業で3～4回生の時に出会った仲間とは、将来の夢を語り、2週間にわたる教育実習や教員採用試験を乗り越えることができました。地元に戻った現在も、仕事を進めるうえで、経大出身の方々に頼りにさせてもらっています。経大に関わる皆さまとのつながりは私の財産であり、これからもずっとずっと大切にしていきたい宝物です。

鳥取県米子市

“老化抑制”の日々

鈴木 章彦(82回・院)



小生は現在、一に健康維持、二に勤務先業務、三に若干の自己研鑽といった生活をしております。経大の皆様との関わり、トピックスを含め以下に記します。

・健康維持：近隣電鉄主催の15km位のハイキング等々が月数回ありますが、2・3カ月に1・2回参加。その他個人的なハイキング、ウォーキング等々を随時実施。1・2年先輩の三木俊和さん、横田裕導さんとは、三人会と称して、年末に会食し旧交を温めています。最近卒業の田原勇也さん、井上和也さんとも帰宅途中等で数回お会いし、旧交を温めています。大樟会眞面・豊能支部「散策会等の案内」：6月に向うくもの、「経大」グループが不明のため、一人で実施しました。経大グループのフラッグでも立てておいていただきたく思いました。

・勤務先業務：週3日の非常勤勤務。特定業務がある訳ではありませんが、皆様に役立つ制度の検討、情報提供、研修等を実施。その他情報システムの有効性、効率性、安全性等を評価、向上させる「システム監査」に従事。

・自己研鑽：各種所属協会等の研修受講。昨年4月からは週1回の英会話講座を受講[70歳からの手習い]。北浜校舎での岡田晃先生「実践経営塾」に数回出席。受講後にゼミ指導教官林田修先生の授業に参加。大隅キャンパスの林田修先生のところへはその後、数回、お邪魔するといった、“老化抑制”の日々を送っています。

*写真は7/24実施の社外研修会で講師を務める。

大阪府豊能郡

卒業してから早1年

池内 朋也(83回)



早いもので卒業してから1年余りになりました。卒業して最初に就職活動に取り組みました。就職課の卒業生専門カウンセラーの方からビジネスマナーや面接のことについて一から教えていただき、大変お世話になりました。その後、実際に数社で選考を受けましたが、内定が出ませんでした。さらに数社受けるも選考に通らず、現在も就職活動を継続しています。

かねてより簿記部の仲間と飲み会をしたり、カラオケに行ったりで交流を深めていましたが、特に同期やOBの方とは卒業後も関わる機会も多く、忘年会等では飲み合ったり好きな歌を歌い合ったりもしています。人付き合いは上手くない方ですが、皆と関わっているうちに人と関わることを楽しいと思えるようになりました。

大学4年間で培った経験や人間関係は決して無駄にはならず、むしろこれからも続いていくものだと思惑しております。 兵庫県尼崎市

北海道支部

今年も元気に



今年の北海道支部総会・懇親会は、平成30年10月26日(金)、札幌ビューホテルにて徳永光俊学長と支部会員7名で開催しました。

大樟会総会の前日という日程になり、大樟会本部からの出席が叶わず、同窓会の近況を知る機会がなかったことは残念でした。一方、徳永学長からは、学校の状況を「熱く・詳しく」お聴きして、現役学生たちの活躍を嬉しく思っています。

毎年確実に高齢化している北海道支部ですが、学校や同窓会の活躍に刺激を受けて、来年の支部総会を楽しみにして、元気で過ごしたいと願っています。

幹事 鶴飼泰正(51回)

東京支部

引き続き東京オフィス設立の検討を



平成30年9月21日(金)、夏の名残が残る夜風を感じながら、多くの著名人が訪れ、最も権威ある記者クラブといわれる「日本外国特派員協会」で支部総会を開催しました。本学からは藤本理事長、小谷副学長、大樟会からは田村会長、内田事務局長をお迎えし、また、大樟会大山常務理事にも特別にご臨席いただきました。

本年度は嬉しいことに初参加者が9名となり、総勢41名で賑々しく開催されました。来賓挨拶では本学の現況報告、特に地方受験生が減少し、関西圏偏重の傾向が強くなっていることへの懸念、また奨学金制度の現状等について報告がありました。その後は和やかな雰囲気の中で懇親会となり、初参加者を中心に自己紹介また本学に対する熱い思いを語っていただきました。

他の有力大学と比べても、本学は首都圏での就職率シェアは低い傾向にあります。伝統ある本学の知名度が首都圏で低いのは、首都圏での就職率が低いことに一因があるのではないのでしょうか。他大学は東京オフィスを設立し、学生の就職活動の拠点として活用しています。本学の知名度を上げ、学生、教職員、同窓生が多目的に活用できる本学東京オフィス設立を引き続きご検討いただきたいと思います。

支部長 森田幸伯(45回)

富山支部

「ご苦労様」の一言を支えに



富山支部は平成30年7月8日(日)午後4時より、富山市のホテルグランテラストヤマにて総会を開催し、会員の皆さんの交流と親睦を深めることができました。同窓会より石橋隆夫組織部長(前福井支部長 32回卒)と大学より小川雅弘経済学部長のご出席のもと、総勢18名の和やかな雰囲気の中で学園の現状と将来についての報告をいただきました。

本年度総会開催に先立ち、物故された会員への黙祷を行いました。総会では、新幹線開通による関西地区への進学者の減少や卒業生の減少、また同窓会への参加率の低さなど問題点として挙げられました。

最近、支部総会の返信で住所変更などをいただける方もありますが、「脱会を希望する」等をいただく場合があります。興味関心が薄い方もおられる現状は理解しているつもりですが、意欲が減退するような返信をいただくと「葉書一枚とは言え、差し出す苦勞をご理解いただけているのかな?」と思うこともあります。しかしながら、久しぶりに参加された方や返信に付記された「ご苦労様」の一言を支えとして、この会を大切にしていきたいと思っています。

事務取扱 野田 満(48回)

石川支部

今回は能登で総会開催



平成30年度石川支部総会を9月28日(金)午後7時より七尾市の老舗旅館「のと楽」にて開催しました。大学本部より山下総務部長、大樟会本部より小林副会長、福井支部より田安支部長のご臨席を賜り、19名の参加となりました。

総会は鍛冶支部長の挨拶の後、議案審議に入り、満場一致で承認されました。引き続き大学本部より最近の入試状況や学内の様子、同窓会本部より奨学金の取り組み等のご報告を受けました。

続いて紅一点大多副支部長の挨拶、福井支部長の乾杯で懇親会が始まりました。能登部会を代表し34回卒の古川久次氏の当地にまつわる詩吟に聴き入り、能登鬼面太鼓の迫力に圧倒され、次第に宴も盛り上がりました。中締め後、皆が肩を組み、学歌追送歌を斉唱し青春時代を思い出し能登の夜は更けていきました。

役員 竹村嘉一(49回)

福井支部

新支部長に田安敏男氏を承認



平成30年6月23日(土)、ザ・グランユアーズフクイにおいて、大学より草福弘樹人事部長、大樟会より竹中亨事務局参与、田中伸治常務理事、五十棲保彦愛知支部長、山根一男岐阜支部長にご来賓としてご臨席をいただき、支部員37名で開会しました。平成29年度収支決算、30年度支部役員改選等議案を審議、石橋隆夫支部長の退任、田安敏男氏の新支部長選出、他役員を承認。12年の長きにわたりご尽力いただきました石橋氏に感謝状、記念品を贈呈しました。

ご来賓挨拶の後、懇親会に入り、田中伸治常務理事のご発声により乾杯、マジシャンとして活躍中のジョン道阪(道阪友裕・76回)さんのマジックショーで大いに盛り上がりました。終わりは全員が肩を組み、あわら市議会議員・笹原幸信氏(36回卒)のリードによる学歌、逍遥歌を熱唱、結びは玉木誠前副支部長の支部の前途を期待する力強い挨拶があり、鈴木修二副支部長とお二人による一本締めで閉会いたしました。

石橋様、永年、本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。今後は本部の組織部長としてご活躍を!!

事務局長 中嶋関一(43回)

岐阜支部

伊勢路駅伝応援の報告も



平成30年11月18日(日)、名鉄岐阜駅に近い岐阜キャッスルインにて、平成30年度支部総会を開催いたしました。昨年は東海支部設立70周年ということで、愛知支部と合同開催となりましたが今年は単独で、平成24年に復活してから7回目の開催となりました。当日は大樟会から竹中 亨事務局参与をはじめ、近隣の愛知・京都・滋賀・福井各支部からも支部長らが駆けつけてくださいました。

来賓あいさつに始まり、会計報告、写真撮影、近況報告など、豊田頂吉さん(45回)の司会進行により和気あいあいと歓談のときを過ごすことができました。その際、今年も伊勢路を走る全日本大学駅伝(11/4)に出場した母校の選手の応援に岐阜からも参加しましたが、その報告などもありました。

岐阜県には約200名の同窓生がいます。今年は2テーブルでしたが、ぜひ来年は3テーブルになるよう、より多くの同窓生に参加していただきたいと思います。

支部長 山根一男(46回)

静岡支部

今年も元気な顔が!



平成30年7月28日(土)、静岡駅南口のホテルセンチュリー静岡において、大学より草薙情報社会学部長、大樟会より内田事務局長をお迎えし、支部から8名(35回～83回)の参加で支部総会を開催しました。台風が接近する中、開催が危ぶまれましたが、皆さんの日頃の行いが良いのか、閉会迄天気も持ち無事に滞りなく終了できました。第一部では、大学および大樟会の近況報告と29年度事業・決算報告および30年度計画案の審議を満場一致で承認されました。第二部では、懇親会に移り、乾杯後、全員の自己紹介・近況報告や情報交換を和気藹々の中行いました。

支部発足以来19年になります。ほぼ毎年同じ顔ぶれの出席者ですが、毎年元気な顔が見られるのは、支部として嬉しい限りです。ここ1～2年新しい出席者もあり、引き続き新しい方の総会参加を呼びかけていきます。最後になりましたが、今年度より私が事務局長を引き継ぐことになりました。よろしくお願いたします。平成31年の支部総会は、7月27日(土)、場所は今回と同じホテルセンチュリー静岡で開催します。

事務局長 河本陽介(51回)

三重支部

オール大経大を実践する



平成30年度支部総会を10月20日(土)松阪市内の「和田金」において開催しました。総会当日は、大学より崎田常務理事、大樟会本部より山本常務理事・大樟体育会長、愛知支部より五十棲支部長、三津副支部長のご出席を賜り、来賓を含め総勢33名での開催となりました。今年度の総会は、76回卒の女性1名と79回卒の男性1名の初参加がありました。また愛知支部の三津副支部長は65回卒で愛知支部の世代交代も着々と進んでいるのに驚かされた次第です。総会では、崎田常務理事、山本大樟会常務理事から大学の現況等のお話を聞かせていただきました。

議事終了後、今年、母校が2年ぶりに全日本大学駅伝に出場できることになり、三重支部としての駅伝の応援体制について話し合いました。応援地点である中継点の確認をし、三重支部は第6、第7中継点で、のぼり旗を立て応援することとしました。私たち同窓会と大学が一つになって全力で選手を応援することで、「つながる力」を実践していければと考えています。

懇親会では、各自が和田金の料理を堪能しながら近況報告等をする間に時間が、あっという間に経過し、西村副支部長の中締めで、また来年の再会を誓い、お開きとなりました。

支部長 池山英典(57回)

滋賀支部

県内1600名同窓生の融和を深めたい



平成30年6月10日(日)、クサツエストピアホテルにおいて総会を開催いたしました。本学より小谷融副学長、大樟会本部より石橋隆夫常務理事(福井支部長)、五十棲保彦愛知支部長、山根一男岐阜支部長、柴田俊彦京都支部長各位のご臨席を賜り、総勢48名のなごやかなひと時を楽しむことができました。また小谷副学長より大学の近況などの講話をいただき、母校への想いを深めることができました。

今後の取り組みとして県内1600名同窓生の連絡充実、消息確認、各地域ごとの組織強化のため幹事の増員などの方針を決め、融和、親睦を深めていきたいと考えています。願わくば異業種や世代間の交流など同窓会ならではの集いを目標にして活動をしていきたいと思っています。今回の総会には若い方たちも多く参加していただき、会場により一層の元気を添えていただきましたことをご報告いたします。

支部長 佐藤 啓太郎(37回)

京都支部

企画の成果、11名の初参加者



2018年度の支部総会が11月10日(土)、ホテル京阪京都グランデにて開催されました。今回は総勢56名にご参加いただきました。大学からは黒正教学・国際部長、大樟会から大河内副会長、角脇総務部長、近隣支部より愛知・岐阜・福井・滋賀各支部長(副支部長)にお越しいただきました。今回は現役の落語研究部の学生さんをゲストにお招きし、漫才をご披露いただき、会を盛り上げていただきました。参加されたOBも学生さんのパフォーマンスで盛り上がり、時間の経つのも忘れ、楽しんでいただきました。また、黒正部長から本学の創立者黒正巖先生の生い立ちから大学の将来像までお話しいただき、皆さん興味深く聞き入っていました。

今回も11名の初参加者がおられ、企画の成果が出たのではないかと感じております。来年も大学にもご協力いただきながら趣向を凝らし、一人でも多くの皆様にお越しいただけるよう企画してまいります。おかげさまで、閉会時間を超えて盛り上がる中、京都支部総会を無事終えることができました。 支部長 柴田俊彦(50回)

大阪市淀川支部

第2回総会盛会のうちに乗り切る



平成30年5月19日(土)、第2回大阪市淀川支部総会をホテルプラザオーサカにて、草薙情報社会学部長様、田村大樟会会長様、内田大樟会事務局長様、大山大樟会常務理事様、川口大樟会監事様のご臨席を得て開催し、11名の会員様にご出席をいただきました。総会は情報社会学部長様、大樟会会長様、大樟会事務局長様のご挨拶をいただき、青木支部長よりこの一年間の振り返りと、今後の展開を資料を交えて報告させていただきました。

総会終了後に開催された懇親会では、大樟会常務理事様から乾杯のご発声をいただき、ひとりひとりが自己紹介を行い、また、ジョン・道阪こと道阪会計より即興のマジック披露もあり、お互いの親睦を深めることができ和気藹々と会を進めることができました。

支部創立よりまだ日が浅く、同窓会運営はまだまだ手探り状態ですが、今後も役員一同、力を合わせて同窓会の交流および親睦を深めていきたいと思っています。同窓会会員の皆様のご参加をお待ちしております。

森村信治(49回)

大阪市北支部・大阪市南支部

大阪市北・南合同総会を開催



平成30年7月29日(日)午前11時30分、予期せぬルートをとった台風12号が襲来する中、大阪市北支部・南支部合同総会を開催しました。25人の参加者となりましたが、来賓として大学から草福理事・人事部長、大樟会から田中・吉仲両常務理事の三氏にご出席いただき、総会は順調に進み、各議案はすべて承認されました。続いて、春木前大阪市支部長による講演会「心齋橋の不思議」が行われ、興味深い話が披露されました。

その後、会場を「梅の花 本町店」に移し、懇親会となり、来賓の方々から祝辞をいただきました。会は和気あいの雰囲気の中、出席者の近況報告なども行われ、午後3時にお開きとなりました。

大阪市支部の分割に際しましては、多くの皆様にご心配いただきありがとうございました。今後とも信頼関係を深めながら新たな前進を誓う集いを開催してまいります。諸般の事情で欠席となった先輩諸氏からも次回は参加したいとの言葉をいただきました。

北支部長 小原宏夫(38回)

南支部長 吉川 進(41回)

大阪市住吉支部

第2回(2018年度)総会・懇親会を開催



昨年4月の設立総会から1年余りの活動の締めくくりとして第2回総会・懇親会を母校のE館7階会議室および大樟ラウンジで開催しました。6月18日(月)の大阪北部を震源とする地震により開催も危ぶまれましたが、幸い、当日は天候にも恵まれ予定通りに行うことができました。

総会では、平成29年度1年間の活動報告・決算報告が、続いて平成30年度の活動案・予算案の審議が行われ、拍手をもってすべての審議事項が承認されました。当日は、来賓として大学からは理事・財務部長の横山稔氏のご臨席を賜り、2018年度の入試志願状況など大学の近況報告とともに祝辞をいただきました。お礼申し上げます。また、総会では、大学のメディアへの露出度を高め、同窓生にも分かるような形での広報をお願いしたい、等の意見も出され、大学のこれからについても意見交換される場面がありました。

総会終了後は、会議室前の『大樟ラウンジ』に場所を移して懇親会を行い、久しぶりに集まった大樟会員が酒を酌み交わし、近況報告や昔話に花を咲かせました。酒を飲みながら、議論を重ねるうちにアツという間に時間もたち、秋のレクリエーションや来年度の総会での再会を誓って散会となりました。 支部長 山本岩雄(33回)

北大阪支部

「ハンガーゼロ」をテーマに同窓生が講演



平成30年6月16日(土)本学E館7階会議室・大樟ラウンジにおいて会員24名、来賓7名の計31名のご出席をいただき開催いたしました。

当日は大学から橋本浩二理事・事務局長、大樟会から田村正晴会長、上田敬二郎常務理事、吉仲美智子賛面・豊能支部長、田中功一豊中支部長、花岡任宥北河内支部長、山西喜久北河内支部事務局長のご出席をいただき、大学、同窓会の近況報告、さらに激励のお言葉をいただきました。また、提出された案件は全て承認され、事業計画にも賛同いただきました。

終了後、「世界の飢えた人々に食料と愛を」・「ハンガーゼロ(世界の飢餓をゼロにする)」をテーマに一般財団法人日本国際飢餓対策機構理事長・清家弘久氏を講師にお迎えし、講演をしていただきました。同氏は1984年に本学を卒業後、ボランティア活動で海外派遣のスタッフの責任者としてエチオピア・アフガニスタン・インドネシア・ハイチなど30カ国以上におよぶ国に緊急援助活動をされ、2017年9月に理事長に就任されました。

講演終了後、田村大樟会会長の挨拶の後、最高齢の出席者25回卒の沖本氏の乾杯発声で懇親会が始まり、和やかな雰囲気の中、近況を語りながら学歌・逍遙歌を合唱し、35回卒の近藤氏の一丁締めでお開きとなりました。 支部長 角野 力(41回)

大阪市役所支部

久し振りに総会を開催しました



同窓会の皆様、ご無沙汰しております。大阪市役所支部総会を平成30年3月30日(金)、ヴィアーレ大阪において開催することができました。当日、大樟会常務理事の山本様、事務局参与の竹中様にご出席いただきました。

後継者がなく、解散総会の予定でしたが、事務局の提案により、大阪市役所支部の名称を残し、休眠支部とすることとなりました。

事務局は大樟会本部となります。ご心配をおかけしました。今までありがとうございました。

南 正治(43回)

北摂支部

マジックショーで大いに盛り上がる



平成30年3月3日(土)午前11時から北摂支部総会を、高槻市民会館錦松鶴で総勢36名のご参加をいただき開催しました。大学から橋本浩二事務局長、大樟会から田村正晴会長、角庵勝巳常務理事、近隣3支部4名を来賓としてお迎えいたしました。

橋本事務局長からは入試状況、就職状況を中心にお話をいただきました。田村大樟会会長からは奨学金制度の充実により地方の学生誘致に積極的に取り組む。近隣支部からは各支部の現状報告と、北摂支部への叱咤激励をいただきました。

ゲストには、当校卒業生でマジシャンとしてめきめき頭角をあらわしてきた、ジョン道阪こと道阪友裕さん(76回卒)をお迎えし、パラソルやトランプ、ピストル等を使った華麗なマジックショーで会場はおおいに盛り上がりました。同氏は今後も関西を中心として予約が入っており、スター街道を順調に進んでおります。

懇親会では、恒例の北摂支部カラオケ教室の生徒が、鍛え上げた自慢のノドを披露、最後はプロ歌手和気多賀司さん(38回卒)の指導で学歌・逍遙歌を全員で力強く合唱し、盛会の内に今年の総会もお開きになりました。

北摂支部は4月に花見、5月にハイキング、6月にカラオケ教室、秋にはバスで33カ所観音巡り、三支部(北河内・北大阪・北摂)合同のパークゴルフ大会と盛りだくさんの行事を用意しております。

事務局長 梶村貞真(37回)

同窓会ホームページもご覧ください!

同窓会活動をより身近なものとして活用していただくために、ホームページを作成しています。年間行事予定などの掲示のほか、住所変更の申請も手軽にできるようになっています。ご活用いただき、ご意見ご感想をお寄せください。

ホームページアドレス <http://www.osaka-ue-denko.com/>

箕面・豊能支部

新支部長に吉仲美智子氏



平成30年3月4日(日)箕面・音羽山荘において、箕面・豊能支部総会を開催しました。総勢36名で、昨年より多く19回卒から77回卒まで幅広い層の出席がありました。来賓として、大学から草福人事部長、大樟会から田中・上田両常務理事、近隣支部から田中豊中支部長や竹本川西・川辺支部長、池田支部、北大阪支部、北摂支部、遠くは池田三重支部長や檜垣税理士大樟会会長の出席をいただきました。

雑賀支部長の開会挨拶の後、議案の審議に入り、いずれも異議なく承認され、無事終了いたしました。今年は役員改選の年に当たり、4年にわたり活躍されました雑賀支部長が退任され、新支部長として吉仲美智子氏(68回卒)が選出され、新たな執行部と共に支部運営をすることになりました。続いて、アトラクションとしてジョン・道阪プロマジシャン(76回卒)によるパラソル他が演じられ、楽しく、愉快的なマジックで盛り上がりしました。その後、懇親会は多くのご出席をいただいたこともあり、旧交を温めながら、和気あいの楽しい時間を過ごすことができました。畑岸新副支部長の閉会挨拶があり、森上氏のリードによる逍遙歌の合唱で閉会となりました。

副支部長 小林克巳(34回)

豊中支部

♪フルート・オーボエと打楽器の演奏に酔いしれる♪



平成30年6月17日(日)午前11時より千里阪急ホテルにて第34回支部総会を開催いたしました。出席者は、ご来賓を含めて31名でした。大学からは、人間科学部長福井孝明様、大樟会からは、監事の檜垣典仁様、常務理事の西平綾太様、近隣4支部の代表にもご出席いただきました。

はじめに今回初めての企画として、ゆったりとした音楽の生演奏を心ゆくまで鑑賞しました。演奏していただいた方々は、中高大の学生時代を含め社会人になってからも音楽と関わっておられます。東日本大震災に思いを馳せ、復興支援ソング「花は咲く」を出席者全員で合唱しました。

総会に入り、支部長が挨拶の中で、本部から地方の休眠支部が復活したとの報告があるが、年に一度ぐらいいは、この会に顔を出して話をしましょう。それが、気力の充実やあらゆる疾病予防にもつながると力説されました。福井先生から本学が「全日本大学駅伝」に出場決定や、他の運動クラブの活躍が披露され、檜垣監事からは、同窓会(大樟会)の奨学金制度への取り組みが紹介されました。続いて議事に入り、各議案は承認されました。この後、上野満里子様(14回卒)の乾杯音頭により懇親会に入り、出席者からの近況が報告されました。終わりに、学歌および逍遙歌を斉唱して、閉会の辞があり、万歳三唱でお開きとなりました。支部長 田中功一(42回)

北河内支部

森川義一支部長勇退、後任に花岡任宥氏が就任



平成30年度支部総会を5月20日(日)本学E館(50周年記念館)で開催しました。大学からは、草福弘樹人事部長、大樟会本部から竹中亨事務局参与、上田敬二郎常務理事、さらに近隣支部から梶村貞男北摂支部事務局長、角野力北大阪支部長、湯村徳光北大阪支部幹事にご出席いただきました。ご来賓の方々からは、それぞれの立場で近況報告がありました。

その後、議事に入り、役員改選があり、永年勤められた森川義一支部長が勇退され、相談役に就任されました。後任には、花岡任宥事務局長が就任しました。花岡新支部長は、今後の支部運営がより良い方向に向かうように変えていきたいと述べられました。

総会が終わり、懇親会では本学卒業生でプロマジシャンのジョン・道阪氏をお招きし、直接プロの技を見ることができ、皆さんとても感動していました。酒宴には、ジョン・道阪氏も加わり、和やかに時が流れ、会員相互の親睦を深める懇親会になりました。

本年度の事業として、昨年同様の行事(バスツアー、カラオケ大会など)を予定しています。今後、参加者が1名でも増えることを願っています。

事務局長 山西喜久(44回)

池田支部

つながる力・絆を深める



連日35度を越す猛暑の中、平成30年度池田支部総会を30名が出席し、開催しました。まず、松田支部長挨拶の後、大阪経済大学常務理事崎田洋一様、大樟会常務理事竹中亨様、大樟会常務理事山本隆造様の来賓挨拶があり、学校の近況報告、大樟会の今後の取組方等お話しがありました。その後、平成29年度活動報告、収支決算報告、平成30年度活動案、収支予算案がいずれも満場一致で承認されました。

次に当支部前川吉晴(42期生)様より「池田のまちの昔ばなし」の講演をしていただきました。池田の町を写真を見ながら歴史を語っていただき、一同、改めて池田の町の歴史を再認識しました。

その後、大樟会会長田村正晴様のご発声で乾杯をし、懇親会に入りました。14期生の大先輩から81期生の若手まで幅広い卒業生が集い、終始和やかな中での有意義で楽しい時間を過ごすことができました。

書記 平井裕能(36回)

川西・川辺支部

平成30年度総会レポート



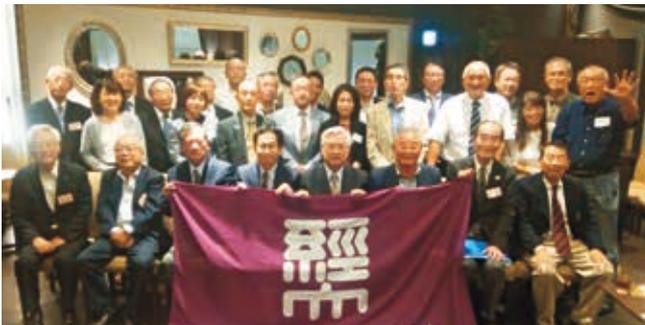
総会を6月17日(日)、市内[すし半]川西店で開催。出席は大学から小川雅弘経済学部長・同窓会から進木伸次郎副会長・山本隆造常務理事、近隣支部から4名のご参加を得て総勢35名でした。記念撮影の場所は会場にスペースがなく、添付写真のごとく、市内一の繁華街に立地する川西店に隣接の駐車場を一時拝借し、屋外での記念撮影となりました。

支部設立総会の平成26年の支部出席会員は25名、27年は26人、28年は20人、29年は20人、30年度は28人でした。年間の行事は市内探訪健康ハイキングを中心に活動しています。在住のOB・OGの皆さん、気軽に参加してください、待っています。

支部長 竹本 勇(35回)

神戸支部

参加者増を図るため様々な工夫



平成30年度支部総会は、平成30年10月13日(土) 17時30分より、神戸・元町南側神戸旧居留地にあるレストラン「レニージュエル」において開催いたしました。

今年も総会前に、元毎日新聞論説委員でジャーナリストの平野幸夫様に「最近の政経事情」と題して、ご講演をいただきました。総会には、大学から山下一佳総務部長、大樟会から進木伸次郎副会長、そして、近隣の池田支部、伊丹支部、明石支部、淡路島支部、東播磨支部からご臨席を賜り出席者は32名でした。来賓の皆様から現在の大学を取り巻く状況や卒業生の就職状況、大樟会の活動状況の報告等、心温まるご挨拶をいただきました。

神戸支部総会は十数年前から日曜日の昼間に開催してきましたが、参加者増を図るために、一度、土曜日の夕方に開催してはどうかという声もあり、今回の開催に至りました。しかし、他の行事と重なり、参加できなかった同窓生も多く、参加者増を図ることができませんでした。懇親会は、学生時代の懐かしい話題などで盛り上がり、中ほどで、ピアノとアルトサックスの生演奏と素晴らしい歌唱力を披露していただきました。その後、恒例の抽選会を行い、最後に逍遙歌を全員で肩組み合って斉唱しました。

来年も引き続き、総会サブタイトルに『神戸で出逢おう』を掲げ、「参加年齢層の幅の広さと充実、そして多くの女性会員の参加、並びに一人が最低一人を連れてくる」ことを目標にしたいと考えております。

支部長 正岡健二(36回)

伊丹支部

他大学の伊丹支部長も特別参加



伊丹支部は、平成21年11月14日(土)に設立総会を開催、大樟会の48番目の支部としてスタートしました。それから数えて10回目の記念総会が、平成30年6月9日(土)午後6時から伊丹シティホテルで開催されました。出席者は、大学、大樟会本部、近隣支部からのご来賓10名のほか、ゲストとして関西大学校友会伊丹支部長と幹事長にも特別にご臨席いただき、総勢38名となりました。

記念総会は、竹中亨伊丹支部長の開会の挨拶、ご来賓を代表して田村正晴大樟会会長の祝辞に始まり、議事に入りました。定例の各議案が順次上程され、それぞれ滞りなく承認されました。続いて記念講演会に移り、本学経済学部教授の閻立(エンリツ)先生が「本学国際交流の現状と課題」をテーマに懇切丁寧なお話をいただきました。

この後、竹本 勇川西・川辺支部長の乾杯の発声で懇親会となり、歓談が進むなか、ビンゴゲームが賑やかに行われ、清酒発祥の地とされる伊丹の銘酒などの賞品が参加者に配られました。

最後は、全員で円陣を組み、学歌、逍遙歌を斉唱し、和やかな雰囲気の中にお開きとなりました。 事務局長 内田敏雄(39回)

阪神支部

新支部長に秋山治信氏を選出



平成30年6月9日(土)、阪神支部総会を出席者42名にて、前年と同じく宝塚ホテルにて開催いたしました。支部総会は大尾事務局長の司会により、木岡支部長の挨拶で始まり、来賓として大学から横山財務部長、大樟会から廣野監事にご出席いただき、支部長から会計報告並びに活動報告が行われました。

阪神支部は西宮市・宝塚市・芦屋市で構成され、会員総数は2,233名で、今年度は役員改選に当り、秋山新支部長の新役員紹介のあと懇親会へと移りました。

大樟会上田常務理事の乾杯の発声により懇親会が始まり会食を行い、来賓の(株)兵庫プロバスケットボールクラブ西宮ストークス上原代表取締役社長にご講演をいただき、硬式野球部監督山本和作氏に楽しく話していただきました。先輩の地元バンドによるウクレレ歌謡も懇親会を盛り上げ、その後全員で学歌および逍遙歌を斉唱、西澤副支部長の閉会挨拶の後、記念写真撮影を行い、散会いたしました。

前支部長 木岡良郎(36回)

丹有支部

現役の4回生も参加



平成30年11月17日(土)、三田市の「三田ホテル」で、支部総会を開催しました。丹有支部は、三田市、篠山市と丹波市の高等学校を経て本学を卒業した者、また本学を卒業して丹有地域に勤務、あるいは居住する者を会員としております。総会開催地は持ち回りで、本年度は三田市地域が当番であります。現役の4回生2名や、初参加も数名あり出席者28名で開催しました。大学より崎田常務理事と、大樟会より天野常務理事のご出席をいただきました。また、今年20周年を迎えられた明石支部の池上支部長さんにも出席していただきました。ご来賓のお二人より4月に開設されたスポーツ・文化センターの開設記念シンポジウムでの鈴木大地スポーツ庁長官のお話、また全日本大学駅伝などのクラブ活動等のお話がありました。

懇親会では、ボランティアグループ「チーム歌人」の上中様によるアトラクションがあり、なつかしい歌をうたったり、ハワイアンソングが披露されました。お開きの時間となり、現役4回生2名の春の就職先の報告があり、激励の言葉をかけさせていただきました。またプロマジシャン・ジョン・道阪さん(76回)の「太閤園」での公演案内もあり、盛会を祈念しました。最後は恒例の藤林君による逍遥歌斉唱となり、来年の篠山市での再会を約束しました。学歌を歌ったり、逍遥歌を斉唱するたびに、学生時代に丹有支部会員の絆を深め、繋がる経大を感じた同窓会でありました。 支部長 足立徳太郎(36回)

北播磨支部

大学、同窓会の報告に安堵



創設12年目となった平成30年度支部総会を、12月8日(土)に小野市内の「寿司あけぼの」さんで開催しました。出席者は13名。当日は、大学より崎田洋一常務理事と同窓会本部から内田敏雄事務局長にご出席いただき、最近の大学の様子や同窓会活動などをご報告いただきました。大阪市内からの交通アクセスも向上し、施設のリニューアルにも取り組まれているとの近況に加えて、近年大学経営が厳しい時代を迎えるなか、受験者数も単科大学としては好調に推移しており、優良な財務状況を維持されているとの報告に安堵した次第でした。

当支部も結成10年余となり、若干、中だるみの感がありますので、若年層の参加者を増やすべく、種々事業を展開して行きたいと考えているところでございます。30年度支部事業では、恒例の関西大学・関西学院大学・甲南大学・近畿大学の関西地区大学小野支部同窓会とのゴルフ交流戦も予定しているところでございます。

支部長 伊藤俊博(32回)

明石支部

20周年記念総会で小谷副学長が講演



平成30年度支部総会は、9月1日(土)午後4時よりグリーンヒルホテル明石で開催しました。今回は、20周年記念総会で大学側から佐藤前理事長、小谷副学長、田村大樟会会長、また近隣支部の方々のご臨席を賜りました。

第一部は、本学の副学長の小谷融教授をお迎えして、「大学の現状」と「資金運用の楽しみ方」について、ご自身の体験もふまえての実用的な講演でした。

第二部の総会・懇親会では、池上照夫支部長の挨拶の後、ご来賓の方からご祝辞をいただきました。懇親会では、近況報告タイムを設け、会員全員のお話を聞くことができました。豪華景品をめざして、じゃんけん大会を楽しんだりしながら、最後に学歌・逍遥歌を斉唱し、閉会しました。

二次会はカラオケラウンジに席を移し、自慢の喉を披露しあい、和気あいあいの時間を過ごしました。今後ともよろしく願います。

副支部長 吉本明浩(41回)

東播磨支部

初参加4名を迎えて開催



平成30年10月21日(日)、加古川プラザホテル「東京田村」にて支部総会を開催いたしました。昨年は大学のホームカミングデーに合わせて母校で行いましたが、今年は地元での開催となりました。大学より小谷副学長、同窓会本部より石元常務理事、また近隣支部より神戸支部の北山事務局長、明石支部より安川副支部長、淡路島支部の小堀副支部長にお越しいただきました。

宮崎副支部長の司会により総会は進行され、福田支部長の挨拶、来賓の方の紹介がありました。その後議事に入り、それぞれ承認されました。次に小谷副学長から「大阪経済大学の現状と課題」、「高利回りのソーシャルトレンドングとは」についての講演をいただき、皆、熱心に耳を傾けていました。

今回の総会には初めて参加される方が4名いらっしゃり、今後ぜひ続けて参加していただくようお願いいたしました。その後来賓の方よりご祝辞をいただきました。懇親会では恒例となっている森本幹事による剣舞が行われ、皆様よくご存じの「白虎隊」を演じていただきました。懇親会も盛り上がり予定の時間を少々オーバーしました。最後に応援団OBの江口潤也さんの指揮のもと学歌を斉唱して散会いたしました。 支部長 福田敏裕(37回)

姫路支部

若き日の思い出がよみがえる



平成30年度総会は、10月27日(土)午後6時より姫路キャッスルグランヴィリオホテルにて32名の参加者で開催いたしました。来賓として大学より小川経済学部長、大榎会より大河内副会長にご出席いただき、最近の大学の状況や同窓会活動についてご報告いただきました。2022年に大学創立90周年を迎えることや陸上競技部においては、出雲駅伝や全日本大学駅伝に出場していることなど、嬉しく誇らしいご報告がありました。また、当支部のブンセン株式会社田中社長が本学の中小企業経営研究セミナーにおいて講演され、大変好評であったことも報告しました。

その後、懇親会に入り31回卒～83回卒までのメンバーで自己紹介などを通じて大いに親睦を図ることができました。そして全員で学歌、逍遙歌を合唱し、旧交を温めあった時間は瞬間に過ぎ、来年度の再会を誓い合いながら一本締めで散会しました。

最後になりましたが同窓生の皆様、新たな出会いや絆、ビジネスチャンスなどを求めて支部総会に参加されますことを期待しております。同窓生の絆は一生続く財産です。その絆は後輩へも受け継いでいこうではありませんか。 支部長 上野隆裕(40回)

奈良支部

ヴァイオリン演奏で癒されました



本年の支部総会を、平成30年10月7日(日)午前11時00分より、ホテル日航奈良「飛天の間」で35名が参加して開きました。大学から草薙信照情報社会学部長、同窓会本部から上田敬二郎常務理事、堺支部から去年に引き続き堀本修支部長にご出席をいただきました。毎年、お元気な皆さまとご挨拶ができることを幸せに思っております。また、今年は若い世代の参加者が多く活気に溢れました。

総会後の懇親会では、ヴァイオリン演奏のプロ・島崎悠気氏をお招きしました。演奏が始まると、皆さんのお顔はリラックスモードに包まれ、とても有意義なお時間を過ごされておりました。そして、一流ホテルの美味しい料理をいただきながら笑顔の絶えない同窓会となりました。今後の同窓会も様々なイベントを取り入れ、もっと沢山の同窓生に出席していただけるようにしたいですね。

保田まち子(77回)

淡路島支部

南あわじ市福良で開催



平成30年9月29日(土)、「淡路島3年トラフグ」、「淡路島サクラマス」で脚光を浴びている南あわじ市福良「やぶ萬」において、第28回支部総会を29名の出席のもと、盛大に開催しました。

赤松支部長の挨拶のあと、小谷融副学長、大榎会本部の山本隆造常務理事からご祝辞ならびに大学の近況報告をいただいた後、議案審議に入り、全ての議案について可決承認をいただき、無事終了。

恒例の研修会では、小谷副学長より「大学の現状と資金運用の楽しみ方」についてご講演いただき、和やかな雰囲気の中、有意義な時間を共有できました。

熱心な聴講の後、記念撮影を行い、懇親会となりました。乾杯のご発声を、ご来賓の大榎会本部の石元佳代常務理事からいただきました。宴たけなわの中、大榎会旗のもと、全員で学歌・逍遙歌の大合唱、盛会のうちに閉会となりました。

事務局長 榎本輝夫(47回)

和歌山支部

新支部長に岩田弘彦氏(48回)を選出



平成30年10月13日(土)、和歌山支部総会をJR和歌山駅前の「ホテルグランヴィア和歌山」で会員22人出席のもと開催しました。総会に先だち、永年支部発展のためご尽力され故人となられたラグビー部OBの高田良平氏、支部監事の平松和夫氏他のご冥福を祈り黙祷を捧げました。当日は、大学から横山稷理事(財務部長)、大榎会から角脇忠行総務部長、また塩谷善一郎泉南支部長の3氏にご出席賜り会に花を添えていただくと共に、各々にご挨拶をいただきました。

総会では、8年に亘って支部長を務められた新田和弘氏(32回)が勇退され、48回の岩田弘彦氏を新支部長に選出されました。懸案である支部の活性化を図るため、思い切った若返りを期待したものです。「次回の総会には、より多くの会員の出席を実現させる」との新支部長の力強い挨拶で総会を終了しました。

引き続き行われた懇親会では、来賓の皆様方と会員が和気藹々と語り合い、例年にも増して楽しい総会になりました。

事務局長 西 芳男(36回)

鳥取支部

今回も総会と親睦ゴルフの二本立て



平成30年8月4日(土)、支部総会を開催しました。

当日は、大山平原ゴルフクラブで恒例のゴルフの後、ANAクラウンプラザホテル米子において、大学から若吉浩二学長補佐、大樟会から石橋隆夫組織部長、角脇忠行総務部長、島根支部から伊藤滋人副支部長、福岡弘倫事務局長にご出席いただき、総勢25名で総会を開催しました。

総会では、学歌斉唱の後、若吉学長補佐から最近の大学の状況、石橋大樟会組織部長からご挨拶をいただき、秋口支部長から、今回の総会に向け、組織強化に努めたいとの話があり、議事に入りました。

収支決算、予算、事業計画、規程の一部改定等、各議案はすべて原案通り承認された後、懇親会に移り、各人の近況を語り合いました。次回は、5月18日(土)に倉吉シティホテルで開催する予定です。

支部長 秋口政俊(39回)

島根支部

島根支部再興2年目!



平成30年9月29日(土)、大型台風が接近する中、支部総会を松江エクセルホテル東急にて開催いたしました。大学から小川経済学部長、大樟会本部から石橋組織部長、竹中事務局参与、隣県の鳥取支部から秋口支部長、梅林副支部長が駆けつけてくださり、総勢24名で島根支部再興2年目を果たすことができました。再興2年目の今回、支部総会の準備を進めている折に大樟会事務局より「出雲全日本大学駅伝」に母校陸上競技部が27年ぶりに出場決定という地元にとって嬉しい便りが届きました。

総会では母校の近況、出雲駅伝の応援態勢等について説明があり、その後の懇親会では同窓生相互の情報交換、駅伝の話題、懇談等大いに盛り上がりました。最後に全員で学歌を斉唱し、来年の再会と10日後に近づいた出雲駅伝の応援をお願いし、盛会裏に会を終えました。母校大阪経済大学での青春時代の縁(えにし)を大切にしながら、今後も毎年定期的に開催していきたいと思っております。今回参加できなかった皆さん、ぜひ来年お会いできること楽しみにしています。

支部長 山本篤治(42回)

岡山支部

豪雨被害のなか支部総会開催



平成30年度支部総会を7月7日(土)に岡山プラザホテルにて開催いたしました。当日は大雨特別警報が発令されており倉敷市真備地区が大被害を受けた日でもありました。新幹線も運転見合わせ、県内のJRも全線運転見合わせ、道路も浸水のため各所で通行止めという状況の中、支部総会を開催した支部長である私の判断を反省しております。

当日は57名の出席予定者のうち27名の同窓生が出席してくださいました。出席していただいた同窓生の皆さん、本当にありがとうございました。出席できなかった同窓生の皆さん申し訳ありませんでした。これに懲りず来年の総会もよろしくお願いいたします。

支部総会は午後5時から1部総会を行い、決算報告、事業報告があり出席者全員の賛成を得て終了いたしました。その後記念撮影を行い、第2部の懇親会に移りました。今回はこのような状況にもかかわらず、和気あいあいとした会になりました。最後に例年通り全員で肩を組み学歌、逍遙歌を歌い絆の深さを確認しました。岡山支部の同窓生の皆さん、来年も支部総会を7月6日(土)に開催しますのでぜひご参加ください。

今回の豪雨で被害を受けた方に心からお見舞い申し上げます。

支部長 松永清彦(41回)

津山支部

岡山支部長の西日本豪雨体験談も



平成30年8月25日(土)、大学より池島真策経営学部長、大樟会より竹中亨事務局参与がお越しください、本年も大樟会津山支部総会、懇親会が津山の地にて開催されました。本年は常連の方々に加え初参加の方も1名来てくださり、総勢20名での開催となりました。

総会においては、前田基美支部長の挨拶から、来賓の方々にご挨拶をいただきました。大学の現状、取り巻く環境、運動部の状況など、中でも、いつもご参加くださる岡山支部長の松永清彦様の体験された西日本豪雨の話など、同じ岡山県民ながら教訓として興味深く拝聴いたしました。懇親会では、少人数ならではのまとまり感と、今回力を入れた割烹の料理もあって、なかなかの盛り上がりとなりました。

今後の課題として、常連のメンバーで毎年開催しているので、年齢層は上がり続けています。これからも岡山県北を盛り上げていこうと思いますが、大学卒業時に各支部をご案内いただくなど、いろいろな試みを模索しないといけないと思います。最後に、いつも駆けつけてくださる大学、大樟会の方々、岡山支部の松永支部長に心から感謝申し上げます。

副支部長 橋本隆一郎(60回)

広島支部

第75回記念総会の開催



平成30年3月11日(日)、広島支部第75回記念総会を広島リーガロイヤルホテル広島にて、藤本理事長様、徳永学長様、田村大樟会会長様ご臨席の中、開催され26名の会員の出席をいただきました。初めに藤本理事長様の講演会を開催。企業経営に関して今まで培われた貴重なお話を頂戴しました。総会は学長様・大樟会会長様のご挨拶をいただき、支部長から75回までの振り返りを資料からご紹介をしました。

戦前の昭和17年からスタートした広島支部。先人の多くの先輩諸氏の方々のご努力の賜物が75回まで続いた成果であり、そのご功績に敬意と感謝を表した記念総会となりました。今後80回、90回そして100回と継続してゆくためには、今まで以上の支部の活性化が必要と強く感じ、改めて支部の存在価値について考える一日となりました。

支部長 陰山秀明(44回)

山口支部

つながる力 経大



明治維新から150年、県内でいろいろなイベントが開かれるなか、9月22日(土)、維新の策源地の山口市で平成最後の支部総会を開きました。今回は事務局長が21年ぶりに交代した新体制での初の開催になりました。

大学から先般の地震と台風の被害について報告がありましたが、建物には被害がなく、ただ樫が倒れたのみということで安心しました。最近の入学者の状況報告では、大阪、兵庫からの入学者が8割を超えているとのこと。山口県からの入学者が少なく、母校が大阪のローカル大学の色彩がますます強くなっています。学生時代、各地域から来た友人との交流は実に楽しいものです。友人を通して知らない地域と人を知ることは自分の幅を広げ、高めるものです。「つながる力」の源泉でもあります。幅広い地域から学生が集まるように工夫と努力をしてほしいものです。

支部長 藤原俊明(37回)

徳島支部

活発な支部活動を報告



平成29年度支部総会が平成30年1月20日(土)午後6時30分からホテルクレメント徳島で総勢33名(来賓2名)をもって開催され、榎本孝支部長、大阪経済大学理事財務部長・横山穰様、大樟会副会長・小林真人様よりご挨拶をいただきました。

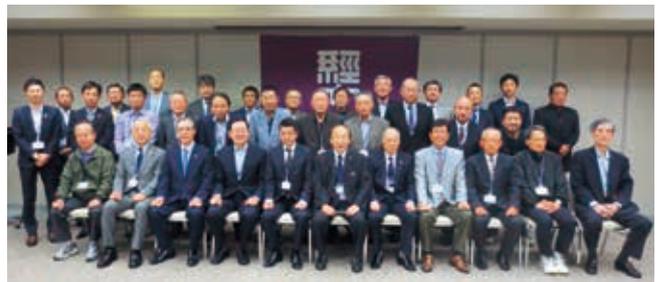
まず、本年度事業報告[平成29年1月20日：平山元徳島市副市長(44回卒)による第4回講演会、同年11月11日：岡山県下津井のタコ料理ツアー(参加者15名)、ゴルフコンペ：53回・同年5月20日(土)、54回・同年12月9日(土)、徳島CC月の宮コース(参加者11名)で開催。和田康昭氏(45回卒)、野々宮充造氏(35回卒)がそれぞれ優勝。次年度(30年)事業として、第5回講演会を支部総会の1時間前に実施、エンドレスイドム会長・後藤真人氏(35回卒)に「卒業して50年、七転び八起きの人生!」の講演をいただきました。後藤先輩のいつも前に向いて、イドミ続ける姿、経営哲学が大変勉強になりました。また、次年度事業計画案が承認され、懇親会、近況報告、ビンゴゲーム等を行い、各自親交を深めました。

(追伸)山口勝利事務局長の病氣見舞いに榎本支部長と二人で行ってまいりました。2年間の療養のわりにはお元気で、安心しました。

事務局次長 川真田博敏(42回)

香川支部

躍動する香川支部



平成30年10月13日(土)、ルポール讃岐において支部総会を開催。大学より黒正洋史教学・国際部長、大樟会本部より竹中亨事務局参与、愛媛支部より二宮克郎支部長をお迎えし、総勢34名でアットホームな雰囲気の中で支部総会が行われました。例年は暑い6月末から7月初旬に開催していたのですが、涼しい10月であれば、参加者が増えるだろうと期待し開催したところ、秋祭りシーズンと重なり逆に出席者が減ってしまうという皮肉な結果になり反省。

総会では愛媛支部の二宮克郎支部長より本校で開催されるホームカミングデーについて参加者を募る熱いアピールがあり、懇親会では三豊市議会議長の詫間政司さん(2/22就任)、小豆島町議会議長の谷康男さん(4/27就任)、そして小豆島町議会議員に初当選された三木卓さんに花束の贈呈があり、その後、今治造船(株)の日高義信・常務取締役の乾杯の音頭により宴会がスタート。

懇談の中で、母校の将来を憂う声が2~3聞こえてきたが、我々支部会員ひとり一人がもう少し経大に対する強い愛校心と熱い経大プライドを持って欲しいと思った次第。そして卒業生が10万人を突破する2020年、また創立100周年を迎える2032年を晴れ晴れとした気持ちで大いに祝いたいものです。 支部長 鈴木澄夫(36回)

愛媛支部

創立35周年記念総会を開催



平成30年7月14日(土)松山全日空ホテルにおいて会員32名、ご来賓として大学から松山市出身の徳永光俊学長、大樟会から小林真人副会長、上田敬二郎常務理事、高知支部から平尾俊和幹事長のご臨席をいただき創立35周年記念総会を盛大に開催いたしました。

総会の冒頭に、今年ご逝去された田坂保雄様(32回)、新居田昌和様(43回)並びにこの度の西日本豪雨災害により愛媛県下で発生した死者・行方不明者26名に対して黙祷を捧げました。その影響により、大洲市の大野進会員(30回)が肱川の氾濫で自宅が床上まで浸水したため急遽欠席となり、また、八幡浜市から出席の菊池直文副支部長(37回)は、経営するみかん農園が土砂崩れで大きな被害を受けていると悲痛な面持ちで話していました。

さて、総会は二宮克郎支部長(40回)の挨拶で始まり、ご来賓全員のご挨拶をいただきました。徳永学長の記念講演では、学長の教育に向き合う原点であり、学長が最も尊敬する『黒正イズム』について資料を交え熱く語っていただきました。

祝賀会の冒頭には、初代支部長の小野茂樹氏(26回)、初代事務局長の宮崎望氏(37回)に、長年のご功勞に対して感謝状が贈られた後、国西良昌顧問(29回)の乾杯の発声で祝賀会が始まり、宮崎氏が謝辞を述べ、見事なクラシックギターの生演奏を披露して拍手喝采を浴びていました。吉岡通伸幹事(48回)の学生時代さながらの応援団演舞を合図に全員が肩を組み合わせ、学歌・逍遙歌の大合唱で最高潮となりました。尾後正樹副支部長(33回)の閉会挨拶、次回総会は南予地区で開催・再会を誓いました。 支部長 二宮克郎(40回)

北九州支部

平成最後の支部総会



平成30年11月10日(土)、18時30分より、支部総会を開催しました。当支部の恒例となった38回卒同窓生の河野様が率いるバンドに今回も演奏いただき、盛り上がり花を添え、最後は学歌、逍遙歌の生演奏で活気ある総会となりました。

大学から山下総務部長、大樟会から上田常務理事にご出席いただき、大学の近況、大樟会の取り組みなどの報告がありました。大学から遠方のため、身近に感じる事が少ない支部会員が大半を占める中、貴重な話を聞くことができたことはよかったです。いつも参加いただいている同窓生に感謝しております。しかし当支部としての課題はまだ参加いただけていない同窓生へのアプローチです。名簿の活用等、手を尽くしたいと思います。また若者層に参加いただくことは同窓会を永続的に運営していく上で重要で、関心を持ってもらえる同窓会とは何かを考えねばなりません。

支部長 植田達三(52回)

高知支部

支部総会に先だって親睦ゴルフコンペ



平成30年11月17日(土)午後6時30分より、郷土料理“土佐ノ國二十四万石”にて支部総会を開催いたしました。大学からは小川雅弘経済学部長、大樟会からは山本隆造常務理事に出席いただき、大学と大樟会の近況についてお話をいただきました。ちなみに、小川先生は去年に引き続きの参加、山本常務理事は4年ぶりの参加でした。

続いて朝倉南郵便局長の藤井様の乾杯の首頭にて宴会が始まり、いつもの高知の賑やかな宴席となりました。そして、締めくくりは、学歌を斉唱、恒例になりました井上さんの見事なエールで終了しました。

先日全国支部長会議でも“総会参加者の確保”や“大学と同窓会組織の在り方”が議題に上がりました。ネガティブなことを言っても解決にはなりません。一人一人が“つながる力”をいかに持ち続けるのかにかかっていると思います。来年も多数の同窓生の参加を楽しみにしています。よろしくをお願いします。

なお、今回、高知支部の初めての試みとして、親睦ゴルフコンペを行いました。天気予報では雨でしたが、予報に反し晴天となり、皆さん和気あいあいと楽しまれた様子でした。今後ともゴルフコンペ等も企画していきたいと思います。 支部長 南 宏道(52回)

大分支部

近隣支部長も参加



平成30年6月23日(土)、支部総会を大分センチュリーホテルにて開催いたしました。雨の中、大分支部会員8名(1名2次会より参加)、大樟会から角脇総務部長、大学から崎田常務理事、熊本支部から顧問の濱氏、北九州支部から植田支部長の出席で、総数12名(1名事故のため欠席)での開催でした。

最初に崎田常務理事より5月26日(土)に開催されましたスポーツ・文化センター開設記念シンポジウムについて、日大アメフト問題の時期でもあり、今後の大学スポーツについてのお話がありました。その後大樟会の角脇総務部長から大樟会の平成30年度理事会についてのお話がありました。

また次回支部総会の会場の場所として一つの提案がありましたので、皆と連絡をとりながら進めてまいりたいということで閉会いたしました。

支部長 寒田 陽(40回)

熊本支部

水俣市・湯の児温泉で開催



平成30年6月2日(土)に熊本県水俣市の海が一望できる「湯の児温泉」において、大樟会小林副会長と大学からは徳永学長をお迎えして熊本支部総会を開催しました。隣県の北九州支部、大分支部、南九州支部からの参加をいただき、総勢16名と少数ながらも活発な意見交換による意思疎通と親交を深めることができ、盛会な支部総会になりました。

水俣市は鹿児島県との県境に近い熊本県の最南に位置し、過去には不幸な歴史がありましたが、海の「湯の児温泉」と山の「湯の鶴温泉」をはじめ、山あり、海ありの自然環境豊かな地です。湯の児の海では、これから秋まで太刀魚釣りを楽しむことができ、水俣が生誕地の徳富蘇峰・蘆花生家と蘇峰資料館のほか、海を一望できる「湯の児スペイン村・福田農場」など多くの観光スポットがあります。

九州の中央部に位置する熊本支部は、支部内はもとより地理的条件を活かして、一層九州内の連携を進めていきたいと思えます。

支部長 坂本純夫(39回)

宮崎支部

ハーモニカで逍遙歌



平成30年11月10日(土)、第16回支部総会をホテルメリージュ宮崎にて開催いたしました。参加者は、来賓を含め14名でした。初めて企画したゴルフコンペに、20年振りに参加された2名が、都合により参加できなかったことは残念でありました。

冒頭に、副支部長の横田氏(35回卒)が、秋の叙勲で旭日小綬章を受章されたことを報告し、議案の審議に入りました。いずれも異議なく承認され、無事終了いたしました。引き続きご来賓の大学理事の横山財務部長と大樟会の内田事務局長の両氏より、学園の現状と将来のビジョン(卒業生10万人体制)について、ご報告をいただきました。この後、記念撮影と懇親会になりましたが、西園相談役(29回卒)のハーモニカに合わせて、逍遙歌・古城、等を全員で合唱し、和やかな雰囲気の中で、盛会のうちに閉会となりました。今後も、地方支部としての課題に取り組み、組織の強化・充実に全員で工夫してまいります。

支部長 堀内健一(35回)

南九州支部

沖縄支部設立へ



平成30年11月10日(土)、今年もまた支部総会を開催することができました。昭和47年発足より南九州支部として活動してまいりましたが、昨年の支部長会議の際に、小谷副学長の発案と田村会長の100支部構想に沿って沖縄に支部を作ることになり、6月23日に那覇市に西里さんを訪ね賛同をいただきました。

沖縄から西里さん、本部から小林副会長、大学から崎田常務理事に参加していただき、昔話や大学への思いなどに話の花が咲きました。

中別府繁登先輩(23回卒)の神戸への転居が報告され寂しくなりますが、これから鹿児島支部の原点に戻って活動することになりました。

受験者数、合格者数とも九州では相応の結果ではありますが、卒業後の就職先に不安があり、会員の増加が見込めないのが残念です。

支部長 前園博隆(34回)

部 会

大樟春秋会

4代目会長に、45回卒森田俊作氏が就任



平成30年4月24日(火)午後6時から大阪市中央区の大阪キャッスルホテルにおいて、平成30年度大樟春秋会総会を、会員15名、来賓3名、大樟会から5名、計23名の出席にて開催しました。

矢倉英一会長(株)エーアイティの開会の挨拶に始まり、志水利通事務局長から平成29年度の事業報告、続いて竹中亨会計から会計報告、福岡寛会計監査から監査報告がなされ、いずれも了承されました。続いて梶村事務局から会則改定案の説明が行われましたが、高岡副会長から第2条[会の目的]、第5条[入会の資格]に関して、春秋会本来のあるべき姿をもっと反映させたいとの要望があり、今後の課題となりました。役員改選の件では、5年間会長職を務められた矢倉会長の辞意は固く、次期会長候補者を決められないまま、懇親会に入りました。

各テーブルでは積極的な交流があり、名刺交換も盛んに行われ、さすが春秋会と思わせる光景が随所に見られました。会の最後に、大河内徹心副会長(株)京都西川相談役から、懇親会中に決まった新役員候補者が発表されました。会長に大和リース(株)代表取締役社長・森田俊作氏、副会長に(株)タカショー代表取締役社長・高岡伸夫氏、(株)徳島銀行代表取締役頭取・吉岡宏美氏、会計監査に大阪シティ信用金庫専務理事・福岡寛氏、退任される矢倉会長は相談役ということで、新役員は、全員の拍手喝采で承認されました。

事務局 梶村貞男(37回)

大樟体育会

平成30年度総会開催



平成30年6月30日(土)正午から本学E館7階会議室において開催しました。最初に前年度に亡くなられた方々に全員で黙祷を捧げた後、式次第に則り総会は進められました。

山本隆造大樟体育会会長は冒頭の挨拶で、「指導者の目標は学生に『学業』と『スポーツ』をいかに両立させることができるかが大切である。そして礼儀作法、マナー、挨拶のできる学生を育てていただきたい。一方、競技については全日本優勝、1部優勝という高い目標を掲げて前向きな学生を育ててほしい」と希望された。

就任後初めて出席された藤本二郎理事長は、「会社生活で大事なことは『バイタリティ』と、人の気持ち、立場、そして心の痛みを理解する力である『センシビリティ』、この2つである。OBの皆さんには『バイタリティ』と『センシビリティ』溢れる学生を育てていただきたい」と述べられた。

続いて徳永光俊学長は、「東京の大学のアメリカンフットボール部

の不祥事に関して、学長、学長補佐連名で関係者に注意喚起の文書を配布した。事故が起こった時は初期対応をしっかりすること、また問題が起こりそうなときは、学生部に直ちに相談してほしい」と訴えられた。

そして、田村正晴大樟会長は、「大樟体育会はクラブOBとして会員の親睦、啓発に留まらず、現役学生を指導し、育成するという役割を担っている。大樟会としても学生部と連携しながら物心両面の支援を続けていきたい」との思いを述べられた。

続いて、竹中監事から本日は34クラブ中26クラブが出席、総会は成立したとの報告があった後、山本会長を議長に選出し、次の議案の審議に入った。

- 1) 大樟体育会役員紹介・業務分担紹介
- 2) 2017年度活動報告
- 3) 2017年度決算報告
- 4) 2018年度活動方針(案)
- 5) 2018年度収支予算(案)

各議案が順次審議され、全て承認された。

次に、今年度の成績優秀者特別表彰者の授与式が行われ、以下のとおり山本会長から表彰状が授与された。

功労者特別表彰：ハンドボール部・福井孝明様、バトミントン部・田嶋裕司様

優秀クラブ・選手：団体 自転車部サイクルサッカー班様、準硬式野球部様、チアリーダー部様

この後、午後2時より第2部の懇親会が和やかな雰囲気の中開催された。

監事 竹中亨(32回)

池田泉州銀行大樟会

新会員4名を迎え、さらに勢いを増す大樟会



平成30年度池田泉州銀行大樟会総会を7月23日(月)、大阪新阪急ホテルにて開催いたしました。ご来賓として大学から藤本理事長、大樟会から大河内副会長のご出席を賜り、OB会員も含め総勢71名(会員数151名)の参加となりました。総会は陸野会長(富田支店長・57回卒)の挨拶、新会長である能多新会長(池田駅前支店長・57回卒)の挨拶の後、新役員の指名があり、新体制が発足。続いてご来賓の方々よりご祝辞を頂戴し、大学の近況や大樟会の動向について拝聴しました。

山中副会長(和泉支店長・58回卒)の音頭で乾杯の後、懇親会となり、世代を超えた同窓生の各職場での奮闘ぶりに相互に刺激を受け、交流を深めました。その後、新会員4名が壇上に立ち、自己紹介・今後の意気込み等の発表で新たな息吹をもたらしてくれました。さらに豪華賞品が当たる抽選会等で盛況を呈する中、名残り惜しさを感じつつ、平尾新副会長(名塩支店長・58回卒)による閉会挨拶でお開きとなり、今年度総会も盛会裏に終わりました。

事務局長 大野博和(諏訪森支店長・59回)

日立大樟会

第32回日立大樟会を開催



平成30年9月14日(金)、第32回日立大樟会の会場を2年続いた東京から大阪に戻し、会員11名、ご来賓3名の14名で開催しました。今回も関東や中四国からの参加者もあり、懐かしい昔話等に花を咲かせておられました。

学校からは、ご来賓として藤本理事長と徳永学長、大樟会からは大河内副会長にご出席をしていただきました。席上、先ず藤本理事長から、最近、文科省から大学の破綻処理等の指導をされるようになってきた。少子化は待ったなしなので危機感を抱いている。また、徳永学長からは、近い将来迎える100周年に向けて黒正イズムを継承し、自由と融和の精神で、鳥の目、虫の目、魚の目に、心の目を加え100周年ビジョンを近々発表する予定。また、大河内副会長からは東京・大阪両方の春秋会に関わった経験を生かし、大樟会の更なる発展に寄与して行きたい・・・との言葉をいただきました。

その後、各自近況報告をして、最後は恒例になっている元・応援団の小坂さんによるエールでお開きにいたしました。

会長 山下徹男(37回)

税理士大樟会

役員改選で新会長に中坪健治氏が就任



平成30年7月2日(月)午後5時10分より、大阪新阪急ホテル2階月の間で会員約30名出席のもと、第27回定期総会を開催しました。

定期総会は檀垣典仁会長が開会宣言を行い、議事進行は司会一任で三木泰前会長が任命されて議事に入りました。第1号議案は、平成29年度事業報告、平成29年度収支計算書の報告、監査報告をされ、意義なく決議承認されました。第2号議案は、平成30年度事業計画、平成30年度収支予算が説明され、意義なく決議承認されました。今回は執行部の任期が満了するため、第3号議案として役員改選の議案が提案され、中坪健治会長、堀田治副会長(総務)、服部正博副会長(研

修)、西川孫市副会長(組織)、福田重実副会長(広報)、甲斐裕二副会長(厚生)、山本肇志専務理事、平岡彰信事務局長の就任が、可決承認されました。三木議長は議事進行の謝辞を述べられ議長席を退席され、午後6時に定期総会が閉会しました。

総会后、同じく大阪新阪急ホテル2階星の間にて、懇親会が行われました。開宴のことばは、中坪健治会長が病気で欠席されたため、堀田治総務副会長が代読されました。その後来賓のご挨拶を大阪経済大学学長・徳永光俊先生、進路支援部長・岸田祐和様から頂戴し、新入会員の丹野壮治先生が挨拶され、社労士大樟会会長代行・湊義朋先生の乾杯のご発声で懇親会が始まりました。

途中、元学長の渡辺泉先生からのご挨拶あり、ジャズシンガーの山口恵美さんのお歌あり、大変和やかで明るい雰囲気の間となりました。最後は全員で学歌斉唱、甲斐裕二厚生副会長の中締め挨拶で閉会となりました。

中原さくら(近畿会東支部)

社労士大樟会

高原龍二経営学部准教授による記念講演会開催



平成30年7月21日(土)、社労士大樟会第11回定期総会を本学E館7階会議室で開催いたしました。当日は愛知県、広島県、岡山県や高知県からも会員の方々に駆けつけていただきました。

ご来賓として大学より徳永光俊学長、大樟会本部より田村正晴会長、税理士大樟会より中坪健治会長他のご臨席を賜り、厚く御礼申し上げます。

総会に先立ち、社労士大樟会湊義朋会長代行より、会員数の増加に努め、大樟会本部、税理士大樟会をはじめとする関係各位との連携を強めていきたいという挨拶がありました。

ご来賓を代表して、徳永学長から、創立百周年を視野に入れ、建学の精神である「自由と融和」、そして黒正イズムの継承・発展こそが、今後の本学の興隆の礎になる、とのお話を頂戴いたしました。

総会では議長に湊会長代行が就き、審議を開始いたしました。各議案が審議され、満場一致で承認されました。

総会で承認された新役員は以下のとおりです。

会長・飯田政信(35期)、理事・山崎正順(48期)、監事・古池浩二郎(42期)、副会長・酒井三雄(35期)、理事・中村和彦(46期)、監事・山内淳子(47期)、副会長・湊義朋(41期)、理事・北埜博紀(53期)、事務局長・西平綾太(48期)、理事・今村武司(43期)、理事・坂口育生(38期)

引き続き行われた記念講演では、大阪経済大学経営学部准教授高原龍二先生より『メンタルヘルスと職場改善』と題してご講義いただきました。

記念講演終了後、大樟ラウンジにて懇親会が開催されました。田村大樟会会長からご挨拶を頂戴し、引き続き飯田新会長の就任挨拶がありました。次いで中坪税理士大樟会会長による高らかな乾杯の発声でスタートです。

時の経つのも忘れる賑やかな懇親会で、同窓の絆がいよいよ深まり、大いに盛り上がる中、竹中大樟会参与による中締めが行われ、檀垣監事の学歌先導で、学歌、逍遙歌が斉唱され、お開きを迎えました。

社労士大樟会では引き続き会員の募集を行っております。入会ご希望の方は、下記までご連絡ください。

社労士大樟会事務局長 西平綾太
〒599-0212 大阪府大阪市自然田1915-37 西平労務事務所
TEL 072(472)2297 FAX 072(471)7226
mail:ayata@silver.ocn.ne.jp

事務局長 西平綾太(48回)

大樟教育研究会

平成30年度・第18回大樟教育研究会報告



平成30年11月17日(土)午後、今年度の本会全体会・分科会を大阪経済大学E館にて開催いたしました。大学関係者・学生諸君・同窓生合わせて約70名の参加者でした。今年度の全体会では、「私の教員生活にかかわる42年を振り返って」と題して、神戸市シルバーカレッジでお勤めの藤原三喜男先生に、ご講演をお願いいたしました。夜間定時制高校などでの様々な教育実践や、教育改革にともなう教育行政でのご活躍のお話に引き込まれました。同窓生には、貴重な研修の時間となり、学生諸君にも今後の参考になったことだと思います。また、教員採用試験現役合格学生の体験談も、参加学生の皆さんにとって、貴重な学びの時間になったのではないかと、思っております。

また、分科会では、小・中・高それぞれに、同窓生の教育実践報告と、

教職を希望する学生達との質疑応答等に、充実した時間を過ごすことができました。今年度も分科会後に再び全体会をもち、各分科会の内容を報告しあう時間を設けました。情報交流と、互いに学び「つながる力」を実感することができました。懇親会では、同窓会の活動についてお話しいただいた大樟会事務局参与竹中亨氏のリードにより全員で歌った学歌も、良い思い出となりました。

今年度も、学長徳永先生をはじめ、大学教職員の方々のご支援・ご指導に感謝申し上げます。田村大樟会長様、同窓会事務局の皆様にも大変お世話になりました。今後ともご支援・ご指導を宜しくお願いいたします。

会長 西村幸雄(43回)



大学院大樟会

卒業生の皆様へ



大学院は研究科です。院生は学者の卵です。学者を育てるところです。他大学で教授として日々研究活動を行っている仲間もいますが、大阪経済大学には本学大学院卒業生の教員が一人もいません。淋しい限りです。生え抜きが育ってこそ大学は活性化するものです。その例が広島カープです。選手が生き生きしていて元気がよい。羨ましい限りです。今からでも遅くはない。卒業生から本学へ教員また非常勤講師を受け入れ、大学には元気になってもらいたいです。必ずや大学の価値が向上するでしょう。

次に、同窓会会費の件ですが、これからは入学時に徴収するようにしてもらいたい。大学側に切にお願いしたい。

さて、平成30年10月20日(土)、同窓会を開きました。池島教授並びに田村会長に感謝します。次回同窓会には本学教授、非常勤講師を希望する方の出席を是非お願いします。

会長 前田増蔵(39回)

大樟樟政会

この会に入会してよかったと思える会に



平成30年5月12日(土)午後6時30分から大阪新阪急ホテルで総会が開催されました。大樟樟政会は、政治に携わる同窓生の交流会ですが、前年の大樟会の理事会で7番目の部会として正式に承認されてから2回目の総会となりました。出席者は14名でした。

冒頭、同会の西恵司会長(大阪府議会議員)が「会員の皆様が、大樟樟政会に入ってよかったという会にしたい」、また、初めての出席となる大学の藤本理事長からは「前年7月に理事長に就任したが、在任中にこれまで以上に大学をよくしたい」、さらに、田村大樟会会長からは、「会員は様々な党派に属しているが、そういう垣根を越えて交流を深めてほしい」との挨拶がありました。この後、会務報告があり、懇親会となったが、参加者全員の自己紹介と近況報告があり、和気藹々のうちに懇親を深めました。

大樟会事務局長 内田敏雄(39回)



OB・OGネットワーク (順不同)

23期生会

23期生の集い



平成30年2月18日(日)正午からということで集合をお願いしました。本学E館7階会議室で1年振りには出席者14名との顔合わせをいたしました。出席できた人はやはり元気で、話し合い、食事をしながら3時間程過ごしました。学校からは崎田常務理事様と大樟会事務局の竹中参与様にお世話になり、出席をいただきました。ありがとうございました。

同期生も皆80歳を超えておりますが、楽しく過ごすことができ嬉しく思います。来年も今回出席できなかった方が出席できるようになることを願っております。今後お互い健康第一で頑張ってお過ごしください。願っております。

幹事 酒井弘光(23回)

日本拳法部OB会

平成29年度総会の開催



創部61周年を迎えた今回のOB総会は、平成30年2月17日(土)午前11時、本学E館7階第一会議室において、日本拳法部の山本俊一郎教授のご臨席を賜り、宮崎理事長の開会の辞で始まりしました。初代の保田先輩を筆頭に18名のOBが集いました。総会に先立ち物故者に黙祷を捧げた後、議長に選出された山本総監督より(公財)日本拳法会の現状、大樟体育会の状況報告があり、平成29年度の会計報告、活動報告、30年度の活動計画、組織変更、会則変更が承認され、新OB会員入会式も無事終了しました。

場所を大樟ラウンジに移し、58代幹部交代式には、龍谷大学日本拳法部員、現役部員、入学予定者を招き、自己紹介、抱負を述べて懇親の楽しい輪が広がり、和気藹々の内、学歌、追送歌を元よく斉唱。無事閉会となりました。

その後、山本総監督、竹原監督、コーチングスタッフと今後の指導方針の打ち合わせを行いました。

会長 山田栄宏(44回)

柔道部OB会

総会、歓送迎会(報告)



平成30年3月10日(土)正午から、大阪経済大学E館7階第1・2会議室において、OB会員19名の出席のもと、「柔道部OB会総会」を開催し、議案の審議・報告をしました。

議案では、事業報告、会計報告、事業計画、予算案について審議をした結果、いずれも異議なく承認されました。報告事項では、新たに竹本善久君を幹事長に、前任の西野勲君が相談役に就任し、平成29年度をもって卒業・卒部の4名と平成30年度新入学の3名の報告がありました。また、平成29年中に逝去されたOB会物故者3名の報告もありました。

OB会総会終了後、大樟会ラウンジにおいて、大橋範雄柔道部部長(経済学部教授)ご臨席のもと現役学生20名とOB19名が集い、学生の歓送迎会を行いました。なお、西岡弘名誉師範から、体調がすぐれないため今回の歓送迎会は欠席する旨の連絡があったのは、残念でした。

歓送迎会では、初めに卒業してゆく学生を紹介。各人から、社会に出て、今まで培ってきた経大魂を発揮して邁進する旨が述べられました。次に、新入生を紹介。新入生は、授業に積極的に出席し、単位をしっかりと取得する。また、柔道の練習も一生懸命行います、との抱負が述べられました。

植村亮介OB会会長、大橋範雄部長、安田太監督から、卒業する4名に対し、「はなむけ」の言葉や社会における活躍・健闘を祈念する、との言葉をいただき、3名の新入生に対しては、学生生活を謳歌するよう日々努力してほしい、との歓迎の言葉をいただきました。

歓談後、OB会を代表して、上地賛平様から、大学・柔道部の発展と出席者全員のご多幸を祈念するとの言葉があった後、万歳三唱を行い、閉会しました。

追伸：歓送迎会翌日の3月11日(日)開催された「第14回KOBIE自他共栄CUP学生大会」5人制団体戦において、連覇を逃しましたが、芦屋大学を破り第3位になりました。

事務局長 天野康弘(48回)

ハンドボール部OB会

2018年度総会開催



まだ、肌寒さの残る3月10日(土)午後3時より、本学J館3階第二会議室にてハンドボール部OB総会が開催されました。OBでもある竹中亨大樟会事務局参与様に会場の手配等大変お世話になり感謝申し上げます。

出席者は8名と少し寂しいですが、今回遠方から駆けつけていただいた方もあり、にぎやかに行われました。会議は、橋本会長の挨拶から始まりました。因みに橋本会長は関西ハンドボール連盟の会長に推薦され、本年は大阪で開催されるインカレ、その準備に忙殺されたとのことでした。

会計報告では、もっと会員を増やし安定した会の運営を図りたい旨を発議され、各年度別に協力していくことになりました。まず何よりも、今回の出席者が一丸となって先頭に立って協力者を増やす努力を惜しまないことが必要です。

役員改選については今回は行わないことになりました。

質疑応答では、本年度より一部リーグが10チームになるため、タイトなスケジュールになるとの説明がありました。最後は橋本会長の閉会の辞で無事終了いたしました。

ハンドボール部OBの皆様、春・秋リーグの応援、総会には是非ご出席をお願いいたします。また、住所不明のOB会員の調査にもご協力をお願いいたします。

事務局 森友通夫(38回)

「澁江」購読料のお願い

「自らの購読料で『澁江』を育てよう!」を合言葉に、昭和59年度からスタートしました。

お陰さまで深いご理解とご協力をいただき、感謝いたしております。引き続き購読料へのご協力のほど、よろしく願いいたします。

※同封の振込用紙をご利用ください。振込手数料は不要です。



澱江27期会

母校と同窓会への熱い思いを語る



恒例となった「澱江27期会」は、平成30年4月20日(金)、いつもの西梅田のホテルモントレ大阪で開催されました。会員も傘寿(80歳)を迎える方も多く、前回から帰りが遅くなるということで、午前11時30分からの開会となりました。ただ前回同様、毎回元気で参加されていた岸野光男さん(高槻市)が前年暮に急逝され、今回は5名の参加となりました。

司会進行はいつものように弁舌さわやかな角田喬計さん(阪南市)が務め、鴨田博司さん(堺市)の誠実な人柄が溢れる開会の挨拶、土屋徳治さん(阪南市)の乾杯の発声で懇親会は和やかな雰囲気の中スタート。大樟会事務局からの大学、同窓会の近況については、大学の経営は、現在は順調であるが、今後18歳人口の減少で大学間の競争が激しくなることや、平成29年度から大樟会の奨学金制度がスタートしたことなどが報告されました。これには、卒業生として、何とか母校と同窓会に頑張ってほしいという熱い思いが語られました。その後は、やはり定番の健康の話と孫の話へと進んだのは当然のことでした。

最後に、角本喜八郎さん(池田市)の「元気で頑張ろう」という閉会の辞と次回は平成31年4月19日(金)に同じ会場で再会することを約して解散しました。いつも幹事の神代憲治さん(尼崎市)、お疲れ様でした。

大樟会事務局長 内田敏雄(39回)

軽音楽部OB会

OB会旅行で母校も訪問



平成30年4月22日(日)～23日(月)に14回目のOB会を開催、14名が参加されました。今回も観光バスで午前10時に新大阪を出発し、神戸市灘区の酒蔵を見学後、

淡路の震災記念館を訪問、その後鳴門の渦潮を眺め、鳴門で一泊しました。翌日は50年ぶりに母校を訪問し、内田事務局長に学内を案内していただき、あまりの変わりように皆さん驚いておりました。

さて、現在の軽音楽部はロックバンドだけとのことでしたが、私達が在籍した昭和41～45年当時はロック、ハワイアン、デキシーランドジャズ、フルバンド、モダンジャズ、ウエスタンがありました。このOB会も高齢者ばかりで参加者も年々減っていくために、若い人にも参加いただきたく、この場をお借りしてお願いしたいと思います。

小柴亀代一(34回)

園田ゼミ(樟々真情会)

第6回地域巡回同窓会報告



今年の「恒例の園田ゼミシニア・ゼミ旅行」は、「仕事が最高の閑凩し」と思い、現在も3種の仕事の現役を続ける私の順番になりました。

平成30年5月12日(土) JR川西池田駅から車3台でスタートして、猪名川町の料理屋さんの「萬壽マンカ」で美味しい昼食をいただき、まずは皆の健康を祝しノンアルコールビールで乾杯。前回病氣療養で休場の伊住氏が元気に復帰してくれて、参加者7名になりました。

今回のサプライズは、猪名川町町会議員の宮東氏(55回卒)が現れ、滋賀県竜王町の発展に尽力している古株氏と固い握手。さらに、この店の店主と同級生の間柄と聞き一同ビックリした次第。次は国登録有形文化財「静思館」へ向かいました(写真中央の青年が宮東氏です)。「静思館」では、昔の贅沢富豪の古蔵屋敷を見学し、次は「多田銀銅山」に移りました。途中能勢町の「関西電力の大変電所」を覗き見てビックリ仰天し、車窓から緑の北摂能勢の山里・田植の済んだ棚田を眺めながら、一路京都の奥座敷「里山の休日・けぶりかわ烟河」へ走らせました。

こちらでも、楽しい食事を愉しみました。2次会の部屋を用意していただき、ここでも皆昔に振り返り、ベッドで寝込む古株氏、お腹を抱えて笑う小路氏、病み上がりでも元

気な伊住氏、急に静かになり寝込む金井氏、若い時の苦勞を語る木築氏、手の縫針炎手術が心配な粉川氏、皆の70年を超える人生ドラマを聞いて、詰襟の学生時代に返り、深夜まで飲み、語り明かしました。

翌日は、「大石酒造」(科捜研の女のロケ地)で酒蔵の見学、その前にある大きな鳥居(京都で平安神宮の鳥居の次に大きく、和銅2年西暦709年創建)の「稗田野神社」の(癌封治瘤の木・必勝願掛け石)に参詣祈願して、「野間の大ケヤキ」(天然記念物)の大きさに感心して、今回旅程の最後となる川西市の「一庫ダム」に向いました。

これで今回ほぼ一巡した出身地巡回ですが、小路氏の発案で、来年から5月連休後の平日開催ということが決まりました。最後に、31年度(7回)木築氏が「城崎」で、32年度(8回)古株氏が「近江八幡」でとの自発的発言でこれも決定しました。

代表幹事 門永久彦(35回)

吹樟会(吹奏楽総部OBOG会)

独立50周年記念の集い



2018年は大阪経済大学吹奏楽総部ならびに吹樟会(OBOG会)にとって記念すべき年となりました。1968年当時、応援団の内部にあった吹奏楽部でしたが、音楽性の追求を目指し応援団より独立しました。あれから50年。せっかくの音楽クラブなので現役とOBOG合同の演奏はどうだろうか、などと2年前にプロジェクトチームを立ち上げました。

第1弾として4月15日(日) 本学E館7階大樟ラウンジにて記念の集いを行いました。当日は、遠く福井、岡山から30代から70代まで約40名の参加を得ました。まず初めに、吹樟会会長(初代幹部)の八代英太郎氏(34回)の独立時の話をお聞きし、また第2代幹部の中野和彦氏(35回)からは独立時はコンサート主体のクラブを目指していたので、ステージドリルよりも座奏を重視してほしいとの言葉もありました。当日は吹奏楽総部顧問の草薙先生にも言葉をいただきました。その後、立食パーティーに移り、第3代幹部の廣富理氏(36回)の乾杯のご発声をいただき、歓談に移りました。最後に第21代幹部吉村協三君(54回)の発声で学歌を



斉唱しました。

第2弾は7月1日(日)、あましんアルカイックホールにて行われた第50回記念定期演奏会で現役とOBOG合同の演奏が吹奏楽総部の歴史上初めて行われました。大阪、兵庫、和歌山は言うに及ばず東は埼玉から西は愛媛まで、仕事や家庭との兼ね合いを回りつつ月1・2回の練習に参加してくれました。また今回は作曲家の福田洋介先生(東邦音楽大学特任准教授)に50周年を記念して新曲を委嘱しました。華やかにまた繊細にそして堂々とした曲はTrue Red Fanfare and Dance(紅のファンファーレとダンス)と題し、現役指揮者長濱のどか(4回生)が指揮しました。合同演奏はこの曲を含めて3曲行い、吹奏楽ファンには名高いアルメニアンダンスPart1は、第24代幹部松田敏明君(57回)が行いました。約80名がアルカイックホールの舞台上に並んださまは圧巻でした。様々なご支援ご声援をいただいたOBOG、大学関係者に深く感謝するとともに実行委員を記します。長田君(48回)、田岡君(57回)、松田君(57回)、高平さん(60回)、水上君(62回)、白波瀬君(66回)、島津君(67回)、ご苦労様でした。

高塚邦夫(41回)

経翔会(ワングルOB会)

経翔会総会の記



平成30年度経翔会(ワングルOB会)総会は6月17日(日)母校J館3階第一会議室で11時30分から開催しました。出席者は30名と、昨年よりは少し多い参加人数となりました。開会にあたり20名にのぼる物故者に対し黙祷をささげました。

国西顧問、牧田会長挨拶の後、例年通り総会レジメに従い過去一年間の活動報告、会計報告がなされ満場一致で承認されました。現役員の交代に関しては来期会長候補もほぼ決定し、現役員一同安心です。今回、現WV部顧問である伊藤太一先生にも出席していただき、現役部員の活動状況等の報告をしていただきました。当部も来期は創部60周年を迎えることとなり、何か記念となることをしようとの提案がありました。

議事終了後出席者全員で集合写真を撮影、13時頃より学生会館食堂を拝借、生協さん

のお世話で懇親会を開催、39年卒の伊藤先輩の乾杯音頭で約1時間30分歓談、最後は全員で肩を組み学歌、逍遙歌を歌い、次回の再会を誓いつつ、14時30分頃無事終了しました。

会長 牧田征雄(31回)

邦楽部OB会

次回は創部55周年記念祝賀会



平成30年5月12日(土)午後4時より邦楽部第9回OB会総会および懇親会が、例年通り大学構内のE館(50周年記念館)7F会議室および大樟ラウンジにて開催しました。今回は現役部長含む9名の少人数の出席ではありましたが、和気あいの雰囲気であらゆる楽しみが味わえることができました。

総会では次年度(平成31年度)は邦楽部第10回OB会ですが、「邦楽部創部55周年記念祝賀会」に置換え開催することに決まりました。開催日時および場所は早めにみなさんに案内の予定です。懇親会では例年通り冒頭に尺八演奏があり、今回は現役部長を含む7名での演奏となりました。今年も1名の新規参加の演奏があり、毎回参加者が増えていることをたいへん喜ばしく思います。

現役第53代部長からは、邦楽部第52回記念定期演奏会「響」の開催案内がありました。日時は11月25日(日)で、場所は例年通り吹田メイシアター中ホールです。今回も過去2回と同じく、OBのコラボ演奏があらうかと思えます。最後は尺八伴奏の学歌と現役部長の指揮による逍遙歌を大合唱、次回の再会を約束し閉会しました。

会長 尾上真己(36回)

グリークラブOB会

グリークラブOB会設立



平成30年6月16日(土)本学学生会館にてグリークラブOB会総会ならびに親睦会を行いました。70名の参加者があり、総会

では、規約と新役員が承認されました。続いて開かれた親睦会では、来賓として徳永学長と田村大樟会会長に来ていただきご祝辞をいただきました。その後80代から20代までの幅広い年代のOBが、それぞれの代のエピソードを語ったり、愛唱歌を歌ったりしてグリークラブの歴史と伝統が感じられる親睦会になりました。最後に今まで聞き覚えで歌っていた逍遙歌を譜面通り正しく歌おうと、楽譜片手に肩を組んで歌うなどグリークラブらしく終わることができました。「来年は、もっと歌おう」という声も上がり、それぞれの代ごとに2次会へと別れていきました。

現役部員の減少という問題の指摘もありOB会としてどのように支援、援助していくかがこれからの課題となっています。

会長 八尾英規(43回)

吟詠部OB樟耀会

初めての大学での開催



吟詠部の現役の活動が平成14年卒、第44代で途絶えて、16年になります。この間、平成18年には、大阪キャッスルホテルにてOB会を開催、その後23年、27年と開催。平成30年7月1日(日)、初めて大樟の下、大阪経済大学E館7階会議室・大樟ラウンジでOB会を開催しました。集まった仲間は、東は遠く関東・佐倉市から西は広島、北は石川県から南は四国・香川から、また前回に引き続き二部吟志部OB会から田口会長はじめ4人の仲間の参加を得て総勢33名が集まりました。

総会は、開催目的である「心の青春」の維持と「会員の交流」で、大いに盛り上がりました。アトラクションとして、経大出身のプロマジシャン「ジョン道阪」氏を招き、芸を堪能しました。会員の交流では、今の詩吟界は漢詩が教科書記載減少などで、会員・愛好家が減少の一途をたどっておりますが、集まったOBの中には、今も吟詠を楽しんでいるものが三分の一あり、それぞれ元気な吟詠を発表し、交流を深めました。

次回は3年後の予定。全員の参集を期待します。

会長 竹本 勇(35回)



硬式庭球部OB会

平成30年度総会、春季OB戦開催

平成30年5月27日(日)、摂津キャンパス内クラブハウスにて平成30年度OB総会を開催しました。平成29年度の会計報告ならびに平成30年度の予算案を全員一致で承認。さらに、今年度は役員改選の年にあたりますが、あと1期現在の体制で継続することが承認されました。また、昨年度4部リーグに昇格した現役部員へ、更なる支援策としてボール代の支援が提案され、了承されると同時にOBの皆様方にその他の案を募集することとし、総会を終了しました。

OB総会に先立ち、テニスコートにて現役部員を代表して主将より「今年は3部昇格を目指します」と、力強い宣言がありました。その後、OB戦のペアを年齢の高い方からと低い方からとの組み合わせで決定し、試合を開始しました。往年の名プレーとは程遠い迷プレー・珍プレーの応酬でしたが、参加されたOBの皆様方は心地よい汗を流しました。午後はA組、B組の各予選リーグ1位同士で優勝決定戦を行い、本山雄康氏(平成2年卒)・小田正太郎氏(平成4年卒)組が優勝、惜しくも高谷政通氏(昭和41年卒)・小倉尚吾氏(平成26年卒)組が準優勝となりました。最後に優勝した本山氏から「昨年度に続いて、この勢いで3部昇格を目指してほしい。秋の報告を楽しみに待っています」と、現役部員への激励と、今後もOB会としてのできる限りの支援を約束して閉幕しました。

事務局 山本恵一(49回)

自転車部OB会

創部60周年記念OB会総会



平成30年7月7日(土)、本学E館7階大樟ラウンジにて、「自転車部創部60周年記念OB会総会」を開催しました。当日は30名のOBが参加し、懇親会の部では60周年記念事業としてOB会員の賛助金により購入されたロードレース用ディスクホイール、軽量ロードホイール3セットが現役学生部員に贈呈されました。

5年に一度の総会とあって、様々な年代の懐かしい顔ぶれが集まり宴席も盛況であ

りました。近年の自転車部は順調に部員も増加し、サイクルサッカー班では平成25年、27年、29年と全日本インカレ優勝を飾りました。レース班も昨今のロードレースチームの後押しもあり優秀な人材が多数集まり、積極的にレースに参戦し、好成績を収めつつあります。またOBの中にはプロ・ロードレースチームで活躍する選手もおります。

今後も自転車部が好成績を収められるよう、応援していくと共にOB会が益々発展することを祈念し、宴席はお開きとなりました。

副会長 米谷伸彦(62回)

アイススケート部OB会

若手指導者にスケート部の今後は託す



平成30年7月7日(土)、大阪市港区のレストラン伊勢家にて、豪雨の真ただ中で開催いたしました。主要交通機関が機能せず、遠方の会員がすべて欠席となったため、14名の会員のみでの寂しい総会となりました。32回卒の吉本雅家会長から、日頃の活動に対し労いの言葉があり、今期のOB会方針も発表されました。続いて37回卒梶村貞男副会長から、昨年度の事業報告と決算報告があり、全員の了承を得ました。

今期の議題は①来年到来するスケート部創部60周年事業をいかに進めるか、②スピード部の若返った指導者にどう手助けできるかに集中しました。①の創部60周年事業については、来年7月に本学同窓会本部で実施、外部からもある程度招待し盛大にする予定です。②の指導者の若返りについては本日出席した73回卒の恩田慎太郎スピード部監督を中心に、元気な若手コーチにシフト。当面弱体化が予想されるが、引き受けてくれた指導者が全員力を合わせて復活してくれるものと期待しております。恩田監督からも頼もしい就任挨拶がありました。

懇親会ではいつもながら賑やかに酒盛りで終始いたしました。10年ぶりに参加された35回卒の谷口高之・美和子夫妻に花を添えていただき、懐かしい会話が飛び交いました。最後は29回卒西岡興治名誉会長の恒例の大阪一本締めで今年もめでたくお開きになりました。

幹事長 井田 実(38回)

ラグビー部OB会

2018年激励会開催



平成30年9月2日(日)、本学E館7階においてラグビー部の今年度激励会が父母会の主催で開催された。1部では春シーズンの振り返りや夏合宿迄の取組みと成果の報告があった。春からチーム作りに苦労があったが夏合宿時にはチームがまとまった。数名の怪我人がいるが中田主将から公式戦迄にベストメンバーで臨めるよう、今期リーグ戦の目標を5位とする決意表明がされた。今期OB会からの施策としてNZ短期留学制度の概要説明があり、留学生に1人10万円を支援する要綱が決定した。10月末の募集に対して複数の希望者が出た場合は指導陣と協議して3名まで支援する。

2部の懇親会では織戸監督から全部員が紹介をされ、一人ずつ今期の抱負と決意を述べた。4月から1年生女子MG5名が加わり、部員へのサポートが充実することで活性化に繋がり、部員一丸となって目標を達成していただきたい。OB会長角谷正継氏(昭和49年卒)の開会挨拶から始まり岡田孝二氏(昭和43年卒)の激励の言葉まで、諸先輩の言葉に現役部員も真剣に聞き入っていた。

幹事長 森岡良介(45回)

空手道部OB会

年代を超えたOBの繋がりを確認



平成30年4月22日(日)、E館(50周年記念館)7階において、午後1時より定例OB総会を開催しました。OB総会は坂本勝宣会長の挨拶に始まり、議長選出、平成29年度の活動報告、会計報告等が承認されました。今年の課題は部員の確保を第一目標に掲げ、現役諸君が主将を中心に各学年の連絡を徹底し、通常の練習を行なうこと、指導部との意思疎通を図り、クラブを存続すること、新幹部が責任を持って新入生の勧誘を継続し、来る第10回関西学生オープン空手道選手権大会及び第61回関西学生空手道選手権大会に向けて活動することを確



認しました。

なお、OB会終了後の懇親会は現役とOB諸先輩との交流の場には、創部に尽力された初代新堂友衛名誉会長(87歳)がお元気に出席してくださり、20歳代の孫程の年齢差があるにもかかわらず和やかな会話が交わされました。小生は新堂先輩の著書「駆け抜けて昭和と平成そして人生」を再び読み返しました。

OB諸先輩からは空手道部の懐かしい合宿のエピソードや厳しい練習の成果、過去に常時上位入賞を果たし、大阪経済大学の名を全国に知らしめた伝統校であることや現在の就職状況のことが披露され、一時の楽しい時間も終盤になり、全員による学歌、逍遙歌を唱和し、お開きとしました。出席した諸先輩、現役には年代を超えた空手道部OBの繋がりを確認しました。今後ともOB諸先輩の一層のご協力ご支援をお願いいたします。 押忍

幹事長 與世田正雄(34回)

経雪会(競技スキー部OB会)

創部60周年記念式典を盛大に開催!



平成30年10月13日(土)、本学E館7階の会議室とラウンジにおいて創部60周年の式典と祝賀会を行いました。出席者をご来賓を含め43名で、OB会「経雪会」会長の挨拶で始まり、徳永学長、全関西学生スキー連盟の永田副会長にも、心のこもったご祝辞をいただきました。

式典では20余年にわたりスキー部に貢献いただきました部長の土居教授をはじめ東條前会長、大野前幹事長、岩下総監督、そして野沢温泉ごんにむ荘様に感謝状の贈呈と記念品はご家族あてに贈られた。

式典終了後はラウンジにて祝賀会が行われ、昭和43年度卒の東條前会長のご挨拶と大樟体育会山本会長の迫力のあるまた気の引き締まるご祝辞をいただきました。宴会は大野前幹事長の乾杯で始まり、盛り上がりしました。卒業後初めて大学に来られた方も多く、全ての学舎が新しく綺麗になっていることに驚いていました。OBは年代ごとに現役当時の思い出話を発表し、現役の学生達には現役選手としての目標を語っていただきました。昔を思い出しながらとても楽しい時間を過ごすことができました。

会長 大島久司(55回)

30期倉辻ゼミOB会

第14回倉春会は大阪・京橋で



平成30年11月17日(土)、倉辻ゼミのOB9人で開催しました。会場は今回で6回目の京橋ツイン21 芦刈ツイン21店でした。遠方からは町田市の金岡さん、岐阜の田中さん、倉敷の石井さん、和歌山の松本さんが参加されました。

平均年齢77歳のためか話題は健康のことや、エンディングノート、旅の話、様々な話題でした。いつも話題で盛り上がるのは、やはり倉辻先生と一緒に日光に行ったゼミ旅行でした。今回は幹事の西大さんが当時の懐かしい卒業アルバムをはじめ写真を多数持参していただき、皆で当時のことに思いを馳せて大いに語り合いました。和歌山の松本さんから恒例になった立派に育てられたみかんをいただきました。

来期の倉春会の幹事は西大さんで、平成31年11月16日(土)午後2時より今回と同様の京橋ツイン21 芦刈ツイン21店で行うことになりました。

今回の参加者はメンバー総数18人の内、次の9名です。(写真左側から)西大教生(兵庫県加古郡、幹事)、石井俊生(倉敷市)、金岡正一(町田市)、吉村文男(茨木市)、田中隆司(岐阜県不破郡)、中田節弥(寝屋川市)、杉山卓(寝屋川市)、横山正一(高槻市)、松本公望(和歌山県伊都郡)、(敬称略)

幹事 吉村文男(30回)

とりあえず34期会

第8回「とりあえず34期会」開催報告



34期生の皆さんお元気ですか! 平成30年10月27日(土)、「とりあえず34期会」を開催、昨年、初の奥様同伴となったKさんご夫婦を合わせて19名が参加してくれました。今年も恒例に従い物故者の報告があり、一同黙祷を捧げ、会議に入りました。これまで皆勤の藤本理事長が急用のため欠席、与世田世話人代表より開催挨拶があり

ました。

昨年度の課題である「会費の繰越金の使途」について、世話人より「今、生徒が困っていることは、強いクラブが勝ち進んでいくほど、試合の会場が全国区になって交通費の捻出に監督以下生徒が窮迫している状況です。学校側も予算に厳しく、補欠の選手を地元に残して参加している状況です。この現状に鑑み、34期生一同として金額の多少にかかわらず、大学の「スポーツ振興基金」に全クラブの補助金として寄付したいと提案され、全員賛成で承認されました。

いよいよ楽しい懇親会に入り、今年ほどんな話題になるのか心配していたが、Kさん夫婦の清楚で美しい奥様のお陰で、品格のある、格調高い内容での自己紹介、近況報告となりました。今も新しい商品を開発し、利益を度外視し「早か事で、良か事ば、黙ってんさい」精神で貢献、健闘している友、老後をご両親の介護に捧げる友、不治の難病で苦しいリハビリと闘っている友、等々。終わりに参加者全員が肩を組み、学歌、逍遙歌を高らかに。「道理は天地を貫く」を礎に経大の益々の発展と同期生の友情、絆を深め、互いの健勝を祈りつつ、来年もまた「とりあえず会いましょう」の思いを込めての閉会となりました。経大万歳!!

世話人 廣野義直(34回)

37期会

37期会が正式発足



平成30年10月27日(土)、平成最後の大樟会総会終了後に37期会を立ち上げました。当日の参加者は26名でしたが、名簿には55名登録されました。この55名をベースに同級生の入会を増やしたいと思っています。当日、幹事(10名)を務めていただいた同級生を中心として連絡を取り合うようお願いします。

当日は懇親会の後ですので、懇親を兼ねて軽食を用意して、各自、自己紹介をして、発足を祝いました。その後も不明者から続々と登録があります。同級生から100名が登録、毎年50名の参加者があればと思っています。友達の紹介が力になっています。今後ともよろしく願いいたします。

幹事 山本隆造(37回)



32期同期会

第10回記念32期同期会開催 50名参加



今回は平成21年に同期会が発足して10回目の開催。秋晴れの日に大学のホームカミングデーで賑わうなか、大樽会総会、講演会、懇親会が終了後、本学E館7階大樽ラウンジに同期生が集合。出席者は50名(当初55名予定)と、多くの同期生にお集まりいただき、大変感激いたしました。

集合写真撮影後、この1年間にお亡くなりになられた10名の物故者に対し黙祷し、10回記念32期同期会は乾杯でスタートいたしました。初参加なんと13人、各人から自己紹介をいただき、各テーブルでは1年振り、何十年振り、卒業以来など、懐かしい顔が再会。飲みながら、食べながら大いに歓談しながら親交を深めました。特に今回は応援団8名、寮生9名が参加したことが特筆されます。出席者には記念ボールペン、同期会写真集等を贈りました。

あっと言う間に時間は過ぎて、中締めとなり全員良い気分で会場を後にしました。32期生の皆様来年も元気に会いましょう。

世話人 竹中 亨(32回)

29回卒同期会

昭和38年(1963年)29回卒同期会



平成30年10月27日(土)、29回卒同期会を大樽会総会、大阪経済大学ホームカミングデーの懇親会の後、恒例の<居酒屋ひでよし>で30回卒の皆様と合同で開催しました。

29回卒同期会は大学創立70周年の平成14年に、29回卒同期会を毎年開催しよう、最後の3人になるまで続けようの約束によるもので、今回が16回目となりました。

今回の参加者は9名でしたが、参加されなかった方からも近況報告をいただき、地域の行事のため不参加もあり、体調不良、通院中、治療中の方もありますが、早く回復され元気になられることを祈るのみです。

齢と共に体調管理には十分気をつけて元

気で過ごせるようにしたいものです。盃を交わす毎に「おい・コラ・お前・・・」と学生時代と変わらぬ言葉で語り合えるのも、大樽の学園で共に学び過ごした朋友のつながりがあるからこそです。

60年安保闘争の最中の学生時代の思い出、社会人として在職中の話、現状の話と尽きることなく懐かしく楽しいひと時を過ごすことができました。

締めは、応援団長であった光畑滋君の発声指揮により学歌を斉唱し、互いに「ボケたらあかんで」、「元気で来年も出て来いよ」との言葉を掛け合い、来年この場所で元気で再会することを約束し、<居酒屋ひでよし>さんに来年もよろしくとお願いして大隅の地を後にしました。

幹事 米村紀代孝(29回)

ひとみ会(13回生)

最後の同窓会



昭和の時代を生きぬいた私達ひとみ会(13回生)も卒寿を越え、何十回もの同窓会を送ってまいりました。その間には皆で喜びあったこと、悲しみを分かちあったことが沢山ありました。逢えば共通の話題に花が咲き夜の更けるのも忘れて話に興じました。それも皆想い出となって脳裏に鮮明にあります。

平成30年10月25日(木)、京都駅前、京都新阪急ホテルで最後の同窓会を開きました。東京から小駒さん(13回生)も参加していただき総計11名の会と相成りました。出席を楽しみにしていた方達の中には残念ながら体の不調で欠席となった方もおり何時もより出席者が少なく、年齢の重さを感じさせられる会でもありました。春・秋・二回のひとみ会のお世話をして戴きました阿部淑子さん(13回生)には途中大病に見舞われながらも続けていただき、ご厚情には心から感謝するばかりです。今迄の楽しみがなくなることは何とも言いがたい淋しさでいっぱいですが、戦前、戦中、戦後の中を駆け抜けてきた私達にとっては、この70余年の年月がどんなに大切なものか、感謝しまた語りおきたい気持ちのする年の終りでございます。 江川順子(13回)

E.S.S.

E.S.S. OB・OG MEETING



開催日時：2018年11月17日

12時30分～16時10分

場 所：大阪経済大学

E館7階会議室およびラウンジ

参加人員：50名

(OB・OG48名、現役部員2名)

今年の5月に37期の高田明さんから「一度ESS全体のOB & OG会を開いてみたら」と提案あり、早速先輩諸氏に相談したところ快諾を得て、何とかESS OB・OG MEETINGの当日を迎えることができました。

当初、参加予定者は51名でしたが、体調不良や急用などがあり、参加者は、19期から40期の48名および現役部員2名の特別参加を含めて合計50名となりました。最年長は、19期の門田弘敬様(87歳)で、開会の挨拶をお願いしたところ、流暢な英語の挨拶が始まり、参加者一同感服いたしました。我々も現役の時、門田さんのspeechに刺激を受けたものであり、未だにSTAND BY YOUのSPEECHにみな聞きほれていました。M.C.(司会者)は、39期の西出省三様にお願ひし、多忙な中で大役を軽妙な喋りくりでつつがなく会が進行して参加者全員が和やかな雰囲気のうちにとても楽しく3時間半が過ぎゆきました。

現役部員の宮内すずかさんと柳翔太さんの二人に同席いただき、現在のESSの状況を紹介していただきましたが、先行き不透明感を覚えたのは時流でしょうか？

この後、ラウンジに移動し集合記念写真撮影を済ませて懇親パーティーとなりました。乾杯の音頭は、23期の西本集一様の発声にて行われ、コープ手配の立食料理を楽しみました。各回生OB・OG紹介を8ブロックに分け、代表者が各々紹介し和やかなひと時を過ごしました。

交流タイムも盛り上がった中、学歌を斉唱して、閉会の挨拶は40期中野宗章様から今後のESSの益々の発展と次回現役部員主導の総合OB・OGでの再会という言葉に勇気づけられて会を締めくくりました。

今回お世話させていただいた我々幹事も、次回84期までの総合OB・OG会を期待しております。

31期 飯田雅胤、36期 松村則夫、

37期 森實 寛、38期 北室雅弘、片岡康和

39期 福井豊茂、大橋信洋(文責)



あらゆる生活シーンで
安心と安全を
提供したい
それが私たち
エースグループの
テーマです。

ACE
GROUP
SINCE 1992

株式会社 **エース警備保障**

[本社]

〒660-0815 兵庫県尼崎市杭瀬北新町4-9-7
TEL:06-6481-0055 FAX:06-6481-0011

[大阪支店]

〒550-0001 大阪市西区土佐堀1-6-20 新栄ビル803
TEL:06-6446-0500 FAX:06-6446-0501

[神戸西支店]

〒651-2412 兵庫県神戸市西区竜が岡1-4-6
TEL:078-969-2007 FAX:078-969-2017

株式会社 **エース警備保障**

<http://www.ace-guard.com>



農業と園芸、家庭菜園の専門店



農業屋



関西・東海に54店舗を展開。

「豊かなみのにご奉仕する」という理念のもと、古くからタネ屋として日本全国の種苗会社様とともに、お客様により良い品種のご提案をしてきました。三重県にある自社農場では、タネ屋のノウハウを活かし、野菜苗・花苗の生産を行っています。主に農業屋では農家さんの「つくる」を、産直市場のみならず「売る」をサポートしています。これからも地域の皆様に愛されるお店づくりを行って参ります。

みんなで作る農業屋の直売所

農家の産直市場 みのり

家庭菜園と農業用品の通販サイト

種・野菜づくりの専門店

農業屋.com
<http://www.nogyoya.com>

クラギ株式会社

三重県松阪市川井町花田 539
電話:0598-26-1111(代) FAX:0598-26-1113(代)
ホームページ <http://www.nogyoya.jp>

ゼミ短信

先生方からのメッセージ

(敬称略・順不同)

はじめての支部総会参加

えん りつ
閣 立



2018年6月9日(土)に大阪経済大学大樟会伊丹支部第10回記念総会に参加しました。そこで、「本学国際交流の現状と課題」というテーマのプレゼンをしました。参加者は様々な質問をされ、母校のグローバル化に高い関心を示してくださいました。

支部総会に参加したのは初めてなので、年配の卒業生のお話を聞いて、経大の歴史についていろいろ勉強できました。最後は、全員で円陣を組み、学歌と逍遙歌を斉唱しました。皆さんはまるで大学生時代に戻ったようで、生き生きとしてとても印象的でした。支部総会は卒業生にとって青春に戻る場であり、また元気が出る場でもあります。機会があれば、また支部総会に出たいと思います。

(経済学部教授)

今年度の教育と研究

杉本 俊介



ゼミは一期生が卒業し、二期生から四期生まで59名でビジネス倫理を中心に勉強しています。4年生は卒業論文の執筆に取り組んでいます。2、3年生はZEMI-1グランプリや富士ゼロックスの人材育成「志プロジェクト」(写真)などに参加しています。今年は日本経済新聞の「未来面プロジェクト」にも参加する予定です。教育者として彼らの学びをサポートできればと思います。

研究者としては今年、台北での東アジア現代哲学会議や北大での「人生の意味と哲学」国際会議に参加したり、韓国やルーマニアの学術誌に論文を掲載したりして、世界に通じる研究を目指しています。また、宇宙物理学者らと作成した宇宙開発に関するELSI報告書や、AI研究者らと執筆した『信頼を考えるーリヴァイアサンから人工知能まで』(勤草書房、2018年)など学際的研究にも力を入れています。

(経営学部講師)

他大学生と切磋琢磨

相原 正道



人間科学部教授の相原正道(専門:スポーツマネジメント)です。相原ゼミは、笹川スポーツ財団が主催する「Sport Policy for Japan」に毎年3年生のゼミ生と出場し、一橋大学や早稲田大学等24校が参加する中、2015年は準優勝した実績があります。ゼミ生は他校と切磋琢磨することで主体的に理論と実践を学んでいます。

私的には第26回欧州スポーツマネジメント学会@スウェーデン・マルメで研究発表をしてきました。「スポーツマーケティング論」「スポーツガバナンスとマネジメント」「スポーツガバナンス産業論」というSPORTS PERSPECTIVEシリーズが晃洋書房より2017年度より発売されており、今後もシリーズなので随時発売されていきますので何卒よろしくお願いします。

(人間科学部教授)

4期生と1期生

小川 悦史

第4期目となるゼミ生を9月に迎え入れました。男女それぞれ10名ずつの合計20名です。今年の3月に卒業した1期生の時は、女子学生の応募が5名で、その全員を合格とさせていただきました。しかし今年ありがたいことに、女子学生だけで20名近くの応募があったため、はじめて女子学生の大幅な選抜を行いました。ゼミ長も初の女子学生です。女子のゼミ長を男子の副ゼミ長2名が支えています。

このような4期生の姿は、一見新鮮でもありますが、基本的には自分の価値観などを大切にする現代的な学生の集まりという印象です。それは人数構成や個々の特徴こそ違うものの、いつもマイペースだった1期生とどこか似た雰囲気を持つ学生たちでもあります。

(経営学部准教授)

着任して2年半が過ぎました

水野 伸宏

私が大阪経済大学に着任して2年半が過ぎました。2010年に京都大学で経済学の博士号を取得し、本学に着任する前は6年間千葉商科大学に勤めておりました。専門は経済発展で、政治学的な側面から経済発展を研究しています。ゼミでは、計量経済学を教え、学生がデータ分析を通じて経済社会に関して抱く疑問を解決できるように指導しています。

現在3年生のゼミ生がゼミ1期生です。3年生はグループ研究の成果を7月の経済学部合同ゼミで発表し、10月下旬にはZEMI-1グランプリに出場します。このような学内の研究発表の場が、ゼミ生の研究のモチベーションを高めているようです。どのゼミもとても良い研究をしていて刺激になっています。

(経済学部准教授)

初の卒業論文の仕上がりが楽しみです

大森 孝造

本学に赴任して2年半となりました。銀行勤めから教員となった私にとって、ゼミの指導は講義よりも考えることが多かったように思います。今のゼミ生たちは、手探りのゼミ立ち上げに付き合ってくれた特に思い出深い学生たちです。

ゼミでは金融の勉強をしています。といっても、大きな話ではなく、企業や個人がどのようにお金の問題に対応したらよいかという議論です。近年、金融ではIT技術を活用した新しいアイデアがどんどん生まれています。既存の銀行は低金利に苦しんでいます、「金融業」はさらなる成長のダイナミクスを感じさせてくれる興味深い領域と思います。一期生は卒業論文の作成に入りました。仕上がりが楽しみです。

(経営学部准教授)

地域との交流を深める

高井 逸史



人間科学部スポーツ健康コースの高井と申します。平成28年4月に着任し、ようやく本学の教員として自覚ができるようになりました。私の専門分野は地域の健康づくりをいかに持続的に発展させていくか、ということです。地域に住まう誰もが住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるには、近隣同士のつながりを醸成し、身近に体操やお茶会など、歩いて行けるサロンが必要となります。健康づくりと聞くと、1日何千歩以上歩かないとなど、運動を想像する方も多いと思います。健康寿命延伸には、社会参加が極めて重要な活動です。高井ゼミでは、大学周辺の地域やサロンなどに出向き、ゼミ生による体操や歓談などを通じ、地域との交流を深めています。

(人間科学部教授)

技術革新の陰で

六浦 英文

8mmビデオはほんの一瞬世間にデビューして、あっという間に消えてしまった。いまでは録画装置も再生装置も売られていない。VHSテープはDVDに取って代われ、倉庫で劣化して「ワカメ」状態になるのを待っている。LPレコードはCDに駆逐され、再生装置も愛好者のためのもの以外は店頭から消えた。そのCDもネットから音源をダウンロードする時代になって売れないという。長い間に蓄積された知的財産がプラスチックのごみと化していく。賽の河原の石積みを連想する。壮大な無駄。なにか釈然としない。人類は賢くなったのだろうか。しかし、約18億年で地球も寿命が来て、すべてが消滅するなら、愚痴をこぼす必要もないのかもしれない。

(経済学部教授)

グローバル人材の育成

張 又心バーバラ

昨年の秋学期に新たに19名(うち、女子8名、男子11名)の2年生を受け入れ、演習Iを始めました。女子の人数が増え、ゼミが一層にぎやかになります。また、ゼミ活動の多様性もさらに増えそうですので、これからが楽しみです。

昨年の夏合宿も台北で行いました。3年生の15名が参加しました。「サービス業の海外事業展開」を調査テーマとして、ゼミ生が台湾企業や、台湾に展開している日本の飲食店やコンビニのフィールドワークを行いました。また、街の中に台湾人を対象に英語・中国語のアンケート調査を実施しました。

世界に活躍できるグローバル人材になるためには、語学力を高めることはもちろん重要ですが、異文化を理解できる力も、とても大事です。実際にフィールドに出かけ、様々な国の人たちとの出会い、異文化を体験することも、大切な勉強になります。今後も、グローバル人材を育てていきたいと思います。

(経営学部准教授)

2017年度は2名の入賞者が出ました!

小川 貴之

皆様、いかがお過ごしでしょうか。歴代ゼミ生達が応募してきた「学生奨学論文」において、2017年度は戸田和翔さんと岡田理沙さんが努力賞を受賞されました。

戸田さんは「AI(人工知能)は、職を奪うか。」というテーマで、岡田さんは「犬と猫の寿命は何で決まるのか」というテーマで、それぞれデータを用いた回帰分析を丁寧に行い、受賞につながりました。

(<http://www.osaka-ue.ac.jp/keidaigakkai/thesis/>)

私は最近では黄金水を控える生活を送っていますが、まだまだパワフルに楽しんでいくつもりです。

(経済学部教授)



2017年度卒業生と卒業式にて

恩師、90歳の大往生

北市 記子

昨年5月、前衛芸術家の山口勝弘先生が亡くなられた。90歳の大往生であった。山口先生は私の大学院時代の恩師にあたる人物で、日本におけるメディアアートの偉大な先駆者として知られている。半身不随となり晩年は老人介護施設で暮らしておられたが、それでも創作意欲は全く衰えることはなかった。私は学生時代の仲間と共にしばしば先生のもとを訪ね、作品制作の技術的サポートを行いながら親交を深めてきた。学生時代とは少し異なる新たな師弟関係がそこにはあった。かつての教え子の中には、世界的に活躍しているアーティストや、研究者として大学で教鞭を取っている者も多い。表現者としてだけでなく、教育者としても偉大な先生であった。

(人間科学部准教授)

お世話になった先生からの お元気なお便り

(敬称略・順不同)

人との出会いこそ

稲場 紀久雄



私は、今人物誌『現代上下水道の人物50傑』の校正を進めている。水道産業新聞社に企画を提案したのは4年前だが、ようやく本の形になった。出版不況の中で、本として世に問うことは、容易ではない。だが、同社が敢えて出版に踏み切ったのは、「読者が英傑と讃えられる人物の人生を知り、道標とすることが時代の転換期には重要だ」という真摯な思いであろう。

私が今日あるのは、少なくとも4人の人物との出会いであった。私の経験では、人物との出会いは、自分が探し求めれば、時空を超えて向こうからやって来るようだ。卒業生の皆さんには、是非多くの人物に出会い、その人物の人生から多くを学んで欲しいと、切に願っている。

ラオス国立大学で集中講義

二宮 正司



皆さんお元気でしょうか？ 近年私は、経済産業省の海外産業人材育成事業の一環としてラオスへ派遣され、国立大学で2日間の集中講義を行いました。

2017年春にヴィエンチャンのラオス国立大学、2018年には春にヴィエンチャンから南東約500kmのチャンパサック大学、夏には同じく約300kmのサワンナケート大学で講義です。テーマは戦後日本の経済開発、学生数は35～50名でした。受講生には現地日本企業でのインターンシップのチャンスが与えられます。学生は地味な感じですが、積極的な発言と生き生きとした顔付きは1960～70年代の日本を連想させました。(写真は設問に優れた解答をした学生と日本の景品)

サークルの宴会

久保田 諄

毎年正月近くになると、昔の卒業生（サークル「科学研究会」所属）たちが、私宅または適当な店に集まって、その年の各自の出来事や体験談を互いに語って、大いに盛り上がります。時にはサークル会員同士の結婚したカップルも現れる。私の恒例の喜びの一つである。もう中年の域に達したメンバーは勤め先でも然るべき地位を得て、人間的にも大きく成長した姿を見るのも嬉しいことである。私も若いエネルギーを貰って若返った気分になる。そして、「早く皆が社長になって、このワシを祇園でご馳走してくれ」などと喚いている。また、会の終わりには各自が年末の抱負を語る。今年の会ではどんな話が聞けるのだろうか。

変わりはありませんか。

渡邊 泉

卒業生の皆さん、如何お過ごしですか。2018年は、地震や集中豪雨に河川の氾濫・土石流と大災害に見舞われました。被害に遭われた方には心よりお見舞い申し上げます。

私の方は、すっかりボンコツになりつつも何とかやっています。昨年は、念願の写真集『四季有情』と『会計学の誕生』（岩波新書）を出版。今年は、「これまでの会計、これからの会計」（『會計』）と『会計学者の責任』（『産業経理』）の2本を書きました。歴史を専攻してようやくたどり着いた終着駅です。複式簿記を誕生させた商業資本、会計に進化させた産業資本、そして今日の行き過ぎた金融資本。残された時間で金儲け至上主義にノーといえる人に優しい新しい会計のあり方を提案したいと願っています。

他山のイシ

藤本 周一

この「イシ」は、漢字では「医師」を充てます。小生の知人のことですが、あるとき、ひどい歯痛に襲われ、4～5軒の歯科医での治療後も、翌日を待たず元の激痛が再発し、さらに歯科医を変えて、事情を説明し、治療を期待したのですが、当の医師は、「当院に来るまでの医院で治療を受け直してきてください」と言った由です。こうなりますと患者は、医師に対する不信に加えて、精神的にも不安定となり、ある日、涙を浮べて、小生に歯科医の紹介を求めてきたのです。小生、高校時代の友人の歯科医を紹介しました。当人が受診しました結果、歯痛はたちまち鎮静し、快癒したと聞きました。小生、こんなこともあるんだなァ！という気持ちと共に、まさしく「他山の医師」の思いです。



経大生協では、学事・学会・講演会・OB会などの懇親会やPARTYを、ご要望にあわせてプランニングいたします。お料理・飲み物・ホールサービス・会場設営など内容についても是非ご相談ください。

お気軽にご相談ください

大阪経済大学生生活協同組合

〒533-0011 大阪市東淀川区大桐 3-16-10
TEL.06-6379-2230 Fax.6379-2232 URL.<http://oue.hanshin.coop/>
e-mail oue-coop@hanshin.coop

『クリーン&セイフティ』で環境対応グラビア印刷を展開

分野に捉われない全天候型経営、グローバル展開で更なる成長を目指します。



事業内容●プラスチック食品包装、工業材(IT・自動車・医療)、住建材等のグラビア印刷製品の製造及び販売

 **中本パックス株式会社** <http://www.npacks.co.jp>

〒543-0012 大阪市天王寺区空堀町2-8 TEL.06-6762-0431
代表取締役社長 河田 淳



Daiwa Lease
大和ハウスグループ

持続可能な社会を目指そう。

大和リースは、大和ハウスグループの中核企業として、次世代のために、持続可能な社会を実現するため、行政から民間企業まで、あらゆるお客様のさまざまな課題を解決します。その手段として、当社の4つの事業を複合化した提案を行い、総力をあげて豊かな未来のために貢献いたします。



■ 規格建築事業



■ 流通建築リース事業



■ リーシングソリューション事業



■ 環境緑化事業

大和リース株式会社 www.daiwalease.co.jp

大阪市中央区農人橋2丁目1番36号 ビップビル 〒540-0011
Tel 06-6942-8011 Fax 06-6942-8051

建設業許可番号・国土交通大臣許可(特-27・29)第5903号
宅地建物取引業者免許番号・国土交通大臣(8)第3836号

我が人生に悔いなし

大分華僑華人会会長
大分青果仲卸協同組合理事長
「シャン・ジュエル」ホテルオーナー
黄^{こう}梅^{うめ}雄^お氏(37回)



黄氏の朝は早い。午前5時に起床後、市場でセリの仕事を終えた後、経営する湯布院のホテルで執務のあと、50分かけて夜大分の自宅へ帰るといふ毎日が続く。70歳と言えはそろそろ引退するのが普通だが、黄氏は「自分の古希は90歳だと思っている。まだまだあと20年はがんばりますよ」といふ。

大分市公設市場には12社の青果卸問屋が加盟しているが、黄氏が28歳の時に加盟が認められた。「華僑で認められたのは全国的にも初めてではないか」といふ。黄氏の経営母体は青果卸業の「タイコー青果(株)」だ。大手ホテルや学校給食へ青果を納入するなど、同業者の中でも利益は上位にあり、経営は安定しているといふ。

ただ、一時は納入先の倒産、夜逃げ、手形詐欺などに会い、銀行からも見放され、何をやってもうまくいかない厳しい時代も経験した。何が何でもと踏ん張った甲斐があって現在があるといふ。

華僑が全部ではないが現在、中国籍は留学生なども含めて全国で80万人。うち大分県には4,000人ほどが生活している、黄氏はその華人会の会長も引き受けている。日本で生まれた中国人2世は中国語が話せず、その父母が孫を中国の両親へ見せに行こうとしても言葉が通じないので子ども達は行きたがらない。なんとかしてほしいとの要望を受けて華人会では2017年6月にボランティアで「大分中文学園」を開設した。大分市の施設を借りて週1回中国語講座を開いている。日本人でも希望者があれば受け入れている。経費の一部は中国政府福岡領事館が負担してくれている。昨年はこの受講生の中から初の中国への留学生を送り出した。

大分華人会では他にも日本人を対象にした中国語スピーチコンテストや留学生などの心の支えになればと毎年春節まつりも開催している。黄氏が本学を卒業した時期はまだ中国との国交がなく、ずいぶんと中国人いじめもあったそうだ。黄氏は幸いそういうことはなかったが、現在は中国人も日本社会へ受け入れられ生活ができていふ。「その恩返しのつも

りで数々のイベントに取り組んでいる」といふ。

3年前には中国のソーラーメーカーが福岡へ進出した際、紹介されてタイコーソーラーという新会社をつくり、5000㎡の山林を借りて1億円をかけて300Kwの発電所もつくった。幸い年間1,500万円の売り上げがあり、この事業も順調だ。

その縁で工事を請け負った造成業者から、湯布院でキリスト教会が売りに出されていることを紹介される。そこで黄氏はその土地建物を改装して新規に瀟洒なりゾートホテルの経営に乗り出したのである。湯布院の街が一望でき、由布岳に抱かれ杉林に囲まれた国立公園内の1060坪の土地建物は最高の場所である。昨年8月11日にオープンにこぎつけた。名前は「シャン・ジュエル」。宝石箱をあけるときの心ときめく瞬間のようなひとときをお過ごしいただきたい…という願いが込められている。華僑のプライドもあり、あくまで中国語にこだわり、中国名では「香俱麗樂」と表記する。建物は2階建。もともと教会にあった宿泊施設を改装したもので25名が宿泊できる。源泉の設備もあり、湯布院では宿泊施設の新規参入は難しいのだが、既設の特権ですんなりと事業許可が下りた。美しい自然に囲まれた露天風呂もこのホテルの売りだ。知人の紹介で他旅館からヘッドハンティングしてきた若女将の笑顔が旅の疲れを温泉と共に癒してくれる。湯布院へご旅行の際は是非お勧めしたいスポットだ。

黄氏は「青果問屋はこれまで倒産せずやって来られたが、商売に明け暮れてお金もうけただけではなくて、これからは恩返しのつもりで皆さんに楽しんでもらおうと同時に、自分でも楽しかった人生だったなと思えるようにこのホテルに賭けてみたい」といふ。2010年にはマスターズ水泳では「100m混合メドレーリレー」で日本新記録を樹立した実績を持つ。ゴルフもシングル級。(聞き手=広報部長・小林真人)

「Shan - Jewel」シャンジュエルホテル
大分県由布市湯布院町川上1350-1
電話090-4989-4454
<https://shan-jewel.jp/>



略歴 昭和23年6月13日大分県臼杵市生まれ。70歳。大分県立上野ヶ丘高校卒業。昭和37年本学経済学部入学。在学中は休み毎に帰省し、農家から野菜を仕入れ、それを市場へ出荷するというアルバイトに励み、卒業時には倉庫と車3台を所有するまでになり、もはやアルバイトの域を超えていた。その延長で現在の青果卸問屋「タイコー青果(株)」の基礎を築いた。祖父母が中国福建省出身で本人も中国籍のまま。いわゆる「老華僑」と呼ばれている。2年に一度北京で開催されている世界華僑大会へ日本代表の一員として招待されている。

剣道は人間形成の武道

岡山県剣道連盟専務理事
剣道範士八段

田中 早苗 氏(36回)

剣道界の8段で範士の称号を有する人は岡山県内に2人だけという剣道界においては雲の上の存在である。まさに剣道界の頂点を極めたのだ。田中氏は最初から剣道を始めた訳ではない。岡山東商業高校時代には野球部に所属していたが、1年生の途中肩を痛めてやむなく野球部をあきらめて勧められて剣道の道へ。岡山東商業はその年、甲子園で優勝したのだ。「あのまま続けていたら甲子園球児になっていたのに」と笑う。

岡山県剣道連盟の加入者は6,000人。他のスポーツ団体に比べれば決して多い数字ではないが、田中氏は「剣道は、小さい子どもからお年寄りまで長くできるので生涯剣道を提唱している。また、正しい人間形成を目指して、それができるかどうかを目標にしている。剣道は奥が深く、やればやるほどとらえどころがなく、到達できそうでできない…、それがこの武道の魅力のひとつでもある」という。

剣道について門外漢の小生、剣道の段位はどうして決めるのかについて聞いてみると、「いくら全国大会で優秀な成績をおさめても段位が上がるとはならず、あくまでも5段以下は各都道府県で昇段試験を実施、同クラスの者を戦わせて優秀な者を昇段させ、6段以上については全国審査会で決める」のだという。

田中氏は、平日は岡山県剣道連盟の専務理事として事務局へ顔を出すものの、毎週土日ともなると各地で剣道大会や審査会などが開催され、審判などとして出向き、忙しい毎日を送っている。ただ、どのスポーツにも共通して言えることだ

が、「後継者のバロメーターになる下級の昇段試験の受験者は現状では今のところ横ばい状態が続いているのだが、中学、高校の大会出場者が少なくなって中には名門と言われる高校が不出場という現象が現れてきている」と将来に対して危機感をもつ。しつけのために子どもたちに剣道を始めさせるケースもあるが、普及のための第一歩はまず保護者からはじめてもらう必要を説く。現在の子供たちは話をする時に相手の目を見ない。返事もハイと言えない。いじめが多いという現実には田中氏は「団塊世代で育ってきた親の子どもたちが次世代を形成して、IT時代になってゲーム社会が浸透してきているが、剣道を通して人間をつくるという指導をして、1人でも2人でもいい子を育てれば社会全体が良くなる」というのが持論である。

最後に指導をしている本学の剣道部について「ウイークデーに指導に行っても練習に出てくる部員が少ない。稽古量も足りない。他大学に勝とうと思えば、それ以上の練習量が必要で、青春を謳歌しているような練習方法では勝ち残れない。工夫を凝らし大活躍してもらいたいです」と苦言を呈す。(聞き手=広報部長・小林真人)



略歴 昭和22年4月26日岡山市生まれ。71歳。岡山東商業高校卒業から本学経済学部へ入学。在学中は4年間剣道部で活躍、全国大会へは4回出場。昭和45年、卒業後は岡山県警察に採用。警察官時代は交番勤務から刑事、機動隊、レスキュー隊などに勤務しながら通算20年間剣道の指導にあたる。現在は岡山県警の名誉師範。本学剣道部師範として本学剣道部の指導もしている。

140年の伝統を守る 発酵食品ブームが追い風

有限会社小松屋取締役会長

肥塚 雅実 氏(32回)

新幹線姫路駅に降り立つと正面に世界文化遺産登録・国宝の「姫路城」が目飛び込んでくる。肥塚氏の経営する「小松屋」は山陽電車で5つ目の白浜の宮駅から徒歩数分。毎年10月に開催される「灘のけんか祭り」が開催される松原八幡神社と御旅所を結ぶメイン会場となる旧街道沿いにある。祭りが近づくと神様に奉納する甘酒作りが忙しくなる。季節によっては街道を歩くとあの麴の甘酸っぱい香りが漂ってくるそうだ。

瀟洒な店頭には自家製品の甘酒や味噌とならんで全国の銘酒も並ぶ。ただ、店の奥行は40mにも及ぶ文字通り「ウナギの寝床」と呼ばれる昔ながらの典型的な町屋づくりだ。姫路市内でもかつては甘酒製造の店は多くあったが、後継者不足などで廃業したため今では2軒しか残っていない。小松屋は明治10年に初代又七氏が小松屋からのれん分けしてもらい独立創業したのが始まりで、現在の雅実氏は4代目にあたる。

甘酒の製造工程は、まず米を蒸すことから始まる。次に一旦冷却し、種麴を植え付け、せいろに盛り付けて5時間毎に手入れする。45時間で糀になり、飯を炊いて糀と混ぜて、55度～60度を保つと二昼夜でおいしい甘酒ができる。その後、袋詰め、熱湯殺菌、冷却の行程を経て1週間後の出荷となる。また、米、食塩、大豆を混ぜ込むと味噌ができる。赤味噌は10年間寝かせたものもある。「現在はコンピュータで温度管理をしているが、昔は室の温度を保つために寝ずの番をしていた。隔世の感がある」というが、米を手入れする作業はやはり人出に頼るところが多い。肥塚氏は「自分は長男で、小

い時から家業を継ぐものとして教育されてきた。一度でいいから他の職業についてみたかった」というが、今では「父から伝えられた秘伝の技術を継承できたのは有り難く、感謝している」という。無添加、発酵食ブームと奥様の親切丁寧な接客により業績は順調だ。大手ではできない糀造りにこだわり、無農薬米やミネラル豊富な塩などを使った甘酒や味噌は「小松屋さんの甘酒、味噌でないと…」というファンも多い。

ご子息のうち長男と次男は就職されたが、ただうれしいことに三男の唯史さんが五代目を継いでくれた。販路もイオングループをはじめ、山陽百貨店などにも広がっている。現在は甘酒6、味噌4の割合だが、いずれも日本の伝統的な発酵食である甘酒、味噌を天然醸造、無添加・手造りを貫いている。

※手入れ=まぜることの業界用語
(聞き手=広報部長・小林真人)

HPによると丹精込めコッコツ製造販売(心の通う通心販売)もやっている。

問い合わせ・注文先

電話079-245-0014 FAX079-245-3128 (小松屋)

Email:info@miso-komatuya.co.jp



略歴 昭和18年5月5日兵庫県姫路市生まれ、75歳。姫路市立姫路高校から本学経済学部へ入学。在学中は姫路市の生家を午前6時30分に出て山陽電車、国鉄(現在のJR)、阪急電車を乗り継いで通学していたためクラブ活動の経験はない。自動車運転免許を取得し、在学時から得意先へ商品を配達するなど家業を手伝っていた。昭和41年3月卒業と同時に家業の酒づくりに従事。昭和45年11月に父さまが亡くなり、味噌の製造販売業の「小松屋」4代目を継ぐ。

人生はやり直しが効く

和歌山刑務所篤志面接員協議会会長
和歌山高等美容専門学校理事長ながはら やすお
永原 康男氏(19回)

永原さんは、昭和40年に和歌山刑務所の篤志面接委員（以下、篤面）に任命され、今年で54年。昨年、米寿（88歳）を迎えた。しかし、私がお会いした永原さんはとても米寿とは思えない若々しさである。「恐らく、全国で1,800人程いる委員のなかで私がいちばん古いのではないですかね。こんな変人はいないと思いますよ」と永原さんは笑う。

篤面とはどのような活動を？「イギリスのプリズン・ビジター（刑務所訪問）制度をヒントに、昭和28年に我が国でも設けられました。篤面は刑務所や少年院の収容者が抱えている悩み事など諸問題の解決や心情の安定を図るため、適切な指導、相談、助言、釈放前教育、等を行う民間の篤志家です」。和歌山刑務所の篤面は現在19名。弁護士、医師、お寺の住職、学校の先生など職業は様々。それぞれの専門的知識や豊富な経験を生かして収容者の矯正活動に従事している。

永原さんは“性善説”を採る。「篤面は“性善説”を採るべきです。刑務所に入ってきた人は悪い人だと思っただけでどうしようもありませんよ。人間として、同じ目線で話さないといけません。ほんとうに悪い人間などほんの一握りです。あとは、皆、話を聞けばそれぞれの事情があります」と。和歌山刑務所は女性刑務所である。女性特有の事情もあるのでしょうか？とお聞きした。「女性の社会進出に伴って、いろいろな犯罪が起こります。いちばん多いのが覚せい剤、2番目が窃盗です。3番目が殺人です。これは介護疲れが多いですね。嫁ぎ先の義父母の介護疲れとか、育児疲れで自分の子供を殺したりとか。しかし、すべてが極悪人ではありません」。

受刑者は、皆、コンプレックスと出所後の不安を持っている。「だから受刑者との面接では、例えば刑務所内では見ることのできないスーパーのチラシ広告を持って行って、タマゴ10個が100円で買えるよ、などと雑談します。気分をほぐしてから、出所後どのように生きていけばいいのかについて話します。もう二度と再犯を起こさないように論じます。ところが、覚せい剤はどうしようもないですね。2回、3回はおろか8回、10回と繰り返します」と永原さんは再犯を防ぐことの難しさを訴える。そして「仮釈放前教育というものがあまして、受刑者は出所前には2週間ほど別の棟に入れられて、出所後の心構えを聞きます。私は、『人の言うことは気にするな。とにかく人生はやり直しが効くのだから』と励まします」。さらに、話は続く。「あなた方は判断を誤ったからここに来た。子供の頃から、勉強しろ、勉強しろ、と言われたでしょう。何のために勉強するのかという判断力をつけるために勉強するのだと。世の中、白

か黒だけではない。二択だけではない。三択もあれば、四択もあるのです。いろいろ勉強して、もう二度とここに来てはいけませんよ」と話します。

永原さんの話はさらに続く。「そして『できれば男性のパートナーを見つけなさい。女性は同性でライバルだから』と彼女たちに言います。しかし、男性の心理がわからずに刑務所に来る女性もあります。だから男性の心理も話す。女性は顔だけじゃない。そばにいてホッとするような女性になってほしい。心配り、目配り、心配りが大事だと。自分のパートナーを他の男性と比較してはいけません。給料のことは言うな。相手の身内のことは言うな。親しき中にも礼儀あり、絶対に相手に見せてはならない姿がある」と。

永原さんは、昭和26年に本学に編入生として入学する。本学を選んだ理由は何でしょう？「子供の頃、近所に素晴らしいお兄さんがいて、本学の前身の昭和商の出身だということでした。それがずっと頭に残ってしまっていてね」と。永原さんが本学を卒業したのは昭和28年である。当時はいへんな就職難の時代である。「当時の国家地方警察巡査をしたり、代用教員もしましたが、縁あってアメリカ銀行（バンク・オブ・アメリカ）の大阪支店に就職しました。私は、銀行に在職中から篤面のボランティア活動をしていました。外資系の企業はボランティア活動に理解があったからできたのです」と振り返る。

本学卒業後の永原さんの生活は多忙を極めている。現在、理事長を務める和歌山高等美容専門学校との関係は本学卒業からずっと続いている。「平日は銀行員、土曜日は美容学校の先生、日曜日は刑務所の篤面のボランティアです」。それでも、その後の銀行員人生は順調で、同行の輸出為替課長、融資課長も歴任したが、25年間勤めて昭和56年に依願退職したという。

そして、「本学出身の篤志面接委員は全国で私と元・和歌山県立星林高等学校教諭の中村作太さん（34回）の二人だけだと思います。後に続く人が出てくれればうれしいですね」と締めくくられた。

(聞き手=事務局長・内田敏雄)

略歴 昭和5年3月10日、和歌山市生まれ。市立和歌山商業学校卒業。大阪外事専門学校(旧 大阪外国語大学)別科 英米科出身、天理語学専門学校(現 天理大学)フランス語科卒業、昭和28年3月本学経済学部卒業。昭和40年和歌山刑務所篤志面接委員、平成11年同刑務所篤志面接員協議会会長、平成18年瑞宝双光章受章、平成22年春の園遊会に招待される。

賃貸契約件数中国四国NO1

株式会社 日本エイジェント
代表取締役社長
のま きょういち
乃万 恭一氏(37回)

会社の名称「エイジェント」は原動力という意味がある。日本の原動力になりたいという願いを込めて付けたものだという。起業当初はミニ土地開発会社としてスタートしたのだが、「仕入れた土地が売れ残るとたちまち資金繰りがうまくいけなくなり、随分苦勞もした。決して今のよう順風満帆ではなかった」という。そこで乃万社長は電器屋に例えて「開発は冷蔵庫に当たるが、そう買い替えるものではない。ただ、中は食料品だから回転率が良く、マーケットが安定しているのではないか。不動産業の土地開発よりも賃貸を反復継続して業務をすることによって安定的に収益を上げるといことに方向転換した」という。マンションやアパートの建売ではなくて入居者の仲介業と管理業に特化したのである。乃万社長はつまり「狩猟型から農耕型へ方向転換した」という。

経営の柱である賃貸経営代行は、不動産所有者の土地を賃貸マンションにするのか駐車場にするのかシミュレーションをして、いかにオーナーの収益が最大化できるかのビジネスで、賃貸マンションなら入居者募集から管理業務までを担当する。オーナーの収益が増えれば会社の利益もつながる。オーナーとの利害の共有戦略が認められ、管理戸数は愛媛県内で1万3000戸。新規契約件数は中国四国地区ではNO1の実績を持つまでに成長したのである。古くなって入居率の下がった部屋のリニューアルも管理会社として責任を持つ。この会社の最大の特徴はフランチャイズ

方式を導入したことだ。少子高齢化を迎えて体力のあるうちにと東京へ事業を拡大した。「便利で、簡単に、早く、詳細に探せる」をモットーに全国に先駆けて百貨店、大手スーパーなどに出店し、無人で検索できるスタッフレスボックスを設置。立体的に部屋の状態が分かるVRの画面を通して本社の担当者と直接会話ができるシステムを開発し、特許を取得した。

現在は小田急電鉄など全国の都道府県138か所にこの機器を設置している。将来的には全国の住宅斡旋業者とフランチャイズ契約を結び、この機器を通して全国どこからでも部屋探しができるシステムを構築し、画面がクリックされる度にロイヤリティーが入ってくる仕組みだ。経済産業省の中小企業IT経営力大賞も受賞した。

当社が管理する部屋の水回りの故障や部屋のカギの紛失といったトラブルには24時間対応できる会社も設立した。ゴキブリが出て駆けつけないなどアフターサービスも万全だ。「出逢い、信頼、感動、満足度日本一を目指し、業界NO1を実現する」という乃万社長の夢は膨らむ。乃万社長の活躍ぶりは昨年10月21日(日)午前7時30分からの「がちりマンデー」(TBS系列全国ネット)で放映された。

(聞き手=広報部長・小林真人)



略歴 昭和24年1月16日松山市生まれ、70歳。愛媛県新田高校卒。昭和46年、本学経済学部卒。在学中は日本拳法部で活躍。卒業後は大阪の不動産開発会社へ就職。約10年間勤務の後、昭和56年故郷へ帰り、32歳で(株)日本エイジェントを起業。賃貸斡旋業で契約件数は中国四国地区でNO1の業績を誇る。

“つながる力”を実感 二県の協会会長が同窓生

一般社団法人 埼玉県中小企業診断協会会長
中小企業診断士

たかざわ しょう
高澤 彰氏(54回)

全国で380万社とも言われる日本の企業(法人+個人事業者)のほとんどが中小企業である。その経営診断、助言を担うのが中小企業診断士である。この国家資格の人気の上昇しているという。

「平成28年の日本経済新聞社の調査では、ビジネスパーソンが取得したい資格のトップになっています。弁護士や会計士でも中小企業診断士の資格を取るケースも増えています」と、高澤さん。それはなぜでしょう。「誤解を恐れずに言うと、同じ士業と呼ばれる職業でも税理士や会計士などは独占業務があるので絶対に間違いない職業です。中小企業診断士は財務などもチェックしますが、これから何をするのかという未来会計も含めて支援します。そんなことは、ほかの士業では怖くてできないでしょうね。しかし、企業の経営者がいちばん欲しいノウハウは実はそこなんですよ」と言葉に熱がこもる。

高澤さんは大阪出身である。なぜ埼玉県で中小企業診断協会の会長に?という素朴な疑問を投げかけてみた。「昭和63年、大学を卒業して機械部品の商社に就職しましたが、すぐに東京に配属されました。そのまま関東に居ついて各地の営業所をまわり、平成14年5月、埼玉の営業所にいたときに独立・開

業しました。資格はその5年前に取っていました」。中小企業診断士は合格率4%という難関である。「機械商社の営業をしていると、中小企業の経営者に接することが多いのです。だから診断士の資格があれば役に立ちそうだなと思って勉強を始めました。試験は一次で3~4回、二次でも3~4回受けましたね」とか。

平成23年4月に埼玉県の協会会長に就任。独立・開業からわずか10年足らずである。「随分早いですね」と聞くと、「当時、私は40歳台半ばで、全国で最年少の会長でした。そうなったのも私が埼玉県と縁が薄かったから選ばれたのかもしれない」と笑う。

前号の「ズームアップ経大人」で紹介された沖縄県中小企業診断協会の西里喜明会長と共に、全国の都道府県のうち2県の協会の会長が本学出身者である。西里会長とは、たまたま協会の理事会で雑談をしていて本学の同窓生であることを知ったという。こんなところでも、本学のキャッチフレーズ“つながる力”を実感できるのではないだろうか。

(聞き手=事務局長・内田敏雄)



略歴 昭和40年5月28日、大阪市住吉区生まれ。昭和59年3月大阪府立港高等学校卒業。昭和63年3月本学経営学部卒業。(株)ダイドー入社。平成23年4月、埼玉県中小企業診断協会会長就任。現在、5期目。

貴重な若いメンバーを大切に

大樟会静岡支部長

大喜設計代表取締役

おおしお ひろき
大塩 博喜氏(40回)

静岡県は東西に長い。県内には東海道新幹線の6駅(熱海、三島、新富士、静岡、掛川、浜松)がある。大樟会静岡支部は、かつて東海支部(現・愛知支部他)や東京支部の一部であったこともある。

大塩さんは、静岡支部長を10年以上務める。関西弁が飛び交う大樟会では珍しい関東言葉を使いこなす。関西のご出身では?という質問に、「いえ。僕は静岡出身です。実家は静岡駅の北側ですよ」。生粋の静岡県人がなぜ関西に来ることになったのか? 「大学に進むとき、選択肢として東京と大阪がありました。東京に行けば親がしょっちゅう来るから、親の来ない遠くへ行っちゃえという単純な発想でした。それと何だか大経大に入りたいと思ったんだよね。とにかく学費が安かった。親が認めてくれる学費のこの大学に絶対に入ってやろうと…」。

大学では、税理士、公認会計士を目指す優秀な学生が集まる税理研究会(税研)に。「僕の頃の税研は凄かったですよ。僕は普通高校からでしたが、入った途端に、日商の検定試験で簿記二級を取らせるといって合宿をやったんです。『簿記』の『簿』の字も知らない者がいきなり二級ですよ。その後、僕はアルバイトをして遊んでしまい、全然違う方向に行っちゃいました」と笑う。



大学卒業後は、静岡に帰られた? 「僕は長男なので、静岡に戻るしかないと思っていました。たまたま伯父が静岡で測量会社をやっていたので、そこに入りました」。でも、大塩さんの仕事はいろいろな資格が必要ですよ?

「大学卒業後間もなく行政書士の試験に合格していたし、その後、測量や土木関係の資格も取りました。伯父の会社に13年間お世話になって独立しました」。今、仕事は順調である。

大塩さんは熱血漢である。学生時代、実家の経済状態が苦しく、親から仕送りを止められたことがある。数年前、同窓会(大樟会)の理事会で同窓会の奨学金制度の導入に対して異論が出た時、大声でそれを制した。「真面目に勉強している学生が困った時に同窓会が助けようとしているのですから応援したくなりますよ」と。

地方支部の高齢化が進んでいる。「どこの支部もそうなんだろうが、とにかく若い人に参加してほしい。うちにも昨年、新卒のメンバーが一人入ってくれました。これは大切にしたいですね」と、嬉しそう。最後に高齢化が進む地方支部の支部長の顔が覗いた。(聞き手=事務局長・内田敏雄)

略歴 昭和26年10月21日、静岡県静岡市生まれ。静岡県立静岡東高等学校卒業。昭和49年3月本学経営学部卒業。昭和62年8月行政書士登録。四男に恵まれる。

OBAMA すべては ここから始まった。

観光ボランティアガイド「若狭の語り部」の会顧問

いのうえ まんじろう
井上 万治郎氏(30回)

本学入学後、全国各地を旅して歩くワンダーフォーゲル同好会に入部、いろんな出会いや発見に満ちていたそうです。全国各地の自然や風土に親しみながら仲間と共に長期的な活動をする、ということがとても楽しかったと振り返る。また、文化的活動や他の大学との交流など率先して企画されたそうです。特に白馬榎池にある本学所有の山小屋では四季の移ろいによる変化に感動、春には山木が芽吹き、花々が咲き誇る。今でも思い出される感動のワンシーンですと楽しそうに学生時代を振り返っておられた。

同窓会活動についても、大学を卒業して日本コロムビアに入社され、井阪元理事長と共に東京支部で活動。また、石橋前福井支部長と共に福井・石川・富山県の県人会の創設にも努力されたとのこと。母校愛に満ちた沢山のお話をお聞きすることができました。

日本コロムビア退職後実家に戻られ、数か月後には小浜市の市議会議員に当選、2期8年にわたり小浜市の発展に寄与されました。2期目の途中から小浜市の深い歴史を知ってもらい、歴史遺産を活用した「まちづくり」の仲間を増



やし、世界遺産、郷土の偉人などの他、小浜市の歴史遺産の掘り起し、まちづくりに資する活動を始めたとのこと。また、偉人の業績を称え、現存する有形無形の文化遺産に誇りと愛着を持ち、郷土の文化と歴史を後世に守り伝えていくため、「若狭の語り部」の会の会長、副会長として12年間にわたり「語り部」として活躍、現在は顧問として28人のメンバーの指導に当たられている。

※井上さんからお聞きした興味深いお話

- ・室町時代初期 將軍足利義満への贈り物として小浜に「象」が日本初上陸
- ・奈良東大寺の「お水取り」の「お香水」は若狭から10日間かけて二月堂「若狭井」に届く
- ・若狭湾で一塩した鯖を京都へと運んだ道「鯖街道」「京は遠くても十八里(72km)」

(聞き手=広報部・角庵勝巳)

略歴 昭和35年、福井県立若狭高等学校卒業、本学経済学部に入社、喜田ゼミ、ワンダーフォーゲル同好会に入部。昭和39年、本学卒業。日本コロムビア入社、平成14年退職。その後、小浜市議会議員2期8年奉職。



「一致団結」チームは1つ

皆様のご協力のもと2018年度パソコン教室を開催させていただきましたことができました。スタッフ一同、心よりお礼申し上げます。パソコン教室は学生が運営し、同窓会並びに後援会員の皆様にパソコンの知識を提供する場であり、現在の大経大の現状を知っていただく場でもあります。その中で少しでも皆様にパソコン教室の魅力を伝え、今の大経大の姿をお見せすることができたのであれば幸いです。このパソコン教室を無事に終えることができたのは、大樟会をはじめ、教務部・総務部・情報処理部・管財課・食堂部、そして学生スタッフ陣の協力があつたからこそだと感じています。

2018年度のパソコン教室では、「一致団結」というテーマにさせていただきました。その理由は、学生スタッフ、参加者ともに一致団結してお互いを高め合うことを目標とするためです。私が大経大パソコン教室に関わるのは今年で3年目になります。一昨年は、初心者コースのアシスタントを、昨年は初心者ワードの講師を務めました。その2年間の経験を経て今、運営代表という立場にいます。スタッフの方々には、感謝申し上げます。私が運営代表をやっていて学んだことは、この役職の責任の重大さです。スタッフ陣の上に立つ立場を経験し、その責任の重

大さを痛感しました。例えば、スタッフ間で問題が起きた時、その対応は運営が責任をもってしなければなりません。私は小学校・中学校・高校とリーダー的な役割にいたことがありました。しかし、パソコン教室の運営代表として、学校や同窓会・後援会の方々と関わったことで、今までと違った責任感を学ぶことができました。

今年度のパソコン教室は、平成最後のパソコン教室でした。しかし、来年度以降もパソコン教室は続きます。来年度もスタッフ一同一致団結し、より良いパソコン教室を作っていきたいと思っておりますので、応援よろしくお願いいたします。本当にありがとうございました。

第18回パソコン教室

学生実行委員会委員長 宮城勇希



なにができるんだろう？



夢と希望にあふれた

社会づくりを実現させるために、

わたしたち大成建設は

これからも人がいきいきとする環境を
創造します。

地図に残る仕事。®

 **大成建設**

For a Lively World

2018年度大樟会理事会

全国から理事125名が出席

全国支部長会議は10月28日に



平成30年度大樟会理事会は5月26日（土）午前10時30分からD館32教室で開催された。当日は、全国から125名の理事が出席した。

はじめに物故者に対し、全員で黙祷を行った後、田村正晴会長が挨拶を行った（要旨別記）。続いて、来賓を代表して大学の藤本二郎理事長と徳永光俊学長から祝辞が述べられた。さらに平成29年度中に就任した新支部長6名と新理事19名が紹介された。

この後、議長に角脇忠行常務理事（34回）、副議長に田中伸治常務理事（45回）を選出して、議案の審議に入った。

第1号議案の平成29年度の事業報告では、総務部関係として、平成29年5月27日、定例の理事会を開催し、本部役員改選、大樟樟政会を7つ目の部会として追加する等の議案を上程し、それぞれ原案どおり承認した。また、全国支部長会議では、過去2年間にわたり進めてきた同窓会設立80周年記念事業の進捗状況を報告した。その他、恒例となっている学生奨学論文表彰、本学の卒業生、後援会員等を対象にしたパソコン教室も開催し、好評を博した。また、広報部関係では、平成30年1月31日、「澁江53号」を発行した。特集として、本学の卒業生で、通販大手の「ジャパネットたかた」の創業者である高田明氏のインタビュー、女性卒

業生の座談会、藤本二郎理事長のインタビュー、支部だよりなど多くの同窓生の情報を掲載した。組織部では、支部総会・部会を計52回、同期会・クラブOB会を計28回開催し、その支援を行った。また、平成29年11月25日、永らく活動を休止していた島根支部は支部再興総会を開催し、活動を再開した。また、財務部からの決算報告では、平成29年度から給付を開始した同窓会奨学金基金への同窓生からの寄付金（奨学金収入）は、大口の100万円も含め、予算額を大幅に上回る195万円を計上した。また、スポーツ・学術振興引当金から2,000万円を取り崩し、同窓会奨学金負担金として大学に寄付した。

第2号議案では平成30年度事業計画および収支予算について各担当部長から説明があった。特に石橋組織部長からは地方からの入学者、卒業生が減っているなかで、近隣の東大阪・八尾地区での支部設立を検討したい。また、現役学生に呼び掛けて地方の県人会組織を学内に立ち上げたいと考えているが、いずれもたいへんな労力を要することであり、すぐには実現するとは言えない。

次に、3号議案の会則の改定では、従来、学生会員から理事は選任されていなかったが、学生会員からも理事を選任することを明確にする。

これらの説明に対し、出席理事から「澁江」の購読料の振り込み状況や、大学の奨学金制度支援のための資金負担の会計処理における勘定科目等に関連する質問があり、それぞれ担当役員から説明があった。以上、審議の結果、各議案は原案どおり承認された。

また、この後、事務局から大樟会本部役員人事について、大河内徹心常務理事が、新たに副会長に選任されたことが報告された。

なお、例年、理事会と同日開催されている全国支部長会議は、本年は、大学の行事との兼ね合いで、大樟会総会開催日の翌日（10月28日（日））まで延期された。

会長挨拶(要旨)

先輩と後輩の絆こそ

“つながる力No.1”の具現化です

大阪経済大学大樟会

会長 田村 正晴

平成29年度の大樟会活動は事業報告のとおり、滞りなく終了いたしました。支部および各種団体の会合が52カ所、同期会、クラブOB会が28カ所で開催され、全国80カ所で多くの卒業生が集いました。特にご報告いたしたいことは、昨年10月、愛知支部では前身である東海支部設立から数えて「70周年の記念総会」があり、今年の3月には広島支部の「設立75周年の記念総会」が相次いで開催されました。昭和商に始まり、女子経専、新制大学へと、連綿とつながってきた卒業生の先輩と後輩の絆は、まさに本学のブランディング戦略“つながる力No.1”を具現化するものではないでしょうか。これは大樟会の誇りであるとともに、大学にとっても掛け替えのない大きな財産ではないかと思えます。たかが同窓会、されど同窓会ではないでしょうか。

来る2020年には、いよいよ卒業生総数が10万人の大

台を超えます。私達は諸先輩の熱い思いと、設立の原点に立ち返り、これからも主体性のある活動を続けていかなければなりません。同窓会の役割は、一つは同窓生の親睦啓発であり、二つは大学貢献、特に現役学生への様々な支援、三つはステークホルダーとしての社会的役割です。これは何時如何なる時代にあっても変るものではありません。大樟会は今後とも母校に寄り添う最大の卒業生集団として、大学との連携を密にしながらその役割を果たしてまいります。

当面は2年先の卒業生10万人時代を視野に、組織運営を根本的に見直してまいります。次なる時代に適応した組織運営の有り様について、そろそろ議論を始めなければならない時ではないかと思えます。

理事の皆様のご理解とご協力のほどをお願い申し上げます。ご挨拶といたします。

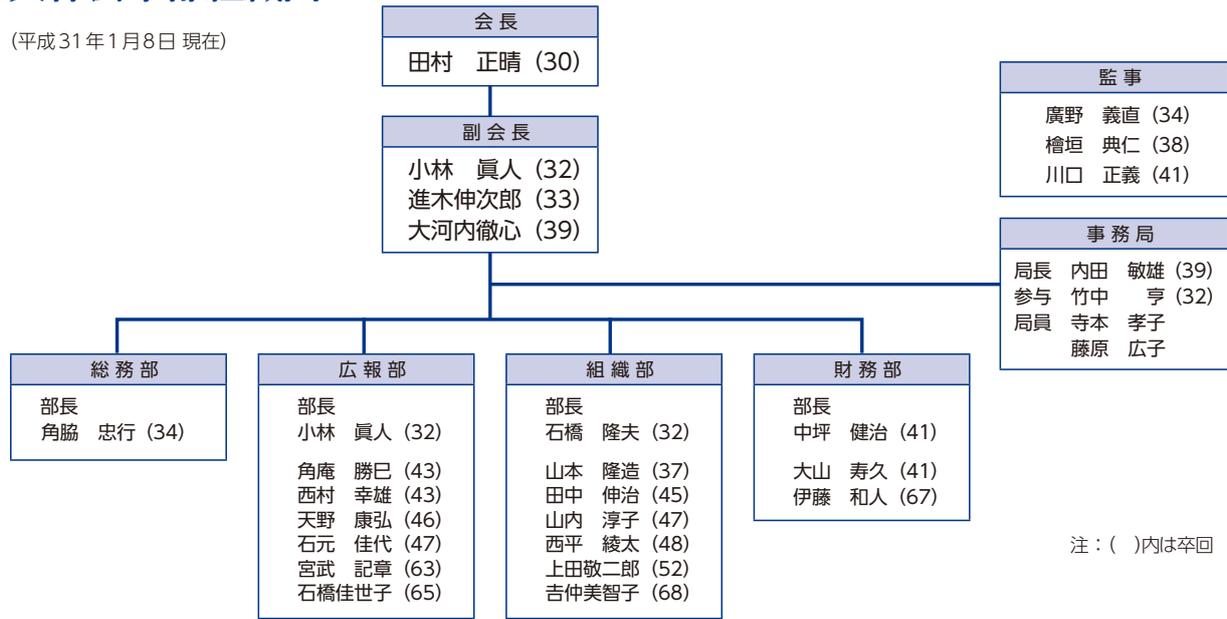
●卒業回数・卒業年 早見表

※70回以降は、春学期と秋学期があります。

卒業回数	卒業年月(西暦)	卒業年月(和暦)	卒業回数	卒業年月(西暦)	卒業年月(和暦)	卒業回数	卒業年月(西暦)	卒業年月(和暦)
1	1935.3	昭和 10.3	30	1964.3	昭和 39.3	59	1993.3	平成 5.3
2	1936.3	11.3	31	1965.3	40.3	60	1994.3	6.3
3	1937.3	12.3	32	1966.3	41.3	61	1995.3	7.3
4	1938.3	13.3	33	1967.3	42.3	62	1996.3	8.3
5	1939.3	14.3	34	1968.3	43.3	63	1997.3	9.3
6	1940.3	15.3	35	1969.3	44.3	64	1998.3	10.3
7	1941.3	16.3	36	1970.3	45.3	65	1999.3	11.3
8	1941.12	16.12	37	1971.3	46.3	66	2000.3	12.3
9	1942.9	17.9	38	1972.3	47.3	67	2001.3	13.3
10	1943.9	18.9	39	1973.3	48.3	68	2002.3	14.3
11	1944.9	19.9	40	1974.3	49.3	69	2003.3	15.3
12	1945.9	20.9	41	1975.3	50.3	70	2003.9 / 2004.3	15.9 / 16.3
13	1947.3	22.3	42	1976.3	51.3	71	2004.9 / 2005.3	16.9 / 17.3
14	1948.3	23.3	43	1977.3	52.3	72	2005.9 / 2006.3	17.9 / 18.3
15	1949.3	24.3	44	1978.3	53.3	73	2006.9 / 2007.3	18.9 / 19.3
16	1950.3	25.3	45	1979.3	54.3	74	2007.9 / 2008.3	19.9 / 20.3
17	1951.3	26.3	46	1980.3	55.3	75	2008.9 / 2009.3	20.9 / 21.3
18	1952.3	27.3	47	1981.3	56.3	76	2009.9 / 2010.3	21.9 / 22.3
19	1953.3	28.3	48	1982.3	57.3	77	2010.9 / 2011.3	22.9 / 23.3
20	1954.3	29.3	49	1983.3	58.3	78	2011.9 / 2012.3	23.9 / 24.3
21	1955.3	30.3	50	1984.3	59.3	79	2012.9 / 2013.3	24.9 / 25.3
22	1956.3	31.3	51	1985.3	60.3	80	2013.9 / 2014.3	25.9 / 26.3
23	1957.3	32.3	52	1986.3	61.3	81	2014.9 / 2015.3	26.9 / 27.3
24	1958.3	33.3	53	1987.3	62.3	82	2015.9 / 2016.3	27.9 / 28.3
25	1959.3	34.3	54	1988.3	63.3	83	2016.9 / 2017.3	28.9 / 29.3
26	1960.3	35.3	55	1989.3	平成 1.3	84	2017.9 / 2018.3	29.9 / 30.3
27	1961.3	36.3	56	1990.3	2.3	85	2018.9	30.9
28	1962.3	37.3	57	1991.3	3.3			
29	1963.3	38.3	58	1992.3	4.3			

大樟会本部組織図

(平成31年1月8日 現在)



注：()内は卒回

平成29年度収支決算書 自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日

(単位：円)

収入の部		
科目	決算額	予算額
前期繰越金	31,765,386	31,765,386
会費収入	61,503,000	60,000,000
總會収入	200,000	500,000
利息収入	276,808	180,000
澁江収入	880,730	800,000
広告料収入	900,000	1,000,000
奨学金収入	1,946,000	500,000
雑収入	56,300	0
合計	97,528,224	94,745,386

支出の部		
科目	決算額	予算額
總會費	2,796,360	3,000,000
役員会費	1,158,623	1,100,000
支部費	12,031,669	12,000,000
事務費	789,239	1,100,000
人件費	8,530,770	9,100,000
旅費交通費	3,310,666	3,500,000
広報活動費	10,260,129	12,000,000
名簿調査費	296,894	300,000
学対費	11,747,027	12,500,000
諸会助成費	1,598,749	1,500,000
慶弔費	432,490	500,000
スポーツ・学術振興費	5,000,000	0
予備費	0	1,500,000
次期繰越金	39,575,608	36,645,386
合計	97,528,224	94,745,386

平成30年度収支予算書 自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日

(単位：円)

収入の部		
科目	予算額	摘要
前期繰越金	39,575,608	
会費収入	60,000,000	
總會収入	500,000	
利息収入	180,000	
澁江収入	800,000	
広告料収入	1,000,000	
奨学金収入	900,000	
合計	102,955,608	

支出の部		
科目	予算額	摘要
總會費	3,000,000	
役員会費	1,100,000	理事会・常務理事会・各部会
支部費	12,000,000	運営費・支部總會援助
事務費	1,000,000	
人件費	9,100,000	事務局人件費
旅費交通費	3,500,000	
広報活動費	12,000,000	
名簿調査費	300,000	
学対費	12,000,000	大学祭・クラブ活動援助 他
諸会助成費	1,300,000	諸会援助
慶弔費	500,000	
予備費	1,500,000	
次期繰越金	45,655,608	
合計	102,955,608	

大樟会支部長・各種部会会長一覧

平成31年1月8日 現在

支部・部会名	氏名	卒回	現住所	電話
北海道	池田 正勝	34		
東京都	森田 幸伯	45		
富山	老月 邦夫	37		
石川	鍛冶 一英	36		
福井	田安 敏男	38		
岐阜	山根 一男	46		
静岡県	大塩 博喜	40		
愛知	五十棲保彦	32		
三重	池山 英典	57		
滋賀	佐藤啓太郎	37		
京都	柴田 俊彦	50		
大阪市淀川	青木 正道	36		
大阪市北	小原 宏夫	38		
大阪市南	吉川 進	41		
大阪市住吉	山本 岩雄	33		
大阪市役所				
北大阪	角野 力	41		
北摂	本郷 公夫	33		
北河内	花岡 任宥	27		
豊中	田中 功一	42		
池田	松田今朝男	34		
箕面・豊能	吉仲美智子	68		
泉南	塩谷善一郎	39		
堺	堀本 修	24		
尼崎	(未定)			
伊丹	竹中 亨	32		
川西・川辺	竹本 勇	35		
阪神	秋山 治信	37		
神戸	正岡 健二	36		
丹有	足立徳太郎	36		
明石	池上 照夫	40		
北播磨	伊藤 俊博	32		
但馬	田淵 善人	36		
東播磨	福田 敏裕	37		
姫路	上野 隆裕	40		
淡路	赤松 慶久	37		
奈良	中嶋 肇	32		
和歌山	岩田 弘彦	48		
鳥取	秋口 政俊	39		
島根	山本 篤治	42		
岡山	松永 清彦	41		
津山	前田 基美	46		
備後	小池 勝章	32		
広島	陰山 秀明	44		
山口	藤原 俊明	37		
徳島	櫻本 孝	35		
香川	鈴木 澄夫	36		
愛媛	二宮 克郎	40		
高知	南 宏道	52		
北九州	植田 達三	52		
大分	寒田 陽	40		
熊本	坂本 純夫	39		
宮崎	堀内 健一	35		
南九州	前園 博隆	34		
大樟春秋会	森田 俊作	45		
大樟体育会	山本 隆造	37		
池田泉州銀行大樟会	能多 英明	57		
日立大樟会	山下 徹男	37		
税理士大樟会	中坪 健治	41		
大樟教育研究会	西村 幸雄	43		
社労士大樟会	飯田 政信	35		
大学院大樟会	前田 増蔵	43		
大樟樟政会	西 恵司	35		

出来たてメインディッシュから季節のフランス料理まで食べ放題

平日ランチ&ディナー
日曜祝日ディナーは
—— 時間制限なし ——
2018.2/28(水)まで

	通常	優待価格
ランチ (大人)	¥3,500~	⇒ ¥2,980~
ディナー (大人)	¥4,500~	⇒ ¥3,950~

※表記の価格はいずれも1名様・消費税込
※一部日程のディナータイムは2部制で営業
※特別営業期間は料金・営業時間が異なります

梅田 1階ピュッフェ&カフェレストラン「ナイト&デイ」 店舗詳細はWEBで ナイト&デイ バイキング ホテル 阪急インターナショナル 茶屋町
ご予約・お問い合わせ 06-6377-3618 (直通) ーご予約時に大塚大同窓会員の旨をお伝えくださいー Tel.06-6377-2100(代表) 阪急「梅田駅」茶屋町口より徒歩約3分

廣 濟 堂
文教ソリューション
KOSAIDO BUNKYO SOLUTION

学校経営を支援する
多彩なソリューションを
ご提供します。

印刷、IT、映像、イベント、人材等の幅広い事業リソースを活かし、
学校案内や広報誌の制作をはじめ、HPや映像制作、eラーニング、
学生のキャリア教育・就職支援、同窓会事務局の運営支援等、
円滑な学校経営をサポートします。

まずはお気軽にお問い合わせください
株式会社廣濟堂 データベース課
〒560-8567 大阪府豊中市蛸池西町2-2-1
TEL 06-6855-9241
<http://www.kosaido.co.jp/>

婦人服の企画・製造・販売

【ECHO INTERNATIONAL SPIRITS】

SPA (Speciality Store Retailer of Private Label Apparel) 企画、生産から小売まで。「自分で作って自分で売る」これが基本です。SPAのスピード感を生かしながら、グレードの高い生地、細密な縫製で作り上げるハイクオリティなアンチエイジングブランドです。私たちは、新しい時代を生きる女性の感性を刺激するファッションを追求し続けます。



ECHO INTERNATIONAL CO., LTD.

BOUTIQUE ECHO⁷¹ E·HALF Ⅸ&Ⅹ

【大阪本社】〒550-0012 大阪市 西区立売堀1-4-12 リーガル立売堀ビル7F TEL. 06-4393-8665 FAX. 06-4393-8667
【東京店】〒104-0061 東京都 中央区銀座5-8-20 銀座コアB1F TEL. 03-5568-1131 FAX. 03-5568-1132
www.echo-i.com 百貨店、GMS (総合スーパー)、SC (ショッピングセンター)等にショップ200店舗



資源の有効利用と環境に配慮した事業に取り組みます



防音パネル・採光パネル



低層足場



橋梁足場

仮設機材レンタル

足場材架組工事

オーケーリース株式会社

〒550-0011

大阪府大阪市西区阿波座1丁目6番13号

カーニープレイス本町 8階

tel : 06-6578-1081 web : <http://www.okg-gr.com/>

社史・記念誌 ・自叙伝出版

ご希望・ご予算に応じて
原稿整理のお手伝いから
編集企画をご提案します



安全手帳・ノート ・ハンドブック

企業様の安全管理を
オリジナルのイラストで
分かりやすく伝えます



大信印刷株式会社

www.dprint.co.jp

☆S58卒 畠山 昌憲 hatakeyama@dprint.co.jp

〒531-0076 大阪市北区大淀中4丁目13-11

Tel.06-6451-7631 Fax.06-6451-3735

TVでも話題になり紹介された！ 愛媛県、幻のスイーツ「霧の森大福」
高知県「あぐり窪川の豚まん」中土佐の「風工房」などを生み出した
【フードプロデューサー 大原一郎】が高知で話題の石鍋スープカレーを大阪へ！

menu スープカレーは両店共通です。 ※すべて消費税込み価格です。



野菜とチキンの スープカレー

ヘルシーな野菜がたっぷり。
自家製石鍋のグリルが入った
おすすのスープカレーです。



初めての方に
おすすめです。

野菜のスープカレー

カレーと良く合う
ヘルシーな野菜がたっぷりの
定番食材のスープカレー。
初めての方にはおすすめです。

各ライス付き〔十穀米〕

スープカレーとのバランスを考え、
栄養豊富でヘルシーな「十穀米」を
ご用意しました。

十穀米が苦手な方には
春雨もご用意しています。

LUNCH SET

お好きなスープカレー
+
ミニサラダ・ライス
(十穀米 or 春雨)



ニラと親鶏の スープカレー

コリコリ食たえのある親鶏
は、噛めば噛むほど旨味がでて、
スープとの相性バツグン！ たっ
ぷりのニラでスタミナUP！



きのこベーコンの スープカレー

ガーリックオイルで旨味をつけ
たエリンギもシメジも厚切り
ベーコンを加え、まろやかな
スープカレーに仕上げました。



トマトとナスの スープカレー

スペイン産スープにとるとる
茄子と甘酸っぱいトマトがた
まらなくマッチング。厚切りの
旨味がスープにとる鮮魚系な
スープカレーの完成。



豆と鶏ミンチの スープカレー

スパイシーなスープに、鶏ミン
チと豆と野菜が絶妙。とっても
ヘルシーなスープカレー。



シーフード スープカレー

えび、あさり、いか、たたら、魚
粉などがたっぷり。スパイシー
な海鮮スープカレー。



キーマ スープカレー

オリジナル、キーマスパイスで
味付け。これがスープに溶け込
むととってもおいしいお弁当と
なります。



大阪府豊中市少路 2-9-18
TEL : 06-4865-5258
11:00 ~ 21:30 (Lo21:00)



大阪市北区堂山町 15-177外Ⅲ1F
TEL : 06-6312-2588
11:30 ~ 21:30 (Lo21:00)



一貫輸送はお任せください
海上輸送・通関・3PL・検品・国内配送

AITI

株式会社エーアイティー

<国内拠点> 本社・東京支社・名古屋営業所・福岡営業所
大阪市中央区本町二丁目1番6号 TEL 06-6260-3450 FAX 06-6260-3460

<海外拠点> 上海・大連・青島・蘇州・南通・寧波・深圳・天津・厦門・香港・
台湾・バンコク・ホーチミン・ロサンゼルス

庭・No.1

<http://takasho.co.jp>

ガーデン&エクステリアで世界のステージへ

株式会社タカショーは昨年7月、
東証一部に上場いたしました。
(証券コード7590)

 **TAKASHO**

株式会社タカショー

本社：和歌山県海南市南赤坂20-1
TEL.073-482-4128
東京本部：東京都千代田区神田駿河台2-9
TEL.03-5244-5650
国内16支店・営業所、海外7支店
タカショーグループ20社(国内8社・海外12社)



三倉菜奈

三倉佳奈

その夢・未来、
大きく育てるお手伝い。

応援します。お気軽にご相談ください。

信頼で地域とつながる
 **大阪シティ信用金庫**

本店/〒541-0041 大阪市中央区北浜2-5-4 TEL. (06) 6201-2881 (代表)
<http://www.osaka-city-shinkin.co.jp/>

大阪府内に89店舗。大阪市内全24区に店舗を有する唯一の地域金融機関です。平成31年1月1日現在



水処理設備では北米最大級の水処理施設への納入
 防災では日本最大級の津波避難タワーの設置
 夢のあるテーマに取り組みませんか。






水処理設備・防災設備メーカー（知的財産権取得・出願中）
フジワラ産業株式会社
 Tel 06-6586-3388 Fax 06-6586-1177

〒550-0024
 大阪市西区境川1丁目4番5号
<http://www.fj-i.co.jp>
 E-mail info@fj-i.co.jp




No.01068990

オフィス創りの総合商社

文具・事務用品・印刷・OA機器・オフィス家具

どんなことでも NIKKOへ!



株式会社 **日興商会**




コクヨ製品取扱高全国 No.1

本社 〒660-0892 尼崎市東難波町5丁目10番30号 Tel. 06・6487・1401 Fax. 06・6487・1414 ホームページ <https://nikko.bunguclub.co.jp>
 支店 大阪・京都・神戸・東京・名古屋・広島 他 全18支店1営業所

安定した品質で建設現場に貢献し、
 社会資本に「安全・安心」を供給する。



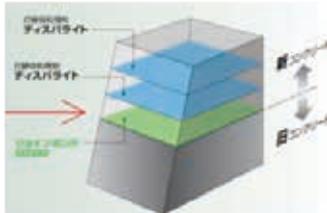
ジョイント M5000

省力化をサポート!

NETIS登録番号 KK-130043-A

新旧コンクリート打継目接着材（繊維補強ポリマーセメント系）





施工後、新コンクリート打設まで最大14日確保！
 チッピング不要で新旧コンクリートを一体化！

建設産業のインフラを支える日本ジッコウグループ



コンクリート関連資材の総合販売
日本ジッコウ株式会社
 TEL / 078-974-1141 FAX / 078-974-7786
 URL / <http://www.jikkou.co.jp>



機能性モルタル類の総合メーカー
 High-Quality & Trust
テクノスジャパン株式会社
 TEL / 078-924-1234 FAX / 078-924-0050
 URL / <http://www.attack-pro.com>



コンクリート構造物の劣化調査・診断
 建設コンサルタント登録No. 建27第6748号
エースコンサルタント株式会社
 TEL / 078-920-2251 FAX / 078-920-2253
 URL / <http://www.ace-con.co.jp>



佐藤武司（昭和39年 30回卒業）

池田泉州銀行で「年金」「給与」をお受取りいただけるお客さま向けのお得なサービス

メインバンク サービス

年金
お受取り
で
給与
お受取り
で

ATM*2 時間外手数料

当行キャッシュカード利用による
当行本支店あて振込手数料

0円!

さらに「スタシアサイカ」「ミナビタサイカ」*3をご契約のお客さまは、
コンビニATM利用手数料を月4回までキャッシュバック!!

*1 給与振込は、お勤め先が取引金融機関と給与振込の契約を結んだうえでお取扱しているものに限ります。賞与は含みません。

*2 当行ATM、駅ナカATM「Patsat」のお引出しにかかる手数料が0円となります。

*3 スタシアサイカ・ミナビタサイカとは、キャッシュカード・クレジットカード・PiTaPaの機能がついた多機能ICキャッシュカードです。

サービス適用の判定基準など、
くわしくは右記までお問い合わせください



池田泉州銀行 上新庄支店

TEL 06-6328-2761

(2018年9月3日現在)



**企画・デザインから
印刷・製本・加工まで**

名刺、ショップカード、
ロゴカード、小ロット冊子印刷、
大判ポスター出力、
伝票、封筒、挨拶状の印刷、
記念誌、アルバム印刷など。
色々な印刷物の
ご注文承ります。

活版印刷、バックカーボン印刷、オフセット印刷、
オンデマンド印刷まで
印刷物全般
何でもお任せ下さい。
企画・制作・印刷・製本・加工まで
社内で一括管理!
コスト削減・短納期を実現!!
まずはお気軽に
お問い合わせ下さい。



OSHIIMA
PRINTING

おかげさまで2020年に**創業90年**

大島印刷株式会社

〒554-0012 大阪市此花区西九条3丁目2番16号
TEL:06-6462-0521 FAX:06-6468-3606
E-mail: info@oshima-p.com
U R L : http://www.oshima-p.com



活版

オフセット

www.dhtd.co.jp

Clean, Powerful



船舶用補機関



8DE-33

船舶用主機関



6DEM-23

DAIHATSU ダイハツディーゼル株式会社

〒531-0076 大阪市北区大淀中1丁目1番30号 TEL (06) 6454-2393 FAX (06) 6454-2682

東京支社 TEL (03) 3279-0821 / 仙台支店 TEL (022) 227-1674 / 名古屋支店 TEL (052) 561-1311
四国支店 TEL (0898) 32-6213 / 九州支店 TEL (092) 629-0731 / 守山事業所 TEL (077) 583-2551

「がんばらない」経営

当社の経営を一言で表現すると

「頑張らない経営」となります。

「頑張らない」とは、

「怠ける」ということではなく、

「無理をしない」ということです。

つまり、出来もしないようなことを

目標に掲げ、無駄に力を使うのではなく、

基本的なことを

確実に実行していくことが、

会社を継続して成長させることに

つながると考えています。



ケースデンキイメージキャラクター
ちびまる子ちゃん
© さくらプロダクション / 日本アニメーション

会員数3,800万人超!

ケースデンキあんしんパスポート

会員募集中!
加入料・年会費無料!

ケースデンキあんしんパスポートは、お客様に4つの「安心」をご提供するカードです。

1. 「価格」が安心……………パスポートのご提示で電池や電球などの小物商品も割引いたします。
※一部値引き対象外の商品・サービスがございます。
2. 「アフターサービス」が安心……………パスポートのご提示で対象商品ご購入の際の長期無料保証登録が簡単になります。
3. 「万が一の商品リコール」にも安心……………万が一、メーカーからリコール商品がでて、対象商品をご購入されたお客様に迅速にご連絡いたします。
4. 「消耗品等のお買物」が安心……………プリンタのインクやクリーナーの紙パックの型番を購入履歴の検索でお調べいたします。



ケースデンキあんしんパスポートアプリで

最新チラシがスマホで見られる!!

アプリ限定クーポンも配信!

アプリのダウンロードは App Store や Google Play にて **ケースデンキ** を検索

スマートフォンをお持ちでない方は、携帯メルマガにて、お得な情報を配信いたします!

※画面はイメージです。

※アプリのダウンロードおよび利用に伴う通信料などはお客様のご負担になります。



新製品が安いケースデンキ

おかげさまで全国に490店舗以上展開!!
<https://www.ksdenki.com/>

★住所等を変更された場合は、必ずご連絡ください！

「澱江」は、大阪経済大学大樟会から会員の方（本学卒業生）全員へお送りしていますが、毎年、宛先不明で多数返送されてきます。住所等を変更された場合は、必ず、大樟会本部事務局まで、同封のハガキにて、ご連絡ください（切手代は不要です）。その他、電話、FAXなどでも受けつけております。

ご連絡は、下記へ

大阪経済大学大樟会・本部事務局

〒533-8533 大阪市東淀川区大隅2-2-8

電話06-6328-2431（代表） FAX 06-6328-4564（直通）

メール okusu@osaka-ue-denko.com

また、ホームページからもご連絡いただけます。

ホームページアドレス → <http://www.osaka-ue-denko.com/>

大阪経済大学大樟会

検索

● 編集後記 ●

- 「澱江54号」をお届けします。特集の「転職事情」はいかがでしたか？ 小生の現職の時代は入社すれば定年まで勤め上げるのが普通でしたが、最近はこの常識は通用せず、今の職場よりもいい働き先があれば転職してキャリアアップをはかるといった傾向が強いようで、時代の変化を感じさせます。最近の就職事情では3年以内に3割の新人が転職するというデータもあるようです。
- 3年ぶりに大阪市内のセミナーハウスに泊りして全国支部長会議を開催し、忌憚のない意見を出し合いました。どの支部も総会への参加者が少ないという共通の悩みを持っています。こうしたら参加が増えるという王道はなさそうですが、そうした現状の中で在学中の学生の皆さんにも大樟会の存在を周知してもらうことも若い参加者を増やす一つ方法ではないかと、本学OBの宮武教授のご尽力で開催したのが「四国友の会」です。ほとんどの学生が卒業後はふるさとで就職したいとの願望は持っているようですが、現実はなかなか厳しいようです。就職先については会員の方々のご協力をお願いする次第です。
- 2018年度の本学の受験者数は定員1,645名に対して応募者が2万1,929名と過去最高を記録しました。全国の私立大学の4割近くが定員割れを起こしている現状の中で、本学は幸い勝ち組の中に入っていますが、ただ地区別で見ますと大阪、兵庫など関西圏からの受験者が8割を超えていて、地方からの受験者を如何にして増やしていくのか、毎年開催される地方支部総会で出される共通の話題です。
- 2020年には大樟会会員も10万人の大台を超える見込みです。現在大樟会の全国支部は54支部と職域支部9支部と合わせて63支部で組織されています。今、南大阪支部を立ち上げるべく準備を進めていますが、他にも鹿児島、沖縄で構成されていた南九州支部が分離独立し、それぞれ鹿児島支部と沖縄支部が誕生することになりそうです。沖縄支部は今年6月の支部立ち上げの準備を進めています。これで北は北海道から南は沖縄までエリアが広がることとなります。会員数の増加とともに全国支部が増えることは喜ばしいことだと思います。
- 毎回、「ズームアップ経大人」の選に苦勞をしています。自薦、他薦どちらでもかまいませんので、事務局までお知らせいただければ幸いです。
- 編集会議を毎月開催しています。毎回記載していますが、小生は山口在住のため細かな作業ができず、事務局へお任せしている状態です。この場を借りて厚くお礼申し上げます。また投稿していただきましたみなさまにも合わせて感謝申し上げます。

（広報部長 小林真人）

「澱江」の由来 初代校長・黒正巖博士が作詞された旧制・昭和商の校歌（現在の学園歌）の歌詞「商都の東北澱江に臨みて高くそそり立つ 我等が昭和学園は…」から引用された言葉です。ちなみに岩波漢語辞典によれば「【澱江】大阪の淀川。澱水（でんすい）、澱河（でんが）。『淀』は『澱（でん）』に通ずる」と記載されています。



OSAKA
UNIVERSITY
OF ECONOMICS

でんこう
澱江
2019

■発行日 2019年1月31日(木)

■編集 大阪経済大学大樟会 広報部

〒533-8533 大阪市東淀川区大隅2-2-8 電話06-6328-2431(代)

メール okusu@osaka-ue-denko.com URL <http://www.osaka-ue-denko.com/>

■印刷 株式会社 廣濟堂

〒560-8567 大阪府豊中市蛍池西町2-2-1 電話06-6855-9241